Canon



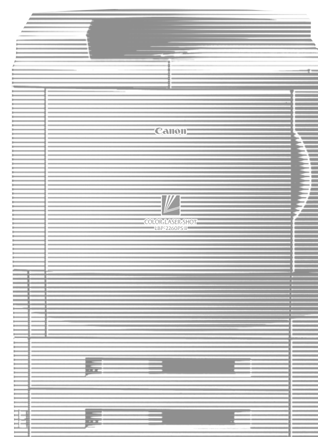
COLOR
LASER
SHOT

カラーレーザビームプリンタ

COLOR LASER SHOT
LBP-2260PS II



Adobe® PostScript® 3™



アプリケーションソフトから
プリントするときに

ソフトウェアガイド

お願い：

プリンタをお使いになるまえに、本書をよくお読みください。本文中の注意事項は必ずお守りください。
本書は、必要なときにすぐに取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

マニュアルの構成について

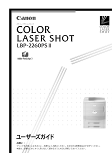
キヤノン COLOR LASER SHOT LBP-2260PSIIをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

本体添付のマニュアル

プリンタを設置したい
パソコンと接続したい
ネットワークと接続したい
→ **本体/オプション品設置ガイド&ネットワーク設定ガイド**



プリンタの基本的な使いかたを知りたい
困ったときには
→ **ユーザーズガイド**



プリンタドライバをインストールしたい
印刷したい
添付ソフトウェアの使いかたを知りたい
→ **ソフトウェアガイド**（本書）



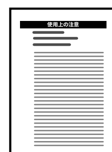
より詳しく知りたい
→ **プリンタ機能マニュアル**

操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタが持つ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。



最新情報や注意事項を知りたい
→ **使用上の注意**

本プリンタの設定や使いかたに関する最新情報や注意事項が記載されています。



その他のマニュアル

*別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

オプション品に付属のマニュアル

オプション品に付属されております取扱い説明書は、本プリンタ専用には記載されておりません。オプション品を本プリンタと合わせてご使用になる場合は、本プリンタに付属の取扱い説明書をご覧ください。

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

本書の使いかた

本書ではキヤノン LBP-2260PSIIに付属しているソフトウェアの使用方法について説明します。
本書は、Macintosh、Windows 95/98、Windows NT 4.0、Windows 2000、UNIXを使用しているお客様を対象としており、次のような構成になっています。

Canonは、本書の仕様に従って本製品を使用することが既存または将来の特許権を侵害しないと表明するものではなく、また本書の記述が同記述に基づく装置またはソフトウェアの制作、使用、販売の認可を意味すると表明するものでもありません。
本書記載のソフトウェアはCanonまたは同社の認可ライセンス会社からの書面による使用許可に基づいてのみ、所有、使用またはコピーが許可されるものとします。

Patents: 5,867,179; 5,835,788; 5,666,436; 5,553,200; 5,543,940; 5,537,516; 5,517,334; 5,506,946; 5,424,754; 5,343,311; 5,212,546; 4,941,038; 4,837,722; 4,500,919; D406,1170

商標

LASER SHOT はキヤノン(株)の登録商標です。
Canon、Canon ロゴ、ColorGear、LBP、NetSpot はキヤノン(株)の商標です。

EFI、EFIロゴ、Fiery、Fieryロゴ、Fiery Driven、Fiery Drivenロゴ、EFICOLOR、ColorWise、Rip-While-PrintはElectronics For Imaging, Incの米国での登録商標です。AutoCal、Starr Compression、Continuous Print、Memory Multiplier、VisualCal、NetWise はいずれも Electronics For Imaging, Inc. の商標です。

Acrobat、Acrobat Reader、Adobe、Adobe Illustrator、Adobe ロゴ、Adobe Persuasion、Adobe Photoshop、Adobe Type Manager、Aldus、Pagemaker、PostScript、PostScript3 は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。Apple、Apple LaserWriter、AppleTalk、ColorSync、Macintosh、True Type は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。CentronicsはCentronics Data Computer Corporationの商標です。Century Oldstyle、Century Schoolbook、Cloister Black、Goudy Oldstyle は Kingsley-ATF Type Corporation の商標です。Dutch 801、Swiss 721、Snowcap、Bitstream Cataneo は Bitstream Inc. の商標です。EPS (Encapsulated PostScript)は Altsys Corporation の商標です。Ethernet は Xerox Corporation の登録商標です。IBM は International Business Machines Corporation の商標です。ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Chancery、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の商標です。Java は Sun Microsystems, Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS は Microsoft Corporation の米国およびその他の諸国における登録商標または商標です。Netscape および Netscape Navigator は Netscape Communications Corporation の商標です。NetWare と Novell は Novell, Inc. の登録商標であり、Internetwork Packet Exchange (IPX)は同社の商標です。PANTONEはPantone, Inc.の登録商標です。ScrifaはFundiction Tipografica Neufville SAの登録商標です。Times と Helvetica は、Linotype-Hell AG およびその子会社、あるいはいずれかの商標です。UNIX は X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

本製品に含まれる、American Garamond、Century Oldstyle™、Dutch 801™、Goudy Oldstyle™、Bodoni、Century Schoolbook™、Clarendon、Poster Bodoni、Prima Serif、Serifa®、Prima Mono、Prima Sans、Swiss 721™、ZapfHumanist 601、Bitstream Cooper Black、Exotic 350、Snowcap™、Bitstream Cataneo™、Commercial Script、Bistream Roundhand、Staccato 222、Staccato 555、Ribbon 131、Cloister Black、Commercial PI、Symbol Proportional、Holiday PI、これらの書体はBitstream Inc.の1991-2000年の著作権で保護されており、同社によってキヤノン(株)に使用が許諾されています。

下記の書体名は株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントです。承認外の複製は禁止されており、それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。
リュウミン L-KL、中ゴシック - BBB

その他の商標および登録商標はそれらを保有する各社の所有物です。

本書記載のソフトウェアは使用許可書または非開示合意書の元に提供されています。ソフトウェアは合意条件を遵守する場合にのみ使用またはコピーすることができます。

Apple Computer, Inc（以下 Apple 社）は、Apple ソフトウェアに関して、特定の目的に関する商品性や適合性についての黙示的保証を含み、明示的、黙示的を問わず何らの保証もしません。Apple 社は、Apple ソフトウェアの使用あるいは使用結果の正確さ、精度、信頼性、最新性、その他の保証をしません。Apple ソフトウェアの結果や性能に伴うリスクはすべてお客様の負担とさせていただきます。黙示的保証の適用除外は米国の州によって認められない場合があります。お客様にはこのような適用除外条項は適用されないこともあります。

Apple 社の役員、管理職、一般社員、代理人は、Apple 社のソフトウェアを使用した結果や使用できないことによって、お客様に、結果的、付随的、あるいは間接的な損害（業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の損失、その他の損害）が引き起こされた場合、仮にそのような損害の可能性についてApple社が知らされていたとしても、それに対する責任は負いません。米国の州によっては結果的または付随的損害の責任の適用除外や制限が認められない場合があり、その場合は、上記の制限条項がお客様に適用されないこともあります。

いかなる原因であれ、実際の損害についてのお客様に対する Apple 社の責任は、行為の形態に関係なく（契約違反、不法行為（過失など）、製造物責任、その他）50 ドルを上限とします。

日本国印刷

限定権利条項（米国においてのみ適用）

防衛機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は252.227-7013の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c) (1)(ii)に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は52.227-19の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項(a)から(d)に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関するElectronics for Imaging, Inc. 社の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

FCC（連邦通信委員会）

ケーブル：本装置への接続はFCCの規範および基準を満たす金属製RFI/EMIコネクター付の密封ケーブルでなければなりません。

Electronics For Imaging, Inc. ソフトウェア使用許諾

本使用許諾書は、LBP-2260PSに内蔵されているか同梱のCDに含まれているElectronics For Imaging, Inc. または同社のサプライヤに所有権がある以下のソフトウェアおよびそのアップデート版またはアップグレード版にのみ適用されます。

<Windows95/98／Windows NT4.0>
Windows 95/Windows 98：Adobe PostScript ドライバ
Windows NT 4.0：Adobe PostScript ドライバ
Windows 2000：Microsoft PostScript ドライバ
CMYK/PANTONE Color Reference Files：CMYK/PANTONE 色見本
Windows 95/Windows 98/Windows NT 4.0 ：インストーラ
autorun.inf
Adobe PostScript3 TrueType フォント
Adobe PostScript3 Type l フォント
Windows 95/98：Adobe Type Manager
ICC カラープロファイル

<Macintosh>
Adobe PostScript プリンタドライバ
CMYK/PANTONE 色見本
Adobe PostScript3 TrueType フォント
Adobe PostScript3 Type l フォント
和文スクリーンフォント
Adobe Type Manager
Adobe 欧文フォントダウンローダ
ColorSync ICC カラープロファイル

本書はお客様とElectronics For Imaging, Inc.（以下「Electronics For Imaging」という）とのあいだの法律上の合意です。Electronics For Imagingは、Adobe Systems Incorporatedが提供するPostScript(r)ソフトウェアなど、LBP-2260PSII（以下「プリンタ」という）に内蔵されているか同梱のCDに含まれているソフトウェア（以下「ソフトウェア」という）のサプライヤです。

CDの包装を開封する前に、必ず以下の諸条件をお読みください。この包装を開封すると、本使用許可書の諸条件の受諾を認めたことになります。本書の諸条件を受諾できないか受諾しない場合は、包装を開封せずに、プリンタの購入元に連絡し、購入元の指示に従ってください。

Electronics For Imagingはお客様に、以下の諸条件に基づいてソフトウェアを使用する非独占的使用を認めます。

以下の内容がお客様に認められています。

a. 本ソフトウェアは、お客様自身の日常業務のため、並びに本プリンタにおいてのみ使用できます。
b. お客様自身の日常業務のためにのみ、本プリンタに同梱の、特別なコードフォーマット（以下「コード化フォントプログラム」という）によりデジタルコード化された機械語によるアウトラインプログラムとビットマッププログラム（以下「フォントプログラム」という）を使用して、文字、数字、記号のデザイン、書体、ウェイト、バージョン（以下「書体」という）を、本プリンタで使用するモニタ上に再生、表示できます。
cソフトウェアから再生されるコード化フォントプログラムと書体を表示するために、Electronic For Imaging, Inc.の商標（以下「商標」）を使用できます。
d. 本プリンタの販売または譲渡の一環である場合に限り、本プリンタの受取人に本契約に基づくお客様のすべての権利を永久に譲渡できます。ただし、その場合には、以下の条件をすべて満たす必要があります。(i)アップグレード版も含め、ソフトウェアのコピーをお客様が保持しないこと、(ii)本プリンタに同梱されているアップグレード版も含めたソフトウェア、メディア、印刷物をすべて受取人に譲渡すること、(iii)受取人が本契約の条項に同意していること。

以下の内容はお客様には認められていません。

a.　プリント解像度600dpi以上で直接または間接的なあらゆるコピーの作成をするため、あるいは本プリンタ以外で使用するためにフォントや書体を生成する目的でソフトウェアを利用すること。
b.　お買上げいただいた本プリンタの使用に必要な場合を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラム、文書、あるいはそれらの一部のあらゆるコピーを作成すること、あるいはそれを許可すること。ただし、プリンタコントローラーボードのROMに組み込まれたソフトウェアの特定箇所については、全体一部を問わず、あらゆるコピーの作成を行うこと、あるいはそれを許可することはいかなる場合も認められません。
c.　ソフトウェア、コード化フォントプログラムを変更、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングすること。
d.　ソフトウェアをレンタル、リースすること。

財産権

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書については、EFIとその供給元が持つものとし権利やその他知的財産権はEFIとその供給元が保有します。上記で認められた権利を除いて、本契約ではソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書に関する特許権、著作権、営業秘密、（登録、未登録を問わず）商標、その他権利、フランチャイズ、ライセンスを認めません。EFI、あるいはその供給元の商標や商号と類似した、あるいは混同を生じさせるような商標や商号を創作したり使用すること、あるいはEFIやその供給元の商標権を損なうような行為をすることを禁じます。商標はコード化フォントプログラムのプリント出力を識別する目的にだけ使用できます。EFIから妥当と考えられる要求があった場合、お客様は商標で識別された書体の見本を提供するものとします。

守秘義務

お客様は、ソフトウェアとコード化フォントプログラムの秘密を守り、ソフトウェアとコード化フォントプログラムを使用する必要があると本契約で認められたお客様だけにソフトウェアとコード化フォントプログラムを開示するものとします。またお客様は第三者に対する開示を防ぐため、妥当と考えられる全ての予防措置を講ずるものとします。

救償

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書を許可なしで使用、コピー、開示すると、本使用許可は自動的に中止され、EFIに対しては他の法律上の救済が適用可能となります。

限定保証

本ソフトウェアがお客様に頒布されてから90日間は、通常の使用形態の下では本ソフトウェアは使用不可能になるほどの致命的な異常なしに動作することをEFIは保証します。この保証の下でEFIの責任およびお客様に対する救済を行使するため（お客様がプリンタをEFIまたはEFIの正規の代理店に返却することを前提として）EFIの選択により、異常を回復しまたは正常化を目指して妥当と考えられる商業的努力を尽くすか、本ソフトウェアを同等の機能を有するソフトウェアと交換するか、あるいはお客様が製品に支払った代価を払い戻し本使用許可を中止させます。米国の州によっては黙示的保証の期間に関する限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されません。

上記の明示的保証を除き、製品について明示的、黙示的、あるいは法令にもとづく保証または条件をもEFIは設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性、適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。

保証サービスについては正規の代理店またはサポートセンターにお問い合わせください。

上記の明示的限定保証を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラムについて、明示的、黙示的、法令または本契約によって定められたいかなる条項、あるいはお客様との話し合いにもとづく保証または条件をもEFIは設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。EFIはソフトウェアが停止せずに動作すること、異常が存在しないこと、あるいはソフトウェアがお客様の特定の要件に適合することについては、これを保証しません。

限定責任

いかなる場合にも、ソフトウェアまたはコード化フォントプログラムから生じたデータの損失、利益の損失、回復費用、その他特別な、付随的、派生的、あるいは間接的損害をはじめとするあらゆる損害について、それがどのような事由によって引き起こされたものであり、その根拠としてどのような責任の理論があろうとも、Electronics For Imaging, Inc.またはそのサプライヤは責任を負いません。この限定条項はElectronics for Imaging, Inc.がそのような損害の可能性を知らされていた場合にも適用されます。本プリンタの価格はこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。ただし、米国の州や管轄区によっては派生的、あるいは付随的損害賠償の責任の除外や限定を認めないところがあるため、その場合は上記の限定は適用されません。

輸出管理

お客様はいかなる形態であれ、アメリカ合衆国と当該国政府の許可なしにソフトウェアやコード化フォントプログラムを輸出、再輸出しないことに同意するものとします。本条項に従わない場合は、本契約の実質的な違反となります。

政府による使用

合衆国政府による使用、複写、開示はDFARS 252.227.7013の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c) (1) (ii)、あるいはCFR52.227-19の商業用コンピュータソフトウェアー限定権利条項の補助条項(c) (1) と(2)に規定した限定内容が適用できる場合、それらに従うものとします。

第三者受益者

カリフォルニア法人 Adobe Systems Incorporated（以下 Adobe 社）（住所：345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704）は、本契約によって使用許可が得られるフォント、コード化フォントプログラム、書体、商標などのユーザ使用に関して本契約に規定される条項の範囲で、本契約における第三者受益者であることをここに通知します。以上の条項はAdobe社の利益のために明示的に設定されたものであり、EFI以外にもAdobe社がこれを行使することができます。

解約

お客様が本契約の諸条件を遵守しない場合は、その他のいっさいの権利を損なうことなく、EFIは本契約を解約することができます。その場合、お客様にはアップグレード版も含め、ソフトウェアのすべてのコピーを破棄する義務があります。

一般条項

本契約はカリフォルニア州法に準拠します。

本契約はお客様と Electronics For Imaging とのあいだの完全な合意であり、本ソフトウェアおよびコード化フォントプログラムに関するその他の通知や広告に代わるものとします。

本契約の一部の条項が無効になった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有します。

本契約に関して疑問をお持ちの場合は、Licensing Dept. 気付けで Electronics For Imaging, Inc. まで書面でご連絡いただくか、Electronics For Imaging のウェブサイト、www.efi.com をご覧ください。

お客様はここに、本書がエンドユーザであるお客様と Canon Inc. ではなく、Electronics For Imaging とのあいだのソフトウェア、フォントプログラム、コード化フォントプログラム、書体、商標に関する法律上の合意であることを明示的に認めることになります。Electronics For Imagingは、上記の限定保証に関して単独かつ最終の責任を有し、キヤノン（株）、その子会社または系列会社、代理人、販売店、取扱店はいずれもソフトウェア、フォントプログラム、コード化フォントプログラム、書体、商標に関する責任を有しません。

Electronics For Imaging
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本Bitstream製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1台のプリンタ、あるいは1台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した１台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。

BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2.　所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream 製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録された Bitstream 製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスは Bitstream 製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。

3.　コピーの制限。Bitstream製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でも Bitstream 製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを１部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。

4.　使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。

5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書、Bitstream製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。

6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987年5月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合はDOD FARの適用される規定が252.227-7013の第(a)(15)条（1988年4月）または第(a)(17)条（1988年4月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

包装を開封する前によくお読みください。

キヤノンソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、COLOR LASERSHOT LBP-2260PSII（以下「プリンタ」という）に同梱のＣＤに含まれている、キヤノン株式会社に所有権があるカラーマッチングソフトウェア「ColorGear」とネットワークマネジメントソフトウェア「NetSpot」（以下総称して「ソフトウェア」という）にのみ適用されます。

本契約はお客様とキヤノン株式会社（以下「キヤノン」という）とのあいだのライセンス契約です。ＣＤの包装を開封する前に、必ず本契約をお読みください。ＣＤの包装の開封をもって、お客様は本契約に同意したことになります。お客様が本契約に同意できないかまたは同意しない場合は、ＣＤの包装を開封せずに「プリンタ」の購入元に連絡し、購入元の指示に従って下さい。

１．使用許諾

(1)　キヤノンは、お客様に対して、「プリンタ」とともにのみ「ソフトウェア」を使用する非独占的ライセンスを許諾します。
(2)　「プリンタ」の販売または譲渡の一環である場合に限り、「プリンタ」の譲受人に本契約に基づくお客様のすべての権利を永久に譲渡することができます。ただしその場合には、以下の条件の全てを満たす必要があります。(i)お客様が「ソフトウェア」のコピーを保持し続けないこと、(ii)「ソフトウェア」のすべてと本契約を「プリンタ」の譲受人に譲渡すること、および(iii)「プリンタ」の譲受人が本契約の条項に同意していること。
(3)　本契約に明示的に定める場合を除き、お客様は「ソフトウェア」を第三者に譲渡、再実施許諾、販売、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡すること、または「ソフトウェア」を翻訳もしくは他のプログラミング言語に変換してはならないものとします。
(4)　「プリンタ」の使用に必要な場合を除き、お客様が「ソフトウェア」もしくはその一部分のいかなるコピーを作成すること、もしくは作成させること、またはそれらを許可してはならないものとします。
(5)　お客様は「ソフトウェア」を改変、修正、逆アセンブル、逆コンパイルまたはリバース・エンジニアリングすること、および第三者にこのような行為をさせてはならないものとします。
(6)　お客様は「ソフトウェア」に含まれているキヤノンの著作権表示を修正、移動または除去してはならないものとします。
(7)　お客様は、アメリカ合衆国または外国政府の必要な許可なしに、「ソフトウェア」を直接または間接に輸出または再輸出しないことに同意するものとします。
(8)　本契約に明示的に定める場合を除き、キヤノンのいかなる知的財産権も、明示たると黙示たるとを問わず、キヤノンによってお客様に許諾あるいは譲渡されるものではありません。

２．サポートおよびアップグレード

キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、お客様による「ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。「ソフトウェア」に対してアップグレード、バグの修正あるいはサポートがなされることはありません。

３．限定保証および補償の否認

限定保証：「ソフトウェア」は、商品性および特定目的への適合性の黙示的な保証を含め、明示たると黙示たるとを問わずいかなる保証もなしに、「AS-IS（現状のまま）」の状態で提供されるものとします。「ソフトウェア」の品質および性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。「ソフトウェア」に欠陥があることが判明した場合、お客様がすべての必要なサービスまたは修正のすべての費用を負担するものとし、キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は一切の費用を負担しないものとします。

キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、「ソフトウェア」に含まれる機能がお客様の要求に適合すること、または「ソフトウェア」の操作に中断またはエラーが発生しないことを保証するものではありません。ただしキヤノンは、領収書あるいはその他のものによって証明されるお客様の購入日から９０日の間は、通常の使用の下では「ソフトウェア」が記憶されているＣＤに物理的な欠陥が発生しないことを保証します。

顧客の救済：キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店のすべての責任およびお客様の唯一の救済は、上記の限定保証を満たしていないＣＤの交換です。お客様が本条項に基づきＣＤの交換を求める場合、キヤノンの子会社であるキヤノン販売株式会社にご連絡下さい。但し、上記の限定保証は、事故または「ソフトウェア」の誤用から生じたＣＤの不具合については適用されません。また「ソフトウェア」のオリジナルの被許諾者以外のいかなる者にも拡張されることはありません。

付随的損害に対する免責：「ソフトウェア」、その使用またはその使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の喪失、事業情報の損失、事業の中断またはその他の付随的もしくは派生的損害を含むがこれらに限定されない）について、キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店はその責任を負わないものとします。たとえキヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店が、かかる損害の可能性を知らされていた場合も同様です。

補償の否認： キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、「ソフトウェア」またはその使用が自らの知的財産権を侵害していると主張する第三者によってなされるいかなる請求または訴訟に対し、お客様を補償する義務を一切負わないものとします。

４．期間

本契約は、ＣＤの包装を開封した時点で発効し、本契約が終了するまで有効に存続します。お客様は、「ソフトウェア」およびその複製物のすべてを破棄および消去することによって、本契約を終了させることができます。また、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は終了します。その場合、キヤノンは自らが持つ法律上の権利を行使できるとともに、お客様は「ソフトウェア」およびその複製物のすべてを速やかに破棄するものとします。

５. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE: The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein. Manufacturer is Canon Inc./30-2, Shimomaruko 3-chome, Ohta-ku, Tokyo 146-8501, Japan.

６．一般条項

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

ＣＤの包装の開封をもって、お客様は本契約を読み、理解しかつ本契約の条件に同意したことを承認するものとします。お客様はさらに、本契約が「ソフトウェア」に関するお客様とキヤノンとのあいだの完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とキヤノンとのあらゆるコミュニケーションに代わるものであることに合意するものとします。本契約のいかなる修正も、キヤノンの正当に授権された代表者による署名がなければ発効しないものとします。

本契約に関してご不明の点がございましたら、キヤノン販売株式会社に書面にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

開封前に必ずお読み下さい。

弊社では、ソフトウェア製品について、ライセンス契約を設けており、お客様がライセンス契約にご同意された場合にのみソフトウェア製品をご使用いただいています。お客様がお買い上げになったプリンター製品に同梱されるソフトウェア製品のパッケージを開封する前に、下記契約を十分にお読み下さい。ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとします。下記契約にご同意いただけない場合には、ソフトウェア製品のパッケージを未開封のままお買い上げいただいた販売店に速やかにご返却ください。

ソフトウェア製品ライセンス契約

本契約は、お客様とキヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）との間の契約です。キヤノンは、お客様がお買い上げになったプリンター製品（以下、「プリンター製品」といいます。）に同梱されたCD-ROMのTrueTypeディレクトリに格納されている表示用フォント（以下、「表示用フォント」といいます。）、CIDディレクトリに格納されているプリンタ内蔵用フォント（以下、「内蔵用フォント」といいます。）および「内蔵用フォント」の「プリンター製品」へのダウンロード・プログラム（以下、「ダウンローダー」といいます。）（以下、これらを併せて「許諾ソフトウェア」といいます。）について、非独占ライセンスを下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意頂くものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

1．ライセンスの許諾

(1)　お客様は、「プリンター製品」と直接またはLANを介して接続されたコンピュータ上に「表示用フォント」をインストールし、使用することができます。
(2)　お客様は、「内蔵用フォント」を「プリンター製品」にダウンロードして使用することができます。
(3)　お客様は、「内蔵用フォント」を「プリンター製品」にダウンロードする目的および「表示用フォント」を(1)のコンピュータにインストールする目的にのみ、コンピュータ上で「ダウンローダー」を使用することができます。
(4)　お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用または利用させることはできません。
(5)　お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース･エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2．保証の否認・免責

(1)　キヤノンおよびキヤノンの販売店は、「許諾ソフトウェア」に瑕疵が無いこと、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であることまたは有用であること、もしくはその他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。
(2)　キヤノンおよびキヤノンの販売店は、「許諾ソフトウェア」の複製、使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、「許諾ソフトウェア」の複製、使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

3．輸出

お客様は、日本国政府または関係各国の政府より必要な認可等を得ることなしに、全部または一部を問わず、「許諾ソフトウェア」を直接または間接に輸出できません。

4．契約期間

(1)　本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」の格納されたCD-ROMのパッケージを開封した時点で発効し、下記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
(2)　お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
(3)　キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
(4)　お客様には、本契約の終了後直ちに、「許諾ソフトウェア」およびそのすべての複製物を廃棄または消去していただきます。

5．一般条項

(1)　本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分には影響を与えないものとします。
(2)　本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

目次

第 3 章　Windows NT 4.0から印刷するには

第 4 章　Windows 2000 から印刷するには

第 5 章 UNIX から印刷するには

第 6 章 Fiery WebToolsを使用してプリンタを管理する

第 7 章 アプリケーションソフトから印刷するには

付 録

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 95 日本語版を Windows 95 と表記しています。
Microsoft® Windows® 98 日本語版を Windows 98 と表記しています。
Microsoft® Windows® 95日本語版またはMicrosoft® Windows® 98日本語版をWindows 95/98 と表記しています。
Microsoft® Windows NT® 4.0 日本語版を Windows NT 4.0 と表記しています。
Microsoft® Windows® 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。
PowerPC を搭載した Power Macintosh、iMac、PowerBook および Performer を Macintosh と表記しています。
COLOR LASER SHOT LBP-2260PSII を LBP-2260PS と表記しています。

本書で使用しているマークについて

本書では、注意していただきたいことや参考にしていただきたいことの説明には、次のようなマークをつけています。



● **操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。**



● **操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。**

第1章

Macintoshから印刷するには

印刷するときに必要な作業

ユーザーズガイドにしたがってプリンタの設置、ネットワークの接続、ネットワーク情報の設定が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールと設定作業を行います。
アプリケーションソフトから印刷するために必要な作業は次のとおりです。

プリンタの準備が完了したあとに行う作業　P.20, 22

プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必ず必要なソフトウェアです。本プリンタに同梱のCD-ROMからコンピュータにインストールして使用できるようにします。

印刷に必要なソフトウェアの準備をする

セレクタの設定を行い、本プリンタのプリンタ記述ファイルを選択します。
スクリーンフォント、ColorGear、ColorSyncプリンタプロファイルなどを必要なソフトウェアを本プリンタに同梱のUser Software CD-ROMからコンピュータにインストールします。

印刷のたびに行う作業　P.31

印刷設定をする

プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数、印字品質、カラー情報などを設定します。
この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。
印刷設定は、プリンタドライバから行います。

印刷する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

必要なシステム環境

Macintoshコンピュータ用プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア： Mac OS 7.6.1（日本語版）以降
コンピュータ： Mac OS 7.6.1（日本語版）以降が動作する Apple Power Macintosh コンピュータ
（680x0 を搭載したMacintosh コンピュータでは動作しません）


お願い

- プリンタドライバをインストールするには CD-ROM ドライブが必要です。
- プリンタドライバのインストールと同時に「最初にお読み下さい」ファイルが提供されます。プリンタドライバに関するその他詳細な情報は、User Software CD-ROMの「プリンタドライバ」フォルダ内にある「最初にお読み下さい」ファイルをご覧ください。
- ColorSync機能を使う場合は、バージョン 2.1 以降の ColorSyncをお使いください。これらのバージョンは、Mac OS 7.6.1 以降に含まれています。
- 英語版の Mac OS では動作しません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するにはプリンタドライバ（Adobe® PostScript® 8.6 J）とプリンタ記述ファイルのインストールが必要です。
プリンタドライバは印刷するときに必要なソフトウエアです。

1. 印刷データをプリンタが理解できるデータに変換してプリンタに送る
2. カラー設定や印字品質などさまざま印刷条件の設定を行う

の２つの働きがあります。
プリンタドライバをインストールすると､同時にプリンタ記述ファイルもインストールされます。次の手順でインストールしてください。
ここでは、Mac OS 8.6 を例にしています。


お願い

- **既にインストールされている以前のバージョンの AdobePS は、AdobePS 8.6で上書きされます。ただし、他のプリンタドライバ（LaserWriterまたはPSPrinter）は影響されません。**
- **ウィルス検出ソフトがインストールされている場合は､インストールを行う前に、動作しないようにしてください。**
- **インストールが完了すると､コンピュータが再起動されます｡使用中のアプリケーションソフトがある場合は、保存操作をしてから始めてください。**

インストール手順

1

コンピュータにプリンタを正しく接続し､プリンタの電源が入っていることを確認します。

2

付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

User Software CD-ROM の内容がウインドウに表示されます。

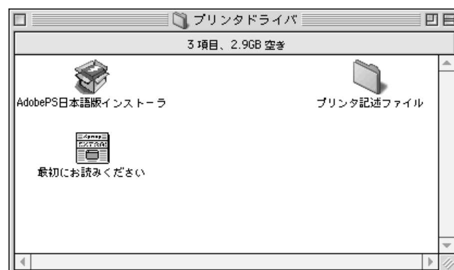
3

プリンタドライバフォルダをダブルクリックします。

4

インストーラアイコンをダブルクリックします。

メッセージが表示されます。

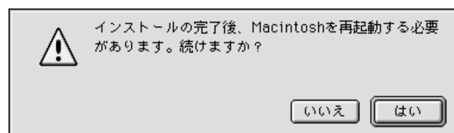


5

［はい］ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。
終了すると、メッセージが表示されます。

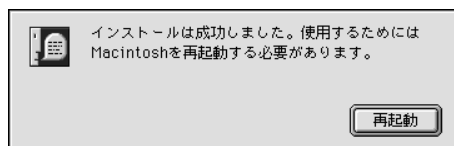
ハードディスクにプリンタドライバとプリンタ記述ファイル、その他関連ファイルがインストールされます。





6

［再起動］ボタンをクリックして、コンピュータを再起動します。



印刷に必要なソフトウェアの準備

プリンタドライバのインストールが完了したら、セレクタの設定、スクリーンフォントのインストール、ColorGearプリンタプロファイル、ColorSyncプリンタプロファイルのインストールなどを行います。

セレクタの設定

1

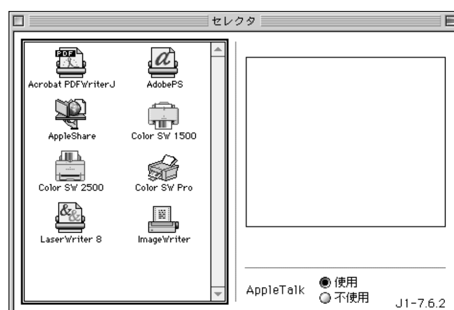
アップルメニューから［セレクタ］を選択します。

セレクタ画面が表示されます。



2

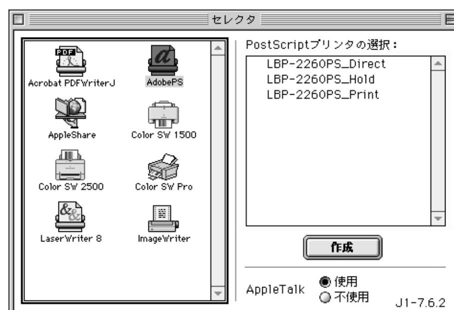
AppleTalkが使用可能になっていることを確認します。



3

AdobePSアイコンを選択します。

使用できるプリンタの名称が表示されます。



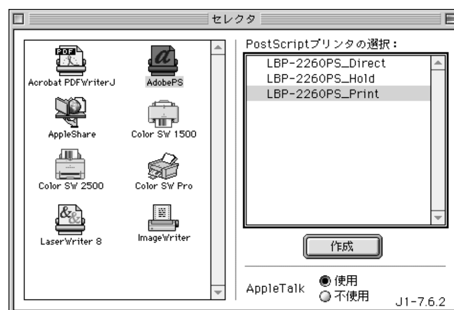
4

必要に応じて、AppleTalkゾーンを選択します。

AppleTalkゾーンが1つしか存在しない場合には、表示されません。

5

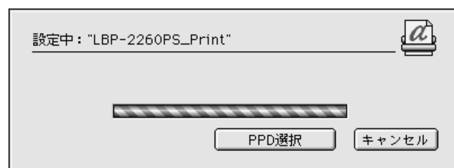
LBP-2260PS_Printを選択し、[作成]ボタンをクリックします。





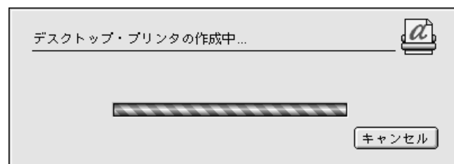
- **末尾名称には次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。**
  _Print（印刷キュー）：受信したジョブは、いったん本プリンタのハードディスクにスプールされ、受信順にRIP処理と印刷処理が行われます。
  _Hold（待機キュー）：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクにスプールされます。WebTools等でプリントを実行するまでは、RIP処理と印刷処理が行われません。
  _Direct（直接接続）：受信したジョブは、ハードディスクのスプールを介さずにRIP処理と印刷処理が行われます。
- **LBP-2260PS_Directは、Adobe DownloaderやCanon Font Downloaderを使うときに指定してください。**
- **工場出荷時の設定では、LBP-2260PS_Print、LBP-2260PS_Direct、LBP-2260PS_Holdと表示されますが、操作パネル上で名称を変えることができます。**

プリンタとの接続が開始され、プリンタ記述ファイルが自動的に検索されます。



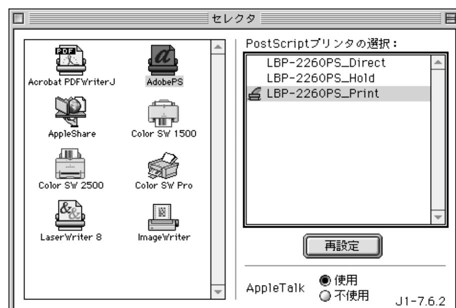


続いてデスクトッププリンタが作成され、セレクタ画面に戻ります。



6

クローズボタンをクリックして、セレクタを閉じます。



スクリーンフォントのインストール

アプリケーションソフトでプリンタ内蔵のPostScriptフォントを使い、正しく画面上に表示するためには、プリンタ内蔵のフォントに対応するスクリーンフォントをコンピュータにインストールする必要があります。
同梱のUser Software CD-ROMに、プリンタ内蔵のPostScript3フォントに対応した和文スクリーンフォント、欧文PostScript（Type1）フォントと欧文TrueTypeフォントが収められています。

和文フォント

和文スクリーンフォント：フォントスーツケース・丸漢ファイル（2書体）

欧文フォント

Fonts/ATM:PS3Fonts: フォントスーツケース（136書体）
PostScript（ Type1）フォント（117書体）
PostScript（TrueType）フォント（19書体）


メモ

● Adobe Type Managerをお使いになる場合は、欧文スクリーンフォント（フォントスーツケース）とともに、欧文PostScript (Type1)フォントもインストールしてお使いください。

1

User Software CD-ROMを挿入し、CD-ROMアイコンをダブルクリックして開きます。

2

スクリーンフォントの入っているフォルダを開きます。

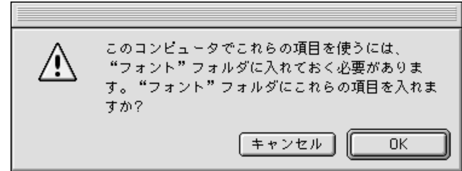
3

必要なスクリーンフォントを選択し、システムフォルダアイコンにドラッグします。
確認のメッセージが表示されます。

4

［OK］ボタンをクリックします。

選択したスクリーンフォントがフォントフォルダ内にコピーされます。




メモ

- **Adobe Type Manager DeluxeやSuitcase IIのようなフォント管理ユーティリティを使用している場合には、フォントフォルダにインストールしません。マニュアルを参照してそれぞれ適切な場所にインストールしてください。**

Adobe Type Managerのインストール

本プリンタ同梱のUser Software CD-ROMには、Adobe Type Managerが収められています。このソフトウェアを使うと、画面上でフォントをなめらかに表示することができます。画面で見る文字とプリントした文字が一致するため、あらかじめ仕上がりを確認できます。また、PostScript対応プリンタではないプリンタでPostScriptフォントを使ったプリントができます。必要に応じてインストールしてお使いください。

なお、Adobe Type ManagerはMac OSのバージョンによってインストールするファイルが異なります。
Adobe Type Managerをインストールするには、User Software CD-ROMの次の各フォルダに入っているインストーラを使います。
Mac OS 8.6以前　　Fonts/ATM:ATM 4.5 Light:ATM 4.5 Installer
Mac OS 9専用　　Fonts/ATM:ATM/OS9:ATM 4.5.2 Installer


お願い

- **ATM 4.5 Lightをインストールした場合には、必ずATM 4.5.1にアップデートしてください。アップデータは、ATM 4.5 Lightと同じフォルダの［ATM 4.5 -> 4.5.1 updater］フォルダ内にあります。**


メモ

- **Adobe Type Managerのインストーラは、Adobe Type Manager 4.5と同時にAdobe Downloaderをインストールします。Adobe Downloaderを使うと、欧文フォントのプリンタへのダウンロードやCMYK色見本情報・PANTONE色見本情報のプリントができます。詳細は、User Software CD-ROMの［Fonts/ATM:ATM 4.5 Light：User Guides］フォルダにあるユーザガイド（PDF）をご覧ください。**

1

第1章　Macintoshから印刷するには

ColorSync プリンタプロファイルのインストール

必要に応じてColorSync機能を使えるように、本プリンタ用のColorSyncプリンタプロファイルが用意されています。同梱のUser Software CD-ROMからインストールしてください。

Adobe PostScript 8.6Jは、ColorSyncのようなカラー管理システムを使用して作成されたRGBカラーデータをCMYKカラーデータに変換することができます。プロファイルには、データの作成に使われた装置固有のカラー表示機能に関する情報が含まれ、カラー変換の過程で参照されます。プリンタドライバは、プリンタプロファイルの情報にもとづいて、適切に調整されたカラーデータをプリンタに送ります。

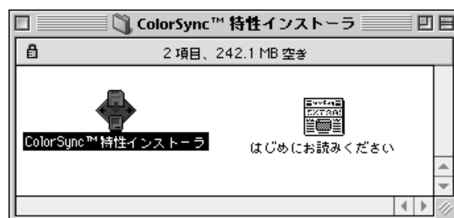
ColorSync プロファイルは、使用する必要がある場合のみインストールしてください。次の作業は2つのColorSyncプロファイル（ターゲットプロファイルファイル「EFIRGB」とColorSyncシステムプロファイル「Canon LBP-2260PS ICC」）をインストールします。

1

User Software CD-ROMを挿入し、CD-ROMアイコンをダブルクリックして開きます。

2

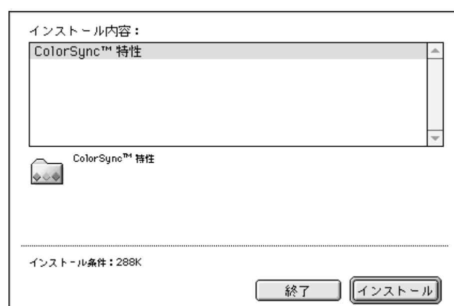
ColorSync 特性インストーラフォルダを開き、ColorSync 特性インストーラをダブルクリックします。



インストール画面が表示され、「ColorSync 特性」の表示と共にインストールに必要なディスク容量が表示されます。

3

［インストール］ボタンをクリックします。



4

システムフォルダ(または初期設定フォルダ)内の ColorSync™ 特性フォルダを開き、[「ColorSync …」内にインストール] ボタンをクリックします。

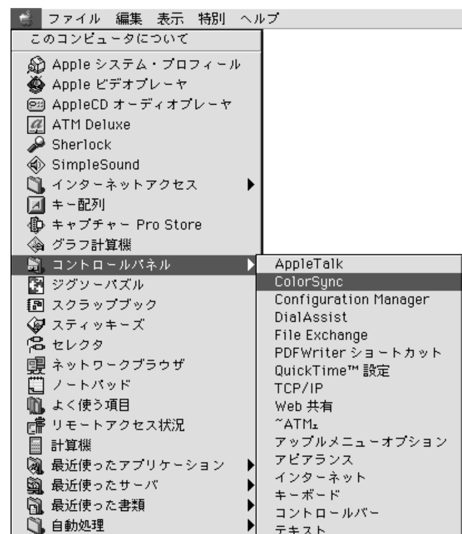




- このフォルダが存在しない場合は、お使いのシステムに ColorSync がインストールされていないと考えられます。その場合、[キャンセル] ボタンをクリックしてプリンタプロファイルのインストールを終了し、システムに ColorSync をインストールしてから、再度プリンタプロファイルのインストールを実行してください。
  ColorSyncは、お使いのMac OS のインストールCDからインストールできます。
- Mac OS 8.1以前の場合、ColoerSync™特性フォルダは初期設定フォルダ内にあります。

5

アップルメニューのコントロールパネルから、ColorSync を選びます。



6

ColorSync システム特性ダイアログの[特性]タブを表示し、[CMYKのデフォルト設定]をクリックして[Canon COLOR LASERSHOT LBP-2260PS]を選択します。これは、CMYK画像のデフォルトの色空間を設定します。

次に[RGBのデフォルト設定]をクリックして[EFIRGB]または[sRGB特性]を選択します。これは、RGB画像のデフォルトの色空間を設定します。



7

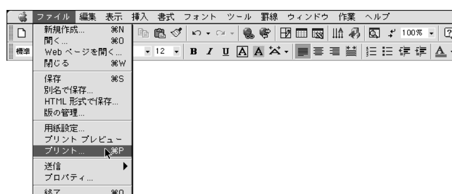
ColorSync システム特性ダイアログを閉じます。

ColorSync プリンタプロファイルの選択

1

任意のアプリケーションソフト(例ではMicrosoft Word)を起動し、[ファイル]メニューの[プリント ...]を選択します。

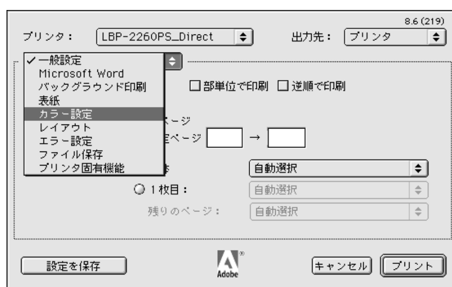
プリントダイアログが表示されます。



2

[カラー設定]を選択します。

カラー設定のページが表示されます。



3

[カラー]の[ColorSyncカラーマッチング]を選択し、[プリンタプロファイル]からLBP-2260PS用のColorSyncプリンタプロファイルを選択します。

[Canon COLOR LASERSHOT LBP2260PS]



ColorGearのインストール

ColorGearは、プリントする用紙のタイプに合わせてカラーを調整するキヤノン独自のカラー管理システムです。ColorGear プリンタプロファイルは、バージョン 2.1 以降の ColorSync に対応しています。


メモ

- **ColorSync 2.1、2.12 は、Mac OS（日本語版）に含まれています。**

1

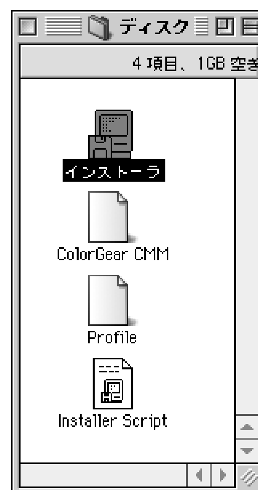
付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

User Software CD-ROM の内容がウインドウに表示されます。

2

ColorGear インストーラアイコンをダブルクリックします。

インストール画面が表示されます。



3

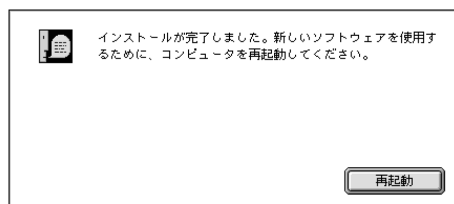
インストール先のドライブを選択し、［インストール］ボタンをクリックします。

インストールが完了すると、再起動するようにメッセージが表示されます。



4

［再起動］ボタンをクリックします。



ColorGear プリンタプロファイルの選択

1

アップルメニューのコントロールパネルから、ColorSync を選びます。



2

ColorSync システム特性ダイアログの［CMM］タブを表示し、［CMM の初期設定］をクリックして［ColorGear CMM］が表示されることを確認します。

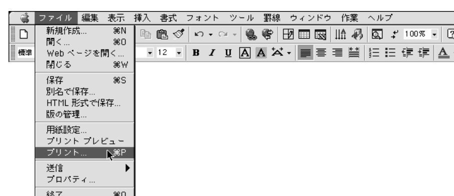


3

ColorSync システム特性ダイアログを閉じます。

4

任意のアプリケーションソフト（例では Microsoft Word）を起動し、［ファイル］メニューの［プリント…］を選択します。



プリントダイアログが表示されます。

5

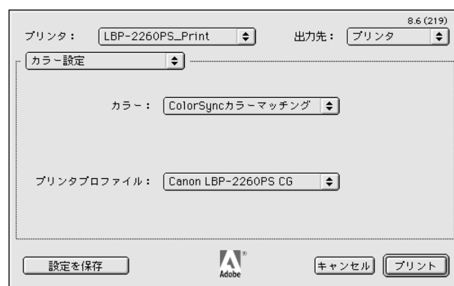
［カラー設定］を選択します。

カラー設定のページが表示されます。



6

［カラー］の［ColorSync カラーマッチング］を選択し、［プリンタプロファイル］からプリントする用紙に合わせて ColorGear のプロファイルを選択します。



プリント用紙に合わせて次のようにプロファイルを選択します。

普通紙：［Canon LBP-2260PS CG］
光沢フィルム：［Canon LBP-2260PS Glossy CG］

プリンタ機能の設定と印刷のしかた

アプリケーションソフトから印刷する

プリンタドライバのインストール、セレクタの設定、その他必要なソフトウェアをインストールする作業ができたら、印刷の準備は完了です。さっそく原稿を印刷してみましょう。ここでは「Microsoft Word 98」を例に印刷の手順を説明します。


メモ

- **印刷の手順は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの説明書をお読みください。**
- **DTP アプリケーションソフトやイラストアプリケーションソフトなど、具体的なアプリケーションソフトの設定例については、第 7 章「アプリケーションソフトから印刷するには」（P.189）をご覧ください。**

1

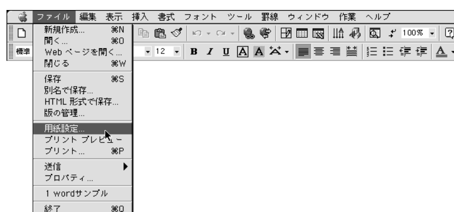
Microsoft Word 98 を起動し、プリントしたい文書を開きます。

文書ウインドウに文書が表示されます。

2

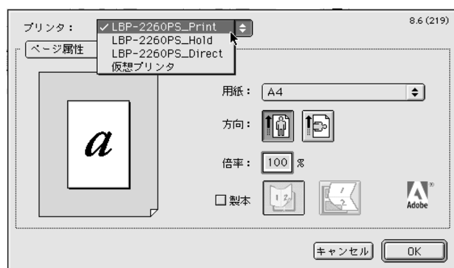
[ファイル] メニューの [用紙設定...] を選択します。

用紙設定ダイアログが表示されます。



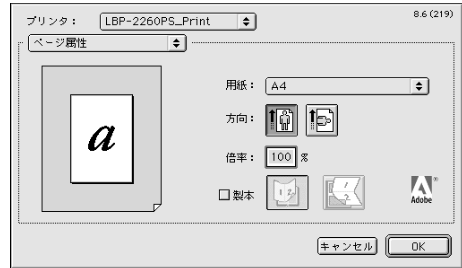
3

プリンタのポップアップメニューから LBP-2260PS_Print を選択します。



4

用紙サイズ、用紙方向など、必要な項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。




お願い

- **原稿の用紙サイズ、印刷の向きの設定場所は、お使いのアプリケーションソフトによって異なる場合があります。**
- **お使いのアプリケーションソフトによっては、プリンタドライバの画面から、プリンタの選択ができない場合もあります。その場合は、セレクタ画面で設定し直してください。→「セレクタの設定」（P.22）**

5

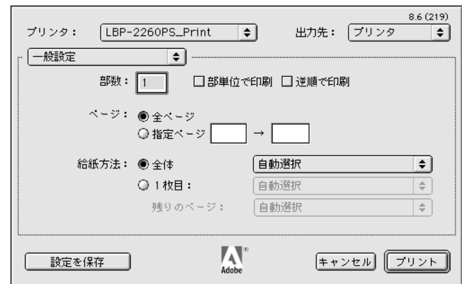
[ファイル] メニューの [プリント...] を選択します。

プリントダイアログが表示されます。



6

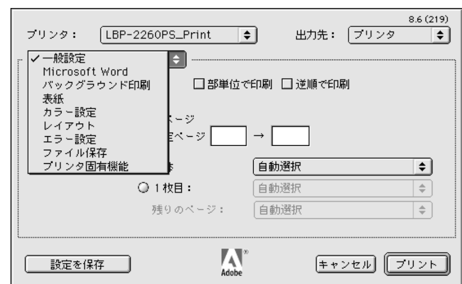
[プリンタ] に本プリンタの名称が表示されていることを確認します。



7

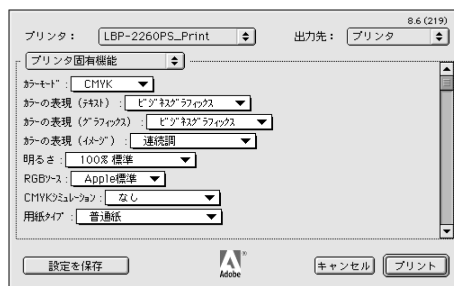
プルダウンメニューの項目をクリックすると、それぞれダイアログの表示が変わります。

このダイアログがプリンタドライバの設定画面です。各ダイアログで印刷条件を設定します。



8

［OK］ボタンをクリックするとプリントがはじまります。



プリンタドライバの主な設定項目

プリンタドライバのダイアログは、使うアプリケーションソフトによって異なります。ここでは、プリンタドライバで設定できるプリンタ機能の主な設定項目について説明します。設定項目の右の＜　＞内は、その項目があるダイアログ名を示します。
※ グレーで示されている設定値は、工場出荷時の値です。

明るさ　＜プリンタ固有機能＞

85%～100%～115%

印刷される色の明るさを調整します。すべての色に同じように適用されます。


メモ

- **プリンタドライバのプリントダイアログで明るさを設定すると、プリンタ操作パネルのカラー調整メニューの「明度」で指定した設定値は無効になります。→プリンタ機能マニュアル　第3章「カラー調整メニューの設定項目」**

確認印刷　＜プリンタ固有機能＞

オン　オフ

複数部数のジョブのプリントを行うときに、あらかじめ1部だけプリントして印字結果を確認した上で残りの部数をプリントすることができます。［オン］に設定してプリントを実行した後、プリンタの操作パネルまたはWebSpoolerを使って、残りの部数をプリントします。その際、部数を変更することもできます。


メモ

- **確認印刷を行うには、一般設定ダイアログの［部単位で印刷］の設定を［オフ］にする必要があります。**
- **本プリンタの操作パネルのディスプレイでは漢字やかななどの全角文字（2バイト文字）の表示はできません。「確認印刷」のファイル名やユーザ名を2バイト文字で指定している場合、操作パネルには正しく表示されません。操作パネル上でも正しく表示させるためには「確認印刷」のファイル名やユーザ名は半角文字で指定することをおすすめします。**

CMYKシミュレーション **<プリンタ固有機能>**

DIC　Euroscale　SWOP-Coated　なし

CMYKシミュレーションは、よく使われるオフセット印刷の標準インキセットの色の範囲を近似的に再現するための機能です。SWOP-Coatedは米国、Euroscaleはヨーロッパ、DICは日本のオフセット印刷用の色を再現します。

カラーの表現（テキスト） **<プリンタ固有機能>**

なし　連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHPフィルム

カラーの表現（グラフィックス） **<プリンタ固有機能>**

なし　連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHPフィルム

カラーの表現（イメージ） **<プリンタ固有機能>**

なし　連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHPフィルム

テキスト、グラフィックス、イメージのそれぞれについて、プリント時に使用するカラーの表現の調整方法を指定します。

[なし]

調整を行いません。

[連続調]

画像の正確な色よりも、画像全体の色調を保つように調整します。プリント範囲外のカラーも含めて、明度を維持しつつプリント可能なCMYKカラーに変換します。人間の目で認識できる範囲の色調を保つことを優先させるため、色の正確さは多少犠牲になります。［ビジネスグラフィックス］を選択した場合よりも、鮮やかさを再現できません。写真のように階調表現の複雑な画像やスキャンした画像、市販の画像ライブラリの画像などをプリントするのに適しています。

[連続調（黒強調）]

CMYKの混合色に対してKトナーをより多く、CMYトナーをより少なく使用した色調になります。グレーの色調を重視したい画像などをプリントするのに適しています。

[ビジネスグラフィックス]

鮮やかな彩度の高い色を作ります。この設定を選択すると、プリントされるカラーとモニタに表示されるカラーを正確に一致させることはしませんが、鮮やかな彩度の高いカラー表現が得られます。同時に連続階調の写真画像に対しては、［連続調］と同じ処理を行います。
ビジネス文書で使われる図形やグラフ、階調表現の複雑な写真などをプリントするのに適しています。

[OHP フィルム]

OHP フィルムにプリントしたときに、モニタカラーに近い色でプリントできるように調整します。ビジネス文書で使われる図形やグラフなどをOHP フィルムにプリントするのに適しています。


メモ

- **[カラーの表現]はRGBデータに適用される項目です。RGBデータ(テキスト、グラフィック、イメージ)は、プリントされる前にプリンタで出力可能なCMYKデータに変換されます。**
- **この項目を[なし]以外に設定するときは、カラーマッチングの設定で[PostScript カラーマッチング]が選択されている必要があります。**

カラーモード　<プリンタ固有機能>

CMYK　グレースケール

出荷時の設定は、CMYKカラーです。グレースケールでプリントしたいときは、[グレースケール]を選択します。グレースケールを選択すると、K(黒)トナーのみが使われるため、より速くプリントできます。

両面印刷　<プリンタ固有機能>

オフ　上と下を合わせる　上と上を合わせる

本プリンタにオプションの両面ユニットを装着すると、2ページ分の原稿を用紙の両面にプリントできます。ここでは、用紙のどこを綴じるかを決めます。

[オフ]

片面プリントをするときに選択します。

[上と下を合わせる]

用紙の向きが縦長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。

[上と上を合わせる]

用紙の向きが縦長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。


お願い

- **本プリンタで両面プリントを行う場合は、レイアウトダイアログの[両面印刷]ボタンはチェックしないでください。**

カラー設定　　＜カラー設定＞

白黒　カラー／グレースケール　ColorSync カラーマッチング　PostScript カラーマッチング

カラー文書またはカラー文書をグレースケールでプリントするときは［カラー／グレースケール］を、白黒文書をプリントするには［白黒］を選択します。
［ColorSync カラーマッチング］を選択すると、コントロールパネルの「ColorSync システム特性」で設定されたプロファイルを使用して、Macintosh 側でカラーマッチング処理が行われます。［プリンタ固有機能］の［RGB ソース］や［カラーの表現］の設定は無視されます。
［PostScript カラーマッチング］を選択すると、本プリンタのカラーマッチング機能を使用して、プリンタ側でカラーマッチング処理を行います。［プリンタ固有機能］の［RGB ソース］や［カラーの表現］の設定が反映されます。



- **［ColorSync カラーマッチング］を選択してプリントする場合、プリントに使用するコンピュータに本プリンタ用のColorSyncプリンタプロファイルがインストールされている必要があります。→「ColorSyncプリンタプロファイルのインストール」（P.26）**

ソート　　＜プリンタ固有機能＞

オフ　オン

複数部数のプリント時、［ソート］を選択すると、1部ずつ1ページから最終ページまでページが順番にをそろうようにプリントします。［オフ］を選択した場合、各ページを部数分ずつプリントします。



- **プリンタドライバでソートを指定してプリントするときは、一般設定ダイアログの［部単位で印刷］の指定をオフにしてください。**
- **オプションのソータが装着されている場合に、1 部ずつページをそろえて、別々のソータビンに排紙するには、プリンタドライバとプリンタ機能の設定が必要です。**

プリンタドライバ	**排紙先を［ソータビン］に設定 ソートを［オン］に設定**
プリンタ機能	**プリンタ設定メニューでの［ソータモード］を［ジョブセパレート］に設定**

用紙タイプ　＜プリンタ固有機能＞

普通紙　OHP フィルム　厚紙 1（105g/m²）　厚紙 2（～ 135g/m²）　光沢フィルム

プリントに使用する用紙のタイプを指定します。


お願い

- **ラベル用紙にプリントする場合「厚紙2（～135g/m²）」を指定してください。**


メモ

- **用紙タイプの設定で［OHP フィルム］を指定した場合、［カラーの表現］も必ず［OHP フィルム］に設定してください。［カラーの表現］の設定値は、用紙タイプの設定を変えても自動的には切り替わりません。**

排紙方法　＜プリンタ固有機能＞

排紙トレイ　サブ排紙トレイ　ソータビン　ビン 1 ～ビン 7

排紙先のトレイまたはビンを指定します。

［排紙トレイ］

プリンタ上部の排紙トレイにプリント面を下向きにして排紙します。プリントされたページは、最終ページが一番上になります。

［サブ排紙トレイ］

サブ排紙トレイにプリント面を上向きにして排紙します。プリントされたページは、開始ページが一番下になります。

［ソータビン］または［ビン 1］～［ビン 7］

［ソータビン］または［ビン 1］～［ビン 7］に排紙します。
［ソータビン］または［ビン 1］～［ビン 7］に下向きに排紙され、最終ページが一番上になります。


メモ

- **［ソータビン］［ビン 1］～［ビン 7］は、オプションの 7 ビンソータが装着されている場合のみ選択できます。**

回転　＜プリンタ固有機能＞

オフ　オン

洋形 4 号または角形 2 号の封筒を横向きに置いてプリントするときには［オン］にします。


メモ

- **洋形 4 号、角形 2 号の封筒のプリントが終わったら、必ず［オフ］に戻してください。**

用紙 **<用紙設定>**

カスタム　A4　レター　リーガル　11x17　12x18　エグゼクティブ　A3　B4　B5-R　A5-R　COM10　Monarch　DL　ISO-C5　ISO-B5　洋形4号　角形2号

プリントする用紙のサイズを指定します。

給紙方法 **<一般設定>**

自動選択　手差しトレイ　カセット1〜カセット4　2000枚ペーパーデッキ

プリントする用紙の給紙元を指定します。


メモ

- **標準装備の手差しトレイ、カセット1〜2以外はオプションで、装着されていない場合には表示されません。**

RGBソース **<プリンタ固有機能>**

EFIRGB　sRGB(PC)　Apple標準　なし

RGBデータのプリントに適用されるRGBソース色空間を選択します。

[EFIRGB]

本プリンタでのRGBデータのプリントに最適の設定です。通常はこの項目を選択してください。オペレーティングシステムに依存しない、一貫したカラー出力ができます。

[sRGB(PC)]

Windows対応モニタ用のソース色空間を指定します。Windows対応モニタを使用して作成されたRGBデータをプリントするときに使います。

[Apple標準]

Mac OS対応モニタ用のソース色空間を指定します。Mac OS対応モニタを使用して作成されたRGBデータをプリントするときに使います。

[なし]

他のカラー管理システムで指定したデバイスプロファイルが存在する場合、ここでの設定によって上書きされます。他の設定でカラー管理システム用のプロファイルを使用している場合には［なし］を指定します。

第 2 章

Windows 95/98 から印刷するには

印刷するときに必要な作業

ユーザーズガイドにしたがってプリンタの設置が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールと設定作業を行う必要があります。
アプリケーションソフトから印刷するために必要な作業は次のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業　P.44, 48, 67

プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバは、Windowsアプリケーションソフトから印刷するときに必ず必要なソフトウェアです。本プリンタに同梱のCD-ROMからコンピュータにインストールして使用できるようにします。

印刷に必要なプリンタの設定をする

ネットワーク環境の違いによって必要なプリンタの設定、プリンタのオプションを使うための設定などを行います。

印刷に必要なソフトウェアの準備をする

フォントやカラー印刷のためのファイルなどを準備します。

印刷のたびに行う作業　P.69

印刷設定をする

プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数、印刷の品質などを設定します。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。
印刷設定は、プリンタドライバから行います。

印刷する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

必要なシステム環境

Windows 95/98 用プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア：	Microsoft Windows 95 日本語版または Microsoft Windows 98 日本語版
コンピュータ：	Microsoft Windows 95 日本語版または Microsoft Windows 98 日本語版が動作するコンピュータ


お願い

- プリンタドライバをインストールするには CD-ROM ドライブが必要です。
- Microsoft Windows 95/98 英語版ではお使いになれません。
- Windows 95 を使うときは、Service Pack 1 以上が必要です。

プリンタドライバをインストールする

はじめてプリンタを使用するにはプリンタドライバのインストールが必要です。次の手順でインストールしてください。


メモ

- **ネットワーク環境でのセットアップ方法については、「Windowsネットワークでのプリンタの設定」（P.52）をご覧ください。**


お願い

- **お使いのコンピュータの環境によっては、プリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。その場合は以下の「プラグ＆プレイによる自動セットアップ」をお読みになってからインストールを行ってください。**

プラグ＆プレイによる自動セットアップ

Windows95/98には、コンピュータに新しく接続されたハードウェアを検出し、自動的にドライバをインストールするプラグ＆プレイ機能があります。本プリンタをWindows95/98コンピュータのパラレルポートに直接接続した場合、このプラグ＆プレイ機能を使ってプリンタドライバをインストールすることもできます。

・本プリンタを接続後、初めてWindows95/98を起動したときに、新しいハードウェアが検出されたことを知らせるメッセージが表示され、ドライバをインストールするためのウィザードが表示されます。
・ウィザードが表示されたら、付属のUser Software CD-ROMを挿入し、ウィザードの指示に従って操作してください。
・Windowsのバージョンによってウィザードの操作が異なりますが、ドライバを検索する場所の指定（または配布ファイルのコピー元）には次のディレクトリを指定してください。
\Prntdrvr\Win9x


メモ

- **Windowsのプラグ＆プレイ機能を使ってインストールした場合、インストールされるのはプリンタドライバ（およびPPDファイル）のみです。色見本情報等のファイルはインストールされません。**
- **色見本情報等のファイルが必要な場合は、後でUser Software CD-ROMからコピーするか、またはウィザードの［キャンセル］ボタンをクリックしてプラグ＆プレイによるインストールを中止し、「インストール手順」の手順1からインストールを行ってください。**

インストール手順

1

コンピュータにプリンタを正しく接続し、プリンタの電源が入っていることとオンラインランプが点灯していることを確認します。



- **プリンタの電源が入っていないときやオフラインのときにインストールすると正常にインストールできないことがあります。**

2

付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

自動的にインストールの開始画面が表示され、続けて［ようこそ］画面が表示されます。





- **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、インストール画面が自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、マイコンピュータを開いてCD-ROM アイコンをダブルクリックするか、またはUser Software CD-ROMの［\Insrallr］フォルダの中にある Setup.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。**

3

［次へ］ボタンをクリックします。

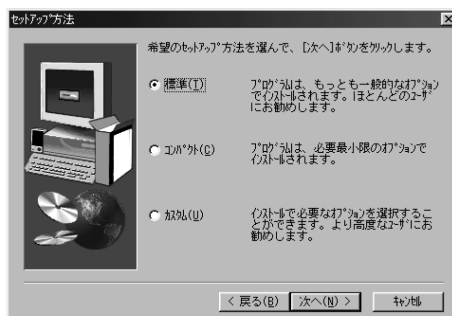
セットアップ方法の選択画面が表示されます。



4

セットアップ方法を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

プリンタポートの選択画面が表示されます。



セットアップ方法の選択によって、それぞれソフトウェア・ファイルがインストールされます。

[標準]

プリンタドライバ（Adobe PostScript Driver 4.3.1）
プリンタ記述ファイル（PPD）
CMYK 色見本情報ファイル
PANTONE 色見本情報ファイル

[コンパクト]

プリンタドライバ（Adobe PostScript Driver 4.3.1）
プリンタ記述ファイル（PPD）

[カスタム]

次の中から選択したファイルをインストールできます。
プリンタドライバ（Adobe PostScript Driver 4.3.1）
プリンタ記述ファイル（PPD）
CMYK 色見本情報ファイル
PANTONE 色見本情報ファイル

5

[LPT1] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

インストールの確認画面が表示されます。



6

内容を確認して［次へ］ボタンをクリックします。

インストールが開始され、プリンタドライバ関連のファイルがインストールされます。続いて、完了画面が表示されます。



7

［完了］ボタンをクリックします。



印刷に必要な設定作業

プリンタドライバのインストールが完了したら、その他に必要な設定作業やソフトウェアなどの準備を行います。

プリンタのオプション設定

プリンタにソータや両面ユニットなどのオプション製品が装着されている場合、オプション製品を使えるようにする設定作業を行います。

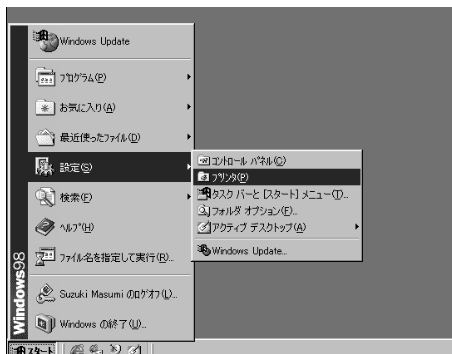

メモ

- **この操作を行わないと、プリンタに装着された両面ユニットや7ビンソータなどのオプション品の機能をプリンタドライバから設定できるようになりません。**

1

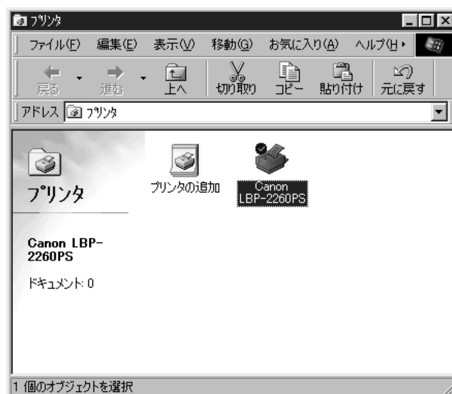
[スタート] メニューから [設定] − [プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PS のアイコンをクリックします。



3

［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

プリンタ名のダイアログボックスが表示されます。



4

［デバイスオプション］シートを表示し、［オプション］タブをクリックします。

本プリンタのオプション品の一覧が表示されます。



5

［取付可能オプション］から、現在プリンタに装着されているオプション品を選択し、［追加］ボタンをクリックします。

デバイスオプション/オプションタブ選択したオプション品が取付済みオプション欄に表示されます。




メモ

● ［プリンタ外観］タブをクリックすると、プリンタ外観のビットマップイメージが表示され、追加したオプション品を確認できます。

6

［OK］ボタンをクリックします。



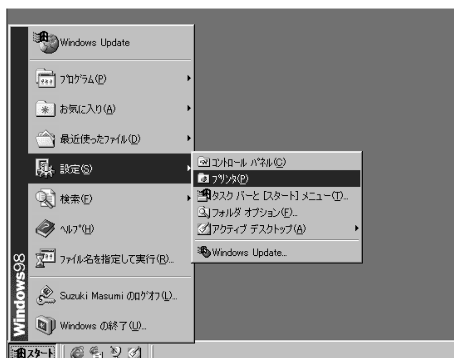
パラレルポート接続でプリントする準備

パラレルポートの設定を確認した後､実際にプリンタが正常に動作するかどうかをテストページをプリントして確認します。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PS のアイコンをクリックします。



3

[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

プリンタ名の［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



4

[詳細] シートを表示し、[印刷先のポート] に表示されている名称を確認します。

ポートを変更した場合には、［適用］ボタンをクリックします。





- **ポート変更により、次のような警告のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。**
  例）LPT1:上のソフトフォントは失われます。

5

[全般] シートを表示し、[印字テスト] ボタンをクリックします。



Windows ネットワークでのプリンタの設定

Windowsネットワーク環境でWindows 95/98をお使いの場合、本プリンタでプリントを行うにはSMB印刷を使います。このSMB印刷は、Windowsに標準で内蔵されています。お使いのコンピュータからSMB印刷を行うには、次のような設定が必要です。ここでは、Windows98にプリンタドライバをインストールする場合を例にしています。



- **Windowsネットワーク環境でWindows 95/98をお使いの場合、本プリンタでプリント（TCP/IP接続でのSMB印刷）を行うには、本プリンタの操作パネルでのネットワークプロトコル（TCP/IP）の設定とネットワークサービス（SMB）の設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第2章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」「Windowsネットワークのためのの設定項目」**
- **TCP/IP接続でSMB印刷を行う場合は、お使いのコンピュータに「Microsoftネットワーククライアント」と「TCP/IPプロトコル」がインストールされている必要があります。**
- **Windows NT 4.0をプリントサーバとして、そのサーバとNetBIOSで通信して印刷する場合、「Microsoftネットワーククライアント」と「TCP/IP」または「NetBEUI」が必要です。**

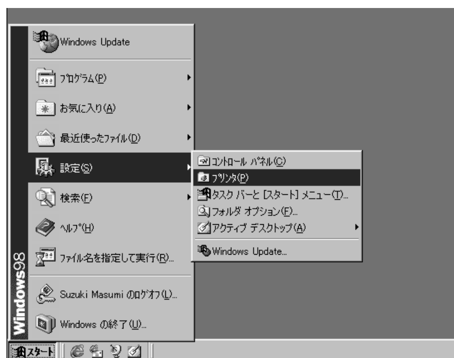
ネットワークプリンタの設定（プリンタの追加で設定する場合）

お使いのコンピュータからネットワーク上の他のコンピュータに接続されているプリンタを使用するには、次のようなネットワークプリンタの設定が必要です。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

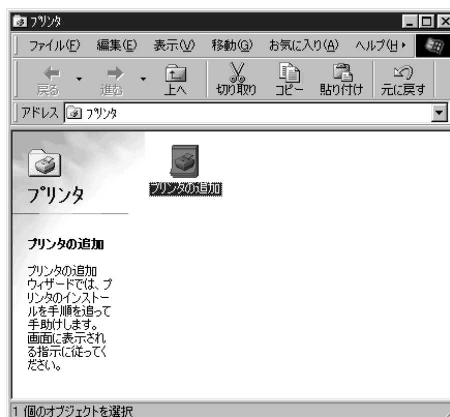
［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

［プリンタの追加］をダブルクリックします。

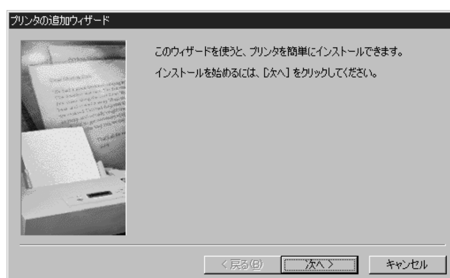
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



3

［次へ］ボタンをクリックします。

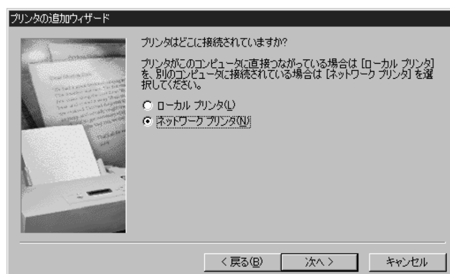
プリンタの接続先を選択するようメッセージが表示されます。



4

［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

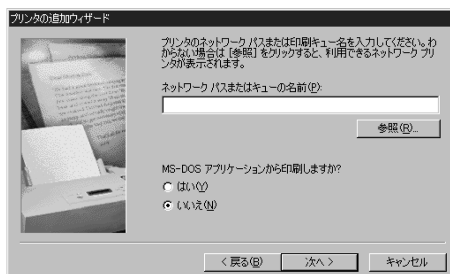
ネットワークパスまたは印刷キューを指定するようメッセージが表示されます。



5

［参照］ボタンをクリックします。

または、ネットワークパス、印刷キューを入力します。
［プリンタの参照］ダイアログボックスが表示されます。



6

本プリンタの印刷キューを選択して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに指定した印刷キューが表示されます。



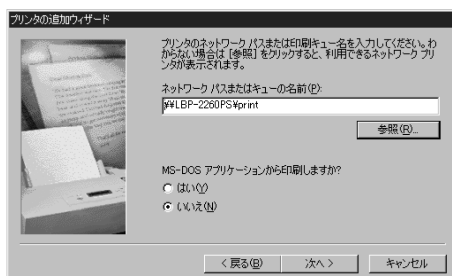


- **キューには次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。**
  print（印刷キュー）　：受信したジョブは、いったん本プリンタのハードディスクにスプールされ、受信順にRIP処理と印刷処理が行われます。
  hold（待機キュー）　：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクにスプールされます。WebTools等でプリントを実行するまでは、RIP処理と印刷処理が行われません。
  direct（直接接続）　：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクのスプールを介さずにRIP処理と印刷処理が行われます。
- **LBP-2260PS\direct は、Adobe Downloader や Canon Font Downloader を使うときに指定してください。**
- **工場出荷時のサーバ名は、LBP-2260PSと表示されますが、プリンタの操作パネル上で名称を変えることができます。**

7

印刷キュー名を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

製造元とモデルを選択するようメッセージが表示されます。



8

CD-ROM ドライブに User Software CD-ROM を挿入し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

［ディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。



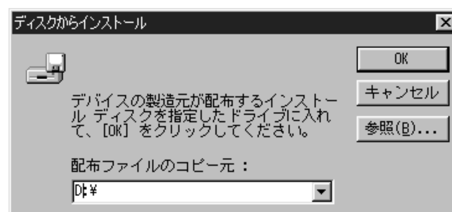


● **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、インストール画面が自動的に表示されます。［キャンセル］ボタン、［中止］ボタンをクリックして、インストール作業を中止してください。**

9

CD-ROMドライブのドライブ名を入力し、［参照］ボタンをクリックします。

CD-ROMの内容が表示されます。



10

［\Prntdrvr\win9x］フォルダを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

［ディスクからインストール］ダイアログボックスに選択したフォルダ名が表示されます。

11

フォルダ名を確認して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］に「LBP-2260PS」が表示されます。

12

必要に応じてプリンタ名を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

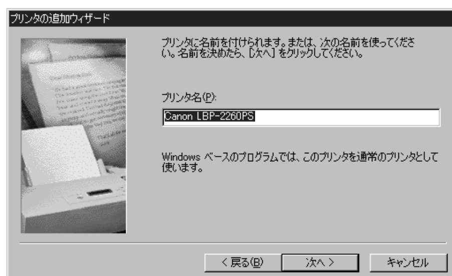
プリンタ名またはキュー名を入力するようメッセージが表示されます。



13

プリンタ名または印刷キューを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

テストページをプリントするかどうかをたずねるメッセージが表示されます。



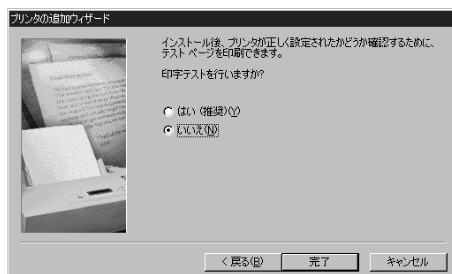

メモ

● **あらかじめ手順6で選択したプリンタ名または印刷キューが表示されています。必要に応じて変更してください。ここで入力した名称がプリンタウィンドウのプリンタアイコンの名称になります。**

14

［いいえ］を選択して［完了］ボタンをクリックします。

プリンタドライバに必要なファイルがコピーされ、プリンタウィンドウに戻ります。





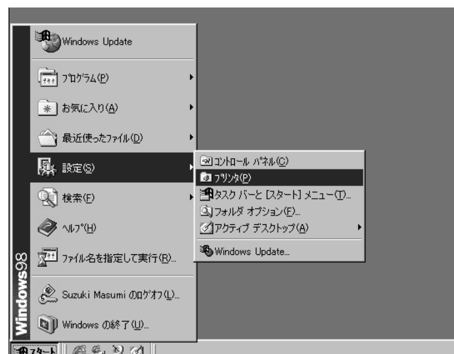
プリンタポートの設定（プリンタポートの切替で設定する場合）

必要な印刷キューをプリンタポートに追加すると、必要に応じて印刷キューを切り替えて使えるようになります。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

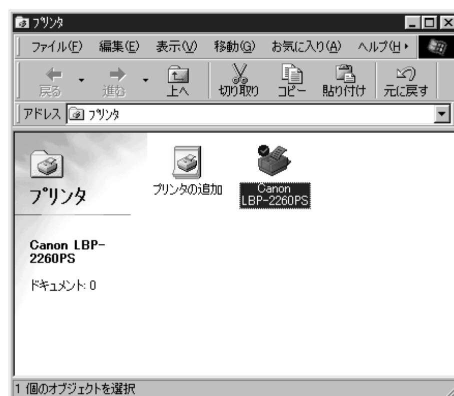
［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PSのアイコンをクリックします。

ローカルプリンタ（LPT1に接続）として設定済みのLBP-2260PSを選択します。



3

［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



4

［詳細］シートを表示します。

5

［ポートの追加］をクリックします。

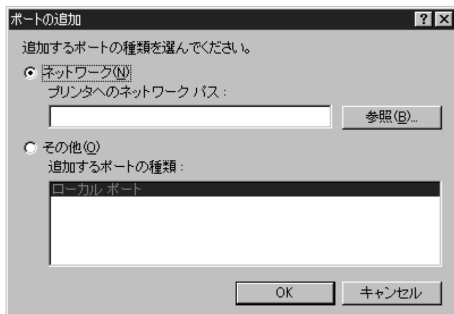
［ポートの追加］ダイアログボックスが表示されます。



6

［ネットワーク］を選択し、［参照］ボタンをクリックします。

［プリンタの参照］ダイアログボックスが表示されます。



7

本プリンタの印刷キューを表示し、プリントしたい印刷キューを選択します。

プリンタアイコンの＋マークをクリックすると、印刷キューが表示されます。



8

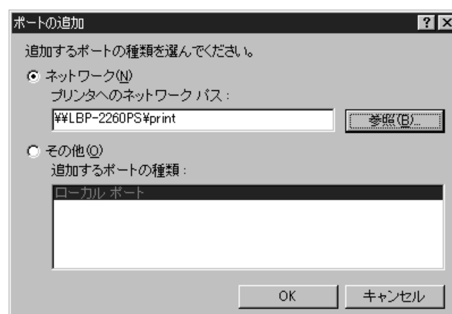
［OK］ボタンをクリックします。

［ポートの追加］ダイアログボックスが表示されます。

9

プリンタへのネットワークパスを確認して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



10

印刷先のポートを確認して［OK］ボタンをクリックします。



NetWare®ネットワークでのプリンタの設定

NetWareネットワーク環境でWindows 95/98をお使いの場合、本プリンタでプリントを行うには次のような設定が必要です。
ここでは、Windows 98にプリンタドライバをインストールする場合を例にしています。


メモ

- **NetWareネットワークでのプリントを行うには、本プリンタでのNetWareのネットワークプロトコルとネットワークサービスの設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第3章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」「ネットワークサービスメニューの設定項目」**
- **NetWareネットワークで印刷する場合は、IPXプロトコルとNetWareクライアントをインストールする必要があります。**
- **NetWareネットワークで印刷する場合、NetWareサーバに対して設定が必要です。（本体／オプション品設置ガイド＆ネットワーク設定ガイドの第3章をご参照ください。）**

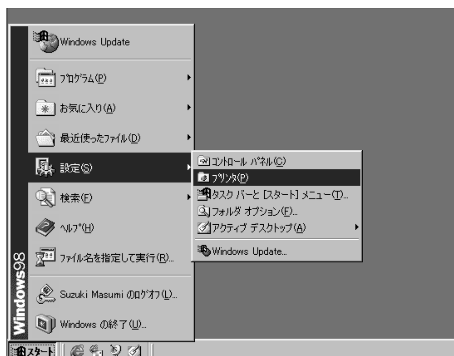
ネットワークプリンタの設定（プリンタの追加で設定する場合）

お使いのコンピュータからNetWareサーバに登録された本プリンタを使用するには、次のようなネットワークプリンタの設定が必要です。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

［プリンタの追加］をダブルクリックします。

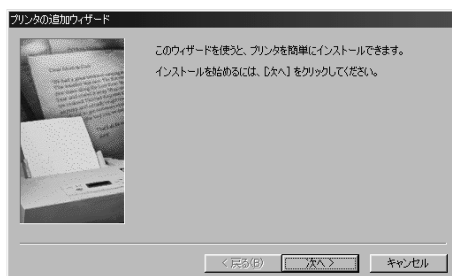
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



3

［次へ］ボタンをクリックします。

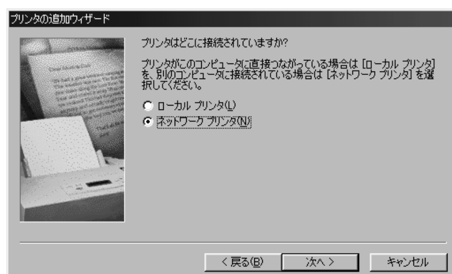
プリンタの接続先を選択するようメッセージが表示されます。



4

［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

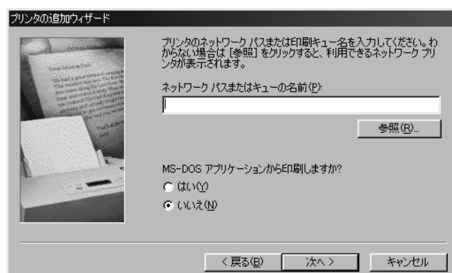
ネットワークパスまたは印刷キューを指定するようメッセージが表示されます。



5

［参照］ボタンをクリックします。

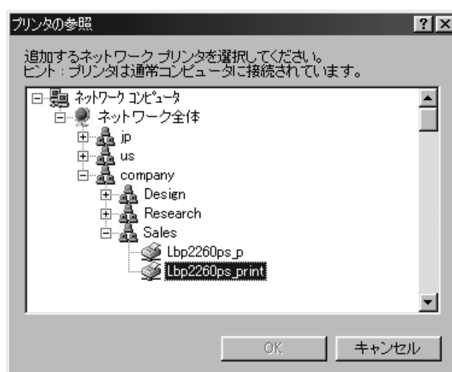
または、ネットワークパス、印刷キューを入力します。
［プリンタの参照］ダイアログボックスが表示されます。



6

本プリンタの印刷キューを選択して［OK］ボタンをクリックします。

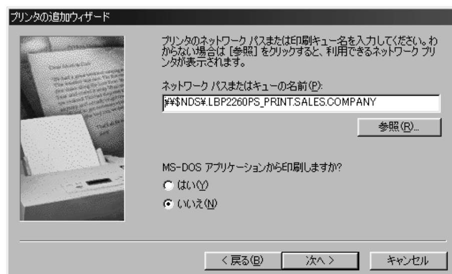
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに指定した印刷キューが表示されます。



7

印刷キュー名を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

製造元とモデルを選択するようメッセージが表示されます。



8

CD-ROMドライブにUser Software CD-ROMを挿入し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

［開く］ダイアログボックスが表示されます。



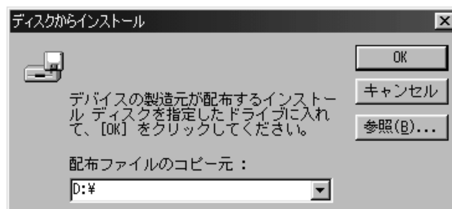


● **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、インストール画面が自動的に表示されます。［キャンセル］ボタン、［中止］ボタンをクリックして、インストール作業を中止してください。**

9

CD-ROMドライブのドライブ名を入力し、［参照］ボタンをクリックします。

CD-ROMの内容が表示されます。



10

［\Prntdrvr\win9x］フォルダを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

［ディスクからインストール］ダイアログボックスに選択したフォルダ名が表示されます。

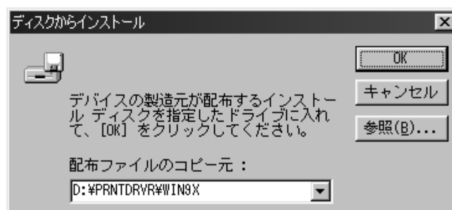


第2章 Windows 95/98から印刷するには

11

フォルダ名を確認して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］に「LBP-2260PS」が表示されます。



12

プリンタ名を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

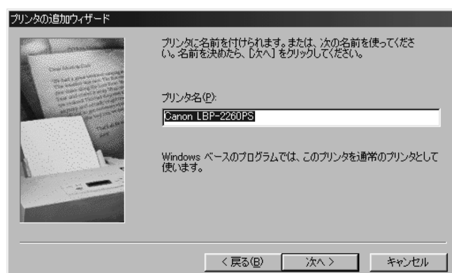
プリンタ名またはキュー名を入力するようメッセージが表示されます。



13

必要に応じてプリンタ名を変更し、［次へ］ボタンをクリックします。

テストページをプリントするかどうかをたずねるメッセージが表示されます。



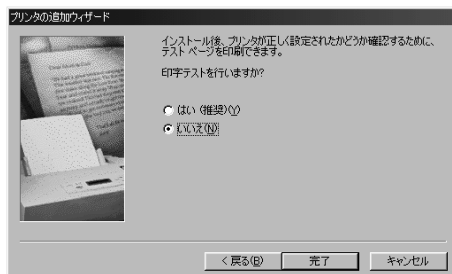

メモ

- **あらかじめ手順6で選択したプリンタ名または印刷キューが表示されています。必要に応じて変更してください。ここで入力した名称がプリンタウィンドウのプリンタアイコンの名称になります。**

14

［いいえ］を選択して［完了］ボタンをクリックします。

プリンタドライバに必要なファイルがコピーされ、プリンタウィンドウに戻ります。





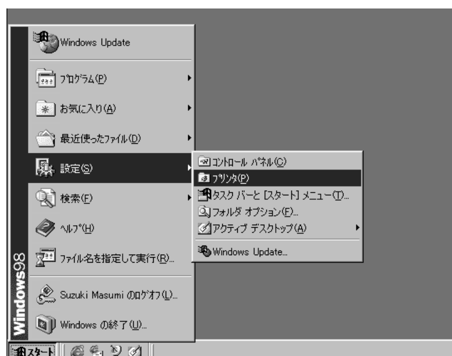
プリンタポートの設定（プリンタポートの切替で設定する場合）

必要な印刷キューをプリンタポートに追加すると、必要に応じて印刷キューを切り替えて使えるようになります。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PS のアイコンをクリックします。

ローカルプリンタ（LPT1 に接続）として設定済みの LBP-2260PS を選択します。



3

[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。



4

[詳細] シートを表示します。

5

[ポートの追加] をクリックします。

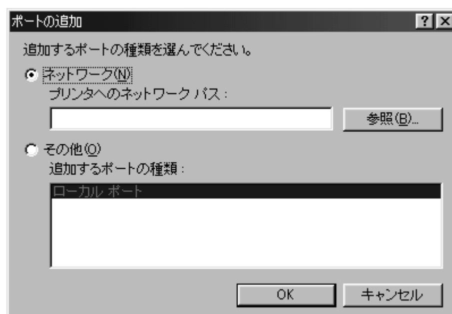
[ポートの追加] ダイアログボックスが表示されます。



6

[参照] ボタンをクリックします。または、ネットワークパスを入力します。

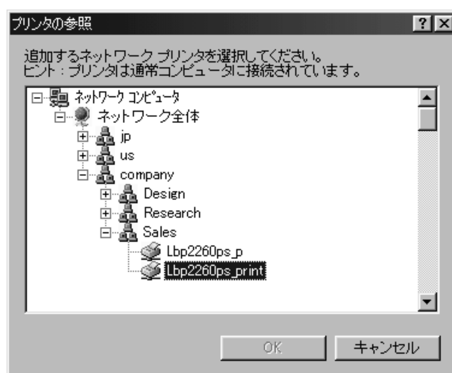
［プリンタの参照］ダイアログボックスが表示されます。



7

ネットワーク上のNetWareプリントサーバを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

NetWareファイルサーバを使用している場合、プリントに使用するサーバのアイコンをダブルクリックします。



8

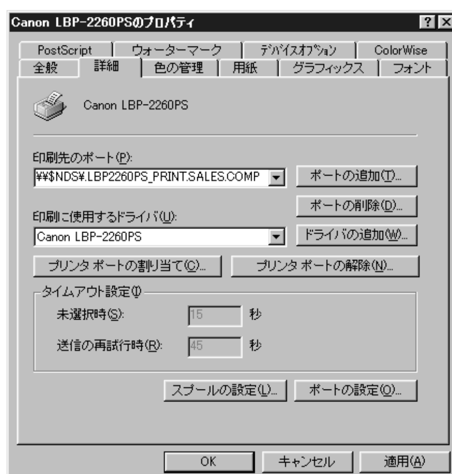
ネットワークパスを確認して [OK] ボタンをクリックします。



9

[印刷先のポート] のネットワークパスを確認して [適用] ボタンをクリックします。

プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスに戻ります。



10

［全般］シートを表示し、［印字テスト］ボタンをクリックします。

テストページがプリントされます。印字テストの結果を確認するメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックして終了します。



印刷に必要なソフトウェアの準備

欧文フォントのインストール

アプリケーションソフトでプリンタ内蔵のPostScriptフォントを使い、正しく画面上に表示するためには、プリンタ内蔵のフォントに対応するType1フォントまたはTrueTypeフォントをコンピュータにインストールする必要があります。同梱のUser Software CD-ROMには、プリンタ内蔵の欧文PostScript3フォントに対応した欧文PostScript Type1フォントとTrueTypeフォントが収められています。

欧文フォント

\PS3fonts\truetype\True Type フォント
\PS3fonts\type1\Type1 フォント


メモ

- **Type1フォントはAdobe Type Managerを使ってインストールします。**
- **TrueTypeフォントはWindowsの［コントロールパネル］から［フォント］フォルダを開き、［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］を選択してインストールします。詳しい操作については、Windowsのマニュアルをご覧ください。**

Adobe Type Manager

Adobe Type Managerをインストールするには、User Software CD-ROMの次のフォルダに入っているインストーラを使います。
\Atm3.xj\Install.exe
Adobe Type Managerをインストールすると、次のようなことができます。

Type1フォントのWindowsへのインストール

Adobe Type Managerをインストールすると、プリンタ内蔵のPostScriptフォントに対応するType1フォントをWindowsシステムにインストールできます。

非PostScript対応プリンタでのPostScriptフォントの印字

PostScript対応プリンタではないプリンタでPostScriptフォントを使ったプリントができます。

フォントのなめらかな表示

PostScriptフォントの画面表示をなめらかにします。プリント結果と変わらない表示が得られます。


メモ

- **Adobe Type Managerに関する詳しい説明は、Atm3.xjフォルダの「Readme_j.wri」をご覧ください。**

色見本情報

プリンタドライバのインストール時に［標準］を選択してインストールを行うと、2種類の色見本情報がコピーされます。色見本情報を使うと、実際に本プリンタで出力可能なカラーを確認できます。


メモ

- **［標準］または［カスタム］で色見本情報をインストールすると、次のディレクトリにコピーされます。**
  \Program Files\Canon LBP-2260PS\ カラーファイル \cmyk_ref.ps
  \Program Files\Canon LBP-2260PS\ カラーファイル \pantone.ps
- **インストール時に色見本情報をコピーしなかった場合は、セットアップ方法の［カスタム］を選択してインストールしてください。**
- **色見本情報は、ダウンロード可能なPostScriptファイルです。WebDownloaderを使うと、アプリケーションソフトを使わずにPostScriptファイルをプリントできます。→第6章「WebDownloaderを使う」（P.182）**

CMYK色見本情報　11ページ A4/ レター

本プリンタでプリントできるカラー範囲がCMYKカラーパッチでプリントできます。この色見本情報を使うと、プリントしたいカラーのCMYKのパーセント値で簡単に指定できます。

PANTONE色見本情報　19ページ A4/ レター

本プリンタのCMYKカラーで表現されたPANTONEカラーをプリントできます。この色見本情報を使うと、PANTONEカラーライブラリで選択したカラーが予想通りプリントできます。

プリンタ機能の設定と印刷のしかた

アプリケーションソフトから印刷する

プリンタドライバのインストールと、その他印刷に必要な準備作業ができたら、さっそく原稿を印刷してみましょう。ここでは「Microsoft Word 97 日本語版」を例に印刷の手順を説明します。


メモ

● **印刷の手順は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの説明書をお読みください。**

1

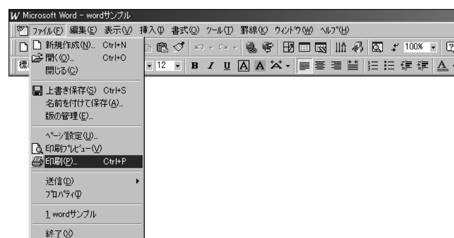
Microsoft Word 97 を起動し、プリントしたい文書を開きます。

文書ウインドウに文書が表示されます。

2

［ファイル］メニューの［印刷 ...］を選択します。

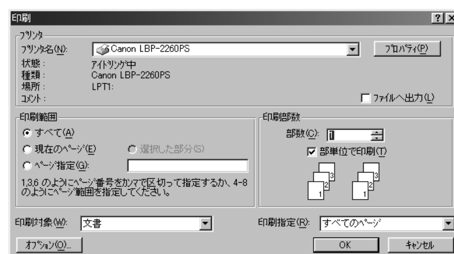
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。



3

［プリンタ名］に本プリンタの名称が表示されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

正しいプリンタ名が表示されていない場合は、一覧から本プリンタの名称を選択してください。



プロパティダイアログボックスが表示されます。



● プリンタ名の［プロパティ］ダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

4

このプリンタ名のダイアログボックスがプリンタドライバの設定画面です。設定画面の各シートで印刷条件を設定し、［OK］ボタンをクリックしてください。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。



5

［OK］ボタンをクリックすると印刷がはじまります。

プリンタドライバの画面を表示する

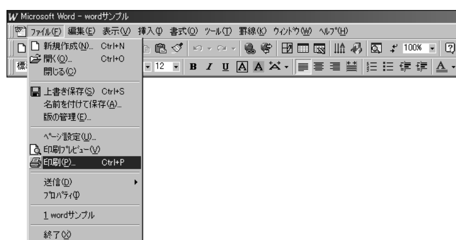
プリンタドライバで印刷の設定をするためにはプリンタ名のダイアログボックスを開き、ダイアログボックスの各シート上で印刷条件を選択します。
ダイアログボックスを開くには、「アプリケーションソフトから開く」方法と「プリンタアイコンから開く」方法の2種類の方法があります。

アプリケーションソフトからダイアログボックスを開く場合

アプリケーションソフトからプリンタ名のダイアログボックスを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なりますので、詳しくはアプリケーションソフトの説明書を参照してください。ここでは、Microsoft Word 97の場合を例に説明します。

1

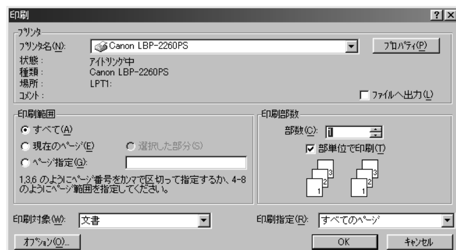
Microsoft Word97の［ファイル］－［印刷 ...］メニューを選択し［印刷］ダイアログボックスをクリックします。



2

お使いのプリンタ名が選択されていることを確認し［プロパティ］ボタンをクリックします。

プリンタのダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスを開くには

通常、プリンタ名のダイアログボックスはアプリケーションソフトの［ファイル］－［ページ設定］メニューや［ファイル］－［印刷 ...］メニューから開きます。プリンタ名のダイアログボックスがアプリケーションソフトから開けない場合には、次の「プリンタアイコンからダイアログボックスを開く方法」（P.74）をお読みください。

3

シート名をクリックし、設定したい項目があるシートを表示します。




メモ

- **各設定項目の詳細は、ヘルプを参照してください。ヘルプは、ダイアログボックス上の［ヘルプ］ボタンをクリックすると表示されます。**

4

設定項目を設定します。



5

［OK］ボタンをクリックすると設定が有効になります。


メモ

● **［適用］ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが開いたまま設定が有効になります。**

プリンタドライバのヘルプについて

プリンタドライバの各設定項目の内容はヘルプで見ることができます。



このマークをクリックし、続けて調べたい項目をクリックすると、各項目の説明が表示されます。

［ヘルプ］ボタンをクリックすると、プリンタドライバのヘルプの目次が表示されます。見たい項目をクリックしていくと、項目の説明が表示されます。

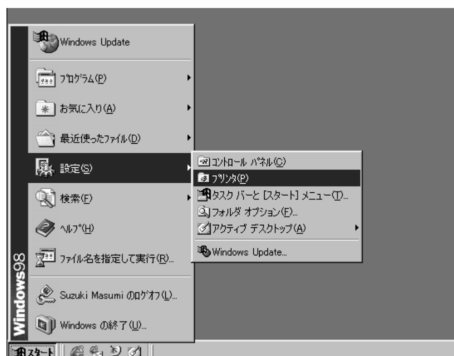
プリンタアイコンからダイアログボックスを開く方法

お使いのプリンタ名のダイアログボックスをアプリケーションソフトから開くことができない場合は、プリンタアイコンを開いてプリンタドライバを設定します。

1

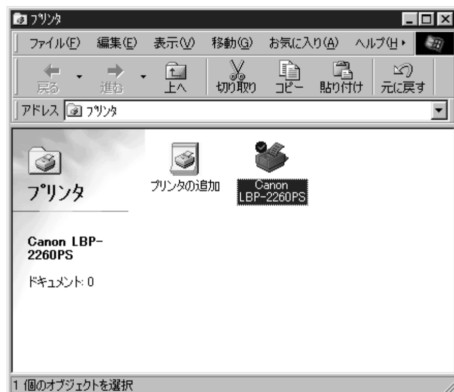
［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

お使いのプリンタ名のアイコンをクリックします。



3

［プリンタ］メニューの［プロパティ］を選択します。

プリンタ名の［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。




メモ

- **手順1のあと、プリンタ名のアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択してもプリンタ名のダイアログボックスは表示されます。**

プリンタドライバの主な設定項目

※グレーで示されている設定値は工場出荷時の値です。

［ColorWise］シート

ColorWise ビジネスカラー

RGB画像のカラーデータは、本プリンタでプリント可能なCMYKカラーに変換された後プリントされます。本プリンタのカラー管理ソフトウェアは、プリントする画像、テキスト、グラフィックスに対応したCRD（Color Rendering Dictionary：カラーの表現）を参照し、適切な変換処理を行います。
この項目を選択すると、文書中の画像処理アプリケーションソフトで作成されたデータにはグラフィックス用のカラーの表現を、イラストアプリケーションソフトで作成されたデータとテキストには、プレゼンテーション用のカラーの表現を適用します。
カラーのグラフやグラフィックス、テキストなどを含むオフィスアプリケーションで作成された文書をプリントするときに最適です。


メモ

- ［ColorWise ビジネスカラー］を選択すると、［CRD］の各項目は選択できなくなります。
- CRD の設定は CMYK データには適用されません。

ColorWise エキスパートモード

プリントする文書に合わせた詳細なカラー設定ができます。このモードを選択すると、CRDの設定ができるようになります。連続階調の写真画像のように自然な色調でプリントしたい場合に選択します。

ICM プロファイル

プリントするお使いのコンピュータにカラーマッチングのためのプロファイルがインストールされている場合、そのプロファイルを指定してカラーマッチングを行えます。

グレースケール

グレースケールでプリントしたいときは、［グレースケール］を選択します。グレースケールを選択すると、K（黒）トナーのみが使われるため、より速くプリントできます。

CRD

画像

連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム

テキスト

連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム

グラフィックス

連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム

画像、テキスト、グラフィックスのそれぞれについて、プリント時に使用するカラーの表現の調整方法を指定します。

[連続調]

画像の正確な色よりも、画像全体の色調を保つように調整します。元の画像の持つプリント範囲外のカラーも含めて、明度を維持しつつプリント可能なCMYKカラーに変換します。人間の目で認識できる範囲の色調を保つことを優先させるため、色の正確さは多少犠牲になります。［ビジネスグラフィックス］を選択した場合よりも、鮮やかさを再現できません。
写真のように階調表現の複雑な画像やスキャンした画像、市販の画像ライブラリの画像などをプリントするのに適しています。

[連続調（黒強調）]

連続調と基本的には同じですが、CMY の混合色に対して K（黒）トナーをより多く、CMY トナーをより少なく使用した色調になります。グレーの色調を重視したい画像などをプリントするのに適しています。

[ビジネスグラフィックス]

鮮やかな彩度の高い色を作ります。この設定を選択すると、プリントされるカラーとモニタに表示されるカラーを正確に一致させることはしませんが、鮮やかな彩度の高いカラー表現が得られます。同時に連続階調の写真画像に対しては、［連続調］と同じ処理を行います。
ビジネス文書で使われる図形やグラフ、階調表現の複雑な写真などをプリントするのに適しています。

[OHP フィルム]

OHP フィルムにプリントしたときに、モニタカラーに近い色でプリントできるように調整します。ビジネス文書で使われる図形やグラフなどをOHP フィルムにプリントするのに適しています。



- ［カラーの表現］はRGBデータに適用される項目です。RGBデータ（画像、テキスト、グラフィックス）は、プリントされる前にプリンタで出力可能なCMYKデータに変換されます。

シミュレーション

DIC　Euroscale　SWOP-Coated　なし

シミュレーションは、よく使われるオフセット印刷の標準インキセットの色の範囲を近似的に再現するための機能です。SWOP-Coatedは米国、Euroscaleはヨーロッパ、DICは日本のオフセット印刷用の色を再現します。

RGBソース

EFIRGB　sRGB(PC)　Apple標準　なし

RGBデータのプリントに適用される定義ずみRGBソース色空間を選択します。

［EFIRGB］

本プリンタでRGBデータのプリントに最適の設定です。通常はこの項目を選択してください。オペレーティングシステムに依存しない、一貫したカラー出力ができます。

［sRGB(PC)］

Windows対応モニタ用のソース色空間を指定します。Windows対応モニタを使用して作成されたRGBデータをプリントするときに使います。

［Apple標準］

Mac OS対応モニタ用のソース色空間を指定します。Mac OS対応モニタを使用して作成されたRGBデータをプリントするときに使います。

［なし］

他のカラー管理システムで指定したデバイスプロファイルが存在する場合、ここでの設定によって上書きされます。他の設定でカラー管理システム用のプロファイルを使用している場合には［なし］を指定します。

明るさ

85%～100%～115%

印刷される色の明るさを調整します。すべての色に同じように適用されます。

［デバイスオプション］シート／［仕上げ］タブ

ソート

オフ　オン

複数部数のプリント時、［ソート］を選択すると、1部ずつ1ページから最終ページまでページが順番にそろうようにプリントします。［ソート］を選択しないと、各ページを部数分ずつプリントします。


メモ

- **プリンタドライバでソートを指定してプリントするときは、アプリケーションソフトのソートの指定をオフにしてください。**
- **オプションのソータが装着されている場合に、1部ずつページをそろえて、別々のソータビンに排紙するには、プリンタドライバとプリンタ機能の設定が必要です。**

プリンタドライバ	**排紙先を［ソータビン］に設定 ソートを［オン］に設定**
プリンタ機能	**プリンタ設定メニューで［ソータモード］を［ジョブセパレート］に設定**

確認印刷

オフ　オン

複数部数のジョブのプリントを行うときに、あらかじめ1部だけプリントして印字結果を確認した上で指定した部数をプリントすることができます。この項目をオンにしてプリントを実行した後、プリンタの操作パネルまたはWebSpoolerを使って、指定した部数をプリントします。その際、部数を変更することもできます。


メモ

- **確認印刷を行うには、アプリケーションソフトのプリントダイアログの［ソート］の設定を［オフ］にする必要があります。**
- **本プリンタの操作パネルのディスプレイでは漢字やかななどの全角文字（2バイト文字）の表示はできません。「確認印刷」のファイル名やユーザ名を2バイト文字で指定している場合、操作パネルには正しく表示されません。操作パネル上でも正しく表示させるためには「確認印刷」のファイル名やユーザ名は半角文字で指定することをおすすめします。**

洋形封筒印刷

オフ　オン

洋形4号、角形2号の封筒を横向きに印刷するときは、［印刷の向き］で［横］を選択し、［回転］チェックボックスをオンにして、［洋形封筒印刷］を［オン］にします。


メモ

- **洋形4号、角形2号の封筒のプリントが終わったら、必ず［オフ］に戻してください。**

［用紙］シート

用紙サイズ

ユーザ定義ページ　A4　レター　リーガル　11x17　12x18　エグゼクティブ　A3　B4　B5-R　A5-R　COM10　Monarch　DL　ISO-C5　ISO-B5　洋形４号　角形２号

プリントする用紙のサイズを指定します。

印刷の向き

縦　横　（回転）

封筒を横の向きで印刷する場合には、［横］を選択し、［回転］チェックボックスをオンにしてください。さらに、洋形４号、角形２号を横の向きで印刷する場合には、［洋形封筒印刷］を［オン］にしてください。

用紙の順番

両面印刷

なし　短辺を綴じる　長辺を綴じる

本プリンタにオプションの両面ユニットを装着すると、2ページ分の原稿を用紙の両面にプリントできます。ここでは、用紙のどこを綴じるかを決めます。

［なし］

片面プリントをするときは、［両面］を［なし］にします。

［短辺を綴じる］

用紙の短い辺に綴じしろがくるようにプリントします。
用紙の向きが縦長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。

［長辺を綴じる］

用紙の長い辺に綴じしろがくるようにプリントします。
用紙の向きが縦長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。

給紙方法

自動選択　手差しトレイ　カセット1〜カセット4　2000枚ペーパーデッキ

プリントする用紙の給紙元を指定します。


メモ

- **標準装備の手差しトレイ、カセット1〜2以外はオプションで、装着されていない場合には表示されません。**

排紙方法

排紙トレイ　サブ排紙トレイ　ソータビン　ビン1〜ビン7

排紙先のトレイまたはビンを指定します。

[排紙トレイ]

プリンタ上部の排紙トレイにプリント面を下向きにして排紙します。プリントされたページは、最終ページが一番上になります。

[サブ排紙トレイ]

サブ排紙トレイにプリント面を上向きにして排紙します。プリントされたページは、開始ページが一番下になります。

[ソータビン]または[ビン1]〜[ビン7]

[ソータビン]または[ビン1]〜[ビン7]に排紙します。
[ソータビン]または[ビン1]〜[ビン7]にプリント面を下向きに排紙され、最終ページが一番上になります。


メモ

- **[ソータビン][ビン1]〜[ビン7]は、オプションの7ビンソータが装着され、取付済みオプションに設定されている場合のみ選択可能になります。→「プリンタのオプション設定」(P.46)**

用紙の種類

普通紙　OHPフィルム　厚紙1(105g/m²)　厚紙2(〜135g/m²)　光沢フィルム

プリントに使用する用紙のタイプを指定します。


お願い

- **ラベル用紙にプリントする場合「厚紙2(〜135g/m²)」を指定してください。**


メモ

- **用紙の種類で[OHPフィルム]を指定すると、[CRD]の設定が自動的に[OHPフィルム]に設定されます。→「CRD」(P.76)**

第 3 章

Windows NT 4.0 から印刷するには

印刷するときに必要な作業

ユーザーズガイドにしたがってプリンタの設置やネットワークプ接続、ネットワーク情報の設定が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールと設定作業を行う必要があります。
アプリケーションソフトから印刷するために必要な作業は次のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業　P.84, 87, 102

プリンタドライバとプリンタ記述ファイルをインストールする

プリンタドライバとプリンタ記述ファイルは、Windowsアプリケーションソフトから印刷するときに必ず必要なソフトウェアです。本プリンタに同梱のCD-ROMからコンピュータにインストールして使用できるようにします。

印刷に必要なプリンタの設定をする

ネットワーク環境の違いによって必要なプリンタの設定、プリンタのオプションを使うための設定などを行います。

印刷に必要なソフトウェアの準備をする

フォントやカラー印刷のためのファイルなどを準備します。

印刷のたびに行う作業　P.104

印刷設定をする

プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数、印刷の品質などを設定します。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。
印刷設定は、プリンタドライバから行います。

印刷する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

必要なシステム環境

Windows 用プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア： Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 Service Pack 5 以降
コンピュータ： Microsoft Windows NT 4.0 日本語版が動作するコンピュータ


お願い

- プリンタドライバをインストールするには CD-ROM ドライブが必要です。
- Microsoft Windows NT 英語版ではお使いになれません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバとプリンタ記述ファイルのインストールをします。

インストール手順

1

コンピュータにプリンタを正しく接続し、プリンタの電源が入っていることを確認します。



- **プリンタの電源が入っていないときにインストールすると正常にインストールできないことがあります。**

2

付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

インストール画面が自動的に表示されます。



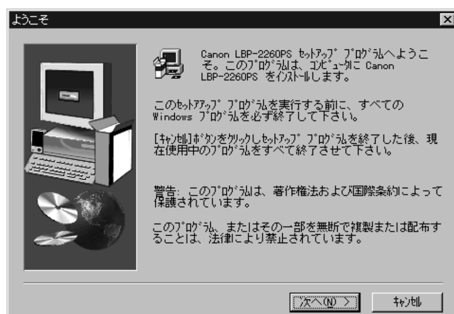


- **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、インストール画面が自動的に表示されます。ただし、システムの状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、マイコンピュータを開いてCD-ROMアイコンをダブルクリックするか、またはCD-ROMの［\Installr］フォルダの中にあるSetup.exeファイルをダブルクリックして起動してください。**

3

［次へ］ボタンをクリックします。

インストール方法の選択画面が表示されます。



4

インストール方法を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

プリンタポートの選択画面が表示されます。



セットアップ方法の選択によって、それぞれ次のようなソフトウェア・ファイルがインストールされます。

[標準]

プリンタドライバ（Adobe PostScript Driver 5.1.1）
プリンタ記述ファイル（PPD）
CMYK 色見本情報ファイル・PANTONE 色見本情報ファイル

[コンパクト]

プリンタドライバ（Adobe PostScript Driver 5.1.1）
プリンタ記述ファイル（PPD）

[カスタム]

次の中から選択したファイルをインストールできます。
プリンタドライバ（Adobe PostScript Driver 5.1.1）
プリンタ記述ファイル（PPD）
CMYK 色見本情報ファイル・PANTONE 色見本情報ファイル

5

[LPT1] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

インストールの確認画面が表示されます。



6

内容を確認して［次へ］ボタンをクリックします。

インストールが開始され、プリンタドライバ関連のファイルがインストールされます。続いて、完了画面が表示されます。



7

［完了］ボタンをクリックします。

インストールが完了すると、［プリンタ］フォルダにインストールしたプリンタのアイコンが表示されます。



印刷に必要な設定作業

プリンタドライバのインストールが完了したら、プリンタを使うために必要な設定作業を行います。


お願い

- **ローカルシステムにプリンタを追加するには、ネットワークサーバドメインではなく、ローカルのWindows NT 4.0ワークステーションにログインする必要があります。また、この操作は、ネットワーク管理者でないとできません。**

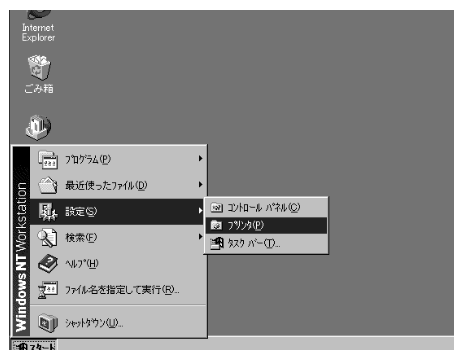
プリンタのオプション設定

プリンタにソータや両面ユニットなどのオプション製品が装着されている場合、オプション製品を使えるように設定作業を行います。

1

[スタート] メニューから [設定] − [プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PS のアイコンをクリックします。



3

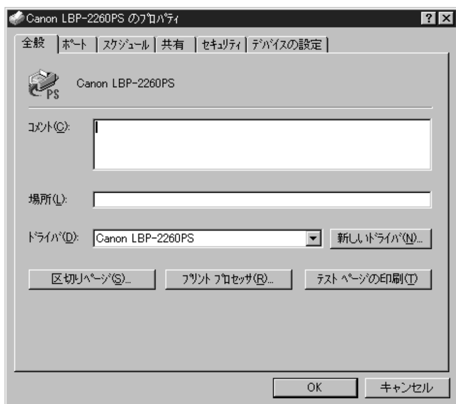
[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

[Canon LBP-2260PSのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



4

[デバイスの設定] シートを表示します。



5

[インストールできるオプション] が表示されるまで、スクロールします。

本プリンタのオプションの一覧が表示されます。



6

［インストールできるオプション］から、現在プリンタに装着されているオプションを選択します。

選択したオプションが設定の変更欄に表示されます。



7

［あり］を選択し選択し、［OK］ボタンをクリックします。

オプションの設定が変更されます。



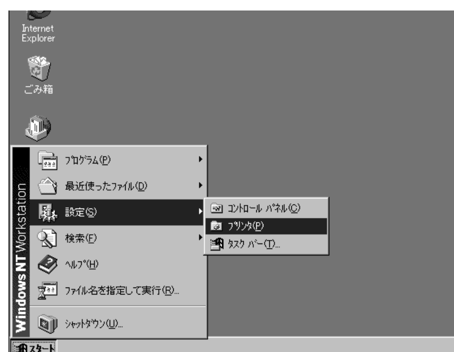
パラレルポート接続でプリントする準備

パラレルポートの設定を確認した後､実際にプリンタが正常に動作するかどうかをテストページをプリントして確認します。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PSのアイコンをクリックします。



3

[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。

[Canon LBP-2260PSのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



4

[ポート]シートを表示し、[印刷するポート]に表示されている名称を確認します。

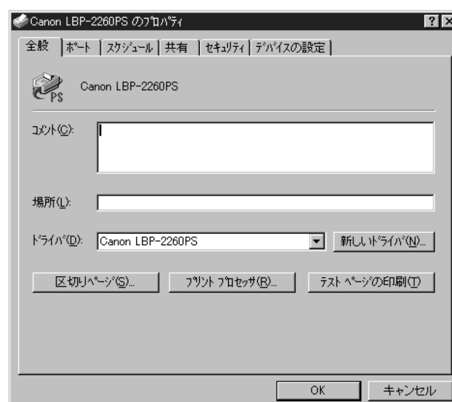
[LPT1:(プリンタポート)]になっていることを確認します。



5

［全般］シートを表示し、［テストページの印刷］ボタンをクリックします。

テストページのプリントが開始されます。終了すると、印字結果の確認メッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックします。



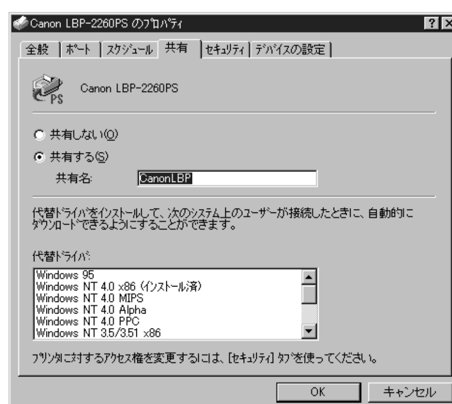
6

他のユーザとプリンタを共有する場合は、［共有］シートを表示します。

7

［共有する］を選択し、共有名を入力します。

プリンタドライバのインストール時にプリンタの名前を変えていなければ、共有名は［CanonLBP］になっています。



8

［OK］ボタンをクリックします。


メモ

- **他のユーザがこの共有プリンタに接続したときに、自動的にプリンタドライバのダウンロードができるようにしたいときは、［代替ドライバ］欄でお使いのオペレーティングシステムを選択します。プリンタ共有の設定の詳細については、Windows NT 4.0 のマニュアルをご覧ください。**

Windows ネットワークでのプリンタ設定

Windowsネットワーク環境でWindows NTをお使いの場合、本プリンタでプリントを行うには、次のような設定が必要です。



- Windows ネットワーク環境でプリント（TCP/IP 接続での SMB 印刷）を行うには、本プリンタでのネットワークプロトコル（TCP/IP）とネットワークサービス（SMB）の設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第2章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」「ネットワークサービスメニューの設定項目」
- TCP/IP 接続で SMB 印刷を行う場合は「Microsoft ネットワーククライアント」と「TCP/IP プロトコル」がインストールされている必要があります。

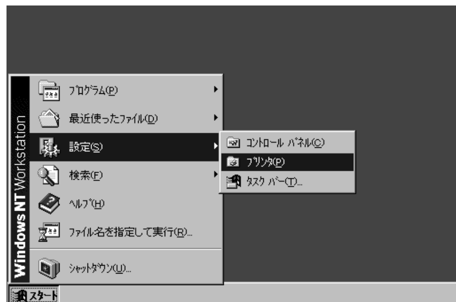
ネットワークプリンタの設定

お使いのコンピュータからネットワーク上の他のコンピュータに接続されているプリンタを使用するには、次のようなネットワークプリンタの設定が必要です。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

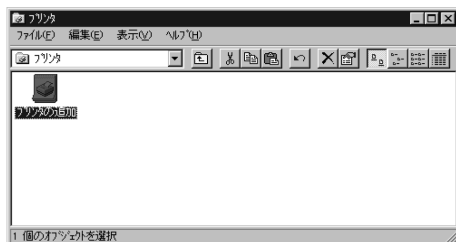
［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

［プリンタの追加］をダブルクリックします。

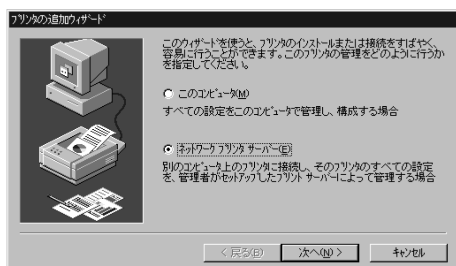
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



3

［ネットワークプリンタサーバー］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

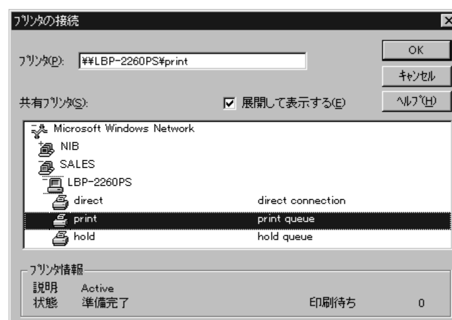
ネットワークパスまたは印刷キューを指定するようメッセージが表示されます。



4

本プリンタの印刷キューを選択して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの接続］ダイアログボックスが表示されます。




メモ

- **キュー名称には次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。**
  print（印刷キュー）：受信したジョブは、いったん本プリンタのハードディスクにスプールされ、受信順にRIP処理と印刷処理が行われます。
  hold（待機キュー）：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクにスプールされます。WebTools等でプリントを実行するまでは、RIP処理と印刷処理が行われません。
  direct（直接接続）：受信したジョブは、ハードディスクのスプールを介さずにRIP処理と印刷処理が行われます。
- **LBP-2260PS\directは、Adobe DownloaderやCanon Font Downloaderを使うときに指定してください。**
- **工場出荷時の設定では、LBP-2260PS\print、LBP-2260PS\direct、LBP-2260PS\holdと表示されますが、操作パネル上で名称を変えることができます。**

5

印刷キュー名を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

製造元とモデルを選択するようメッセージが表示されます。



6

CD-ROMドライブにUser Software CD-ROMを挿入し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。



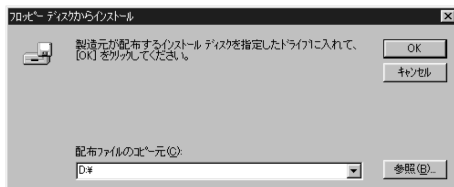

メモ

- **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、インストール画面が自動的に表示されます。［キャンセル］ボタン、［中止］ボタンをクリックして、インストール作業を中止してください。**

7

CD-ROMドライブのドライブ名を入力し、[参照］ボタンをクリックします。

［ファイルを見つけます］ダイアログボックスが表示されます。



8

[\Prntdrvr\winnt]フォルダを選択し、[OK］ボタンをクリックします。

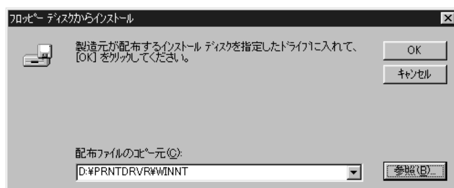
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスに選択したフォルダ名が表示されます。



9

フォルダ名を確認して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］に「LBP-2260PS」が表示されます。



10

プリンタ名を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタ名またはキュー名を入力するようメッセージが表示されます。

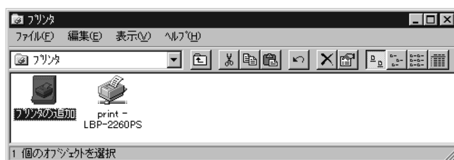


11

［完了］ボタンをクリックします。

プリンタドライバに必要なファイルがコピーされ、プリンタウィンドウに戻ります。





NetWare®ネットワークでのプリンタの設定

NetWareネットワーク環境でWindows NTをお使いの場合、本プリンタでプリントを行うには、次のような設定が必要です。



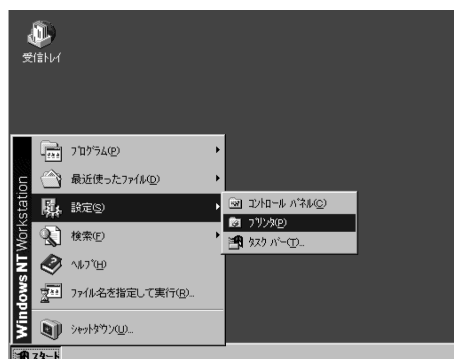
- **NetWareネットワークでのプリントを行うには、本プリンタでのネットウェアのネットワークプロトコルとネットワークサービスの設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第2章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」「ネットワークサービスメニューの設定項目」**
- **NetWareネットワークで印刷する場合は、IPXプロトコルとNetWareクライアントをインストールする必要があります。**

ネットワークプリンタの設定

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

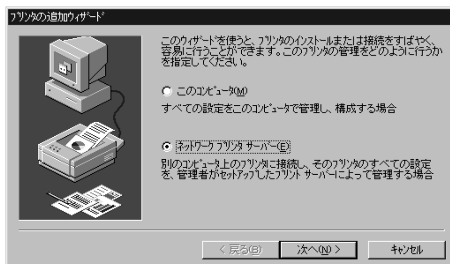
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



3

［ネットワークプリンタサーバー］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

［プリンタの接続］ダイアログボックスが表示されます。



4

接続されたプリンタを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

プリンタドライバをインストールするかどうかを確認するメッセージが表示されます。



5

［OK］ボタンをクリックします。

製造元とモデルを選択するようメッセージが表示されます。



6

CD-ROMドライブにUser Software CD-ROMを挿入し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

［ファイルを見つけます］ダイアログボックスが表示されます。





- **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、インストール画面が自動的に表示されます。［キャンセル］ボタン、［中止］ボタンをクリックして、インストール作業を中止してください。**

7

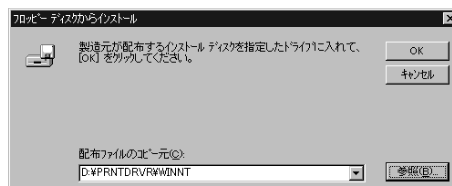
[\Prntdrvr\winnt]フォルダを選択し、表示されているファイルを選択して[開く］ボタンをクリックします。



［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

8

コピー元を確認して［OK］ボタンをクリックします。



［プリンタウィザード］ダイアログボックスに選択したプリンタ名が表示されます。

9

プリンタ名を確認して［OK］ボタンをクリックします。



10

［完了］ボタンをクリックします。



インストールが完了すると、［プリンタ］フォルダにインストールしたプリンタのアイコンが表示されます。



TCP/IP 印刷(LPD)のための設定

TCP/IP接続されたWindowsネットワーク上のコンピュータから本プリンタでプリントするためのポートの設定を行います。

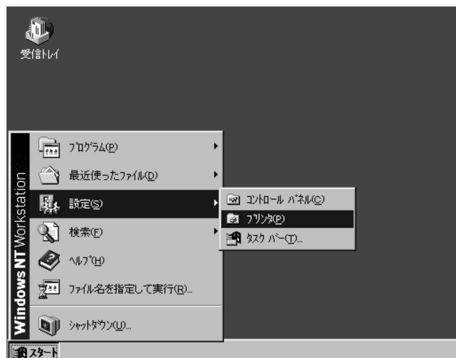


- **TCP/IP印刷を行うには、本プリンタでのネットワークプロトコルの設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第3章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」**
- **この操作には、本プリンタに設定されているIPアドレスなどが必要です。はじめる前に、ネットワーク管理者におたずねください。**
- **お使いのWindows NT ワークステーションでTCP/IPプロトコルとMicrosoft TCP/IP 印刷が使用可能になっている必要があります。設定については、Windows NT 4.0のマニュアルをご覧ください。**

1

[スタート] メニューから [設定] ー [プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] フォルダが表示されます。



2

[プリンタ追加] アイコンをダブルクリックします。

[プリンタ追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。



3

［このコンピュータ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

ポートを選択するようメッセージが表示されます。



4

［ポートの追加］ボタンをクリックします。

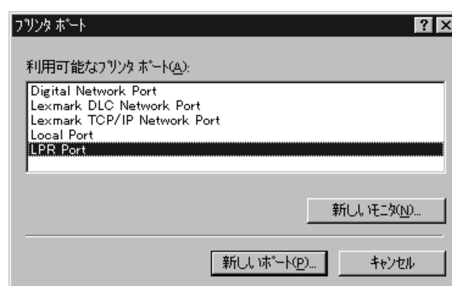
［プリンタポート］ダイアログボックスが表示されます。



5

［LPR Port］を選択し、［新しいポート］ボタンをクリックします。

［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されます。





メモ

- **［LPR Port］が表示されていない場合、NT ワークステーションにTCP/IP プロトコルと Microsoft TCP/IP 印刷がインストールされているか確認してください。インストールするには［コントロールパネル］の［ネットワーク］を使います。詳細は、Windows NT 4.0 のマニュアルをご覧ください。**

6

1 つ目の入力欄にプリンタの IP アドレスを入力します。

お使いのネットワークが DNS サーバを使用している場合は、IPアドレスの代わりにプリンタのホスト名を入力します。



7

次の入力欄に下にあげる 3 つのいずれかを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



xjdirect → Direct（直接接続）
xjhold → Hold（待機キュー）
xjprint → Print（印刷キュー）

入力したIPアドレス、またはホスト名がチェックされ、正しくなかった場合はメッセージが表示されます。



- **この 3 つ（xjdirect、xjhold、xjprint）はプリンタのキューを示しています。必ずこの名前で、かつ半角小文字でなくてはなりません。間違えないように入力してください。**
- **末尾名称には次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。**
  Print（印刷キュー）：受信したジョブは、いったん本プリンタのハードディスクにスプールされ、受信順にRIP処理と印刷処理が行われます。
  Hold（待機キュー）：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクにスプールされます。WebTools等でプリントを実行するまでは、RIP 処理と印刷処理が行われません。
  Direct（直接接続）：受信したジョブは、ハードディスクのスプールを介さずに RIP 処理と印刷処理が行われます。
- **Direct は、Adobe Downloaderや Canon Font Downloader を使うときに指定してください。**

8

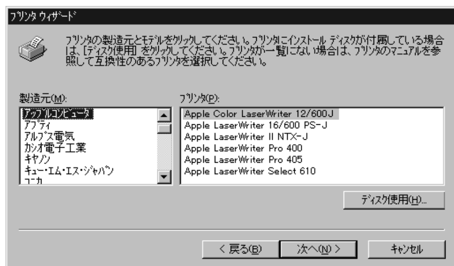
該当のポートを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



製造元とモデルを選択するようメッセージが表示されます。

9

CD-ROM ドライブに User Software CD-ROM を挿入し、[ディスク使用] ボタンをクリックします。



[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。



● CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、インストール画面が自動的に表示されます。[キャンセル] ボタン、[中止] ボタンをクリックして、インストール作業を中止してください。

10

必要に応じてプリンタ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



11

必要に応じて、プリンタ共有の設定をして [次へ] ボタンをクリックします。



12

[はい] をクリックし、[完了] ボタンをクリックします。

テストページのプリントが開始されます。終了すると、印字結果の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックします。



印刷に必要なソフトウェアの準備

欧文フォントのインストール

アプリケーションソフトでプリンタ内蔵のPostScriptフォントを使い、正しく画面上に表示するためには、プリンタ内蔵のフォントに対応するTypy1フォントまたはTrueTypeフォントをコンピュータにインストールする必要があります。同梱のUser Software CD-ROMには、プリンタ内蔵の欧文PostScript3フォントに対応した欧文PostScript Type1フォントとTrueTypeフォントが収められています。

欧文フォント

\PS3fonts\truetype\True Type フォント
\PS3fonts\type1\Type1 フォント

フォントはWindowsの［コントロールパネル］から［フォント］フォルダを開き、［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］を選択してインストールします。詳しい操作については、Windows NT 4.0のマニュアルをご覧ください。

色見本情報

プリンタドライバのインストール時に［標準］を選択してインストールを行うと、2種類の色見本情報がコピーされます。色見本情報を使うと、実際に本プリンタで出力可能なカラーを確認できます。


メモ

- **［標準］または［カスタム］で色見本情報をインストールすると、次のディレクトリにコピーされます。**
  \Program Files\Canon LBP-2260PS\カラーファイル\cmyk_ref.ps
  \Program Files\Canon LBP-2260PS\カラーファイル\pantone.ps
- **インストール時に色見本情報をコピーしなかった場合は、セットアップ方法の［カスタム］を選択してインストールしてください。**
- **色見本情報は、ダウンロード可能なPostScriptファイルです。WebDownloaderを使うと、アプリケーションソフトを使わずにPostScriptファイルをプリントできます。****→第6章「WebDownloaderを使う」（P.182）**

CMYK色見本情報　11ページA4/レター

本プリンタでプリントできるカラー範囲がCMYKカラーパッチでプリントできます。この色見本情報を使うと、プリントしたいカラーのCMYKのパーセント値で簡単に指定できます。

PANTONE 色見本情報　19 ページ A4/ レター

本プリンタのCMYKカラーで表現されたPANTONEカラーをプリントできます。この色見本情報を使うと、PANTONEカラーライブラリで選択したカラーが実際にどのような色にプリントされるか予測できます。

プリンタ機能の設定と印刷のしかた

アプリケーションソフトから印刷する

プリンタドライバのインストール、その他印刷に必要な準備作業ができたら、さっそく原稿を印刷してみましょう。ここでは「Microsoft Word 97 日本語版」を例に印刷の手順を説明します。

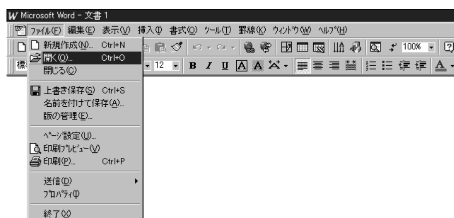


- **印刷の手順は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの説明書をお読みください。**

1

Microsoft Word 97を起動し、プリントしたい文書を開きます。

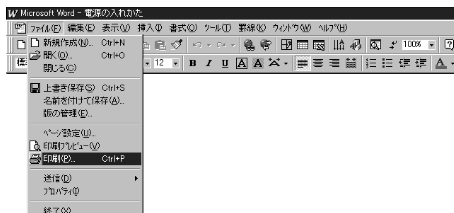
文書ウインドウに文書が表示されます。



2

ファイル］メニューの［印刷...］を選択します。

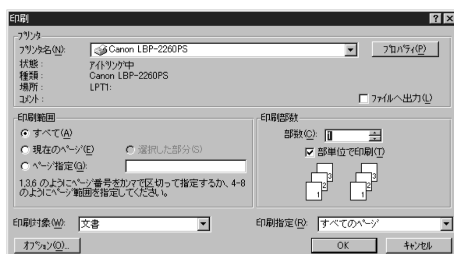
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。



3

［プリンタ名］に本プリンタの名称が表示されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

正しいプリンタ名が表示されていない場合は、一覧から本プリンタの名称を選択してください。



プロパティダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスがプリンタドライバの設定画面です。



- **プリンタ名のダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。**

4

スクロールして、設定したい項目を表示し、設定したい項目をクリックします。

選択した設定項目がダイアログボックスの下の部分に表示されます。



5

設定を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。



6

[OK] ボタンをクリックすると印刷がはじまります。

プリンタドライバの画面を表示する

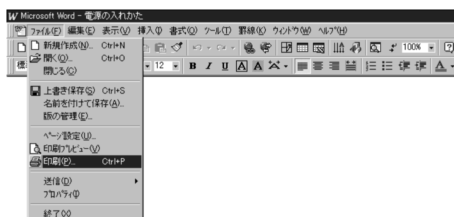
プリンタドライバで印刷の設定をするためには[ドキュメントのプロパティ]ダイアログボックスを開き、印刷条件を選択します。
ダイアログボックスを開くには「アプリケーションソフトから開く」方法と「プリンタアイコンから開く」方法の2種類があります。
アプリケーションソフトから開いた場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションで作成中の文書にのみ適用されます。また、プリンタアイコンから開いた場合では、そのコンピュータからプリントする全ての文書のデフォルトの設定になります。

アプリケーションソフトからダイアログボックスを開く場合

アプリケーションソフトから[ドキュメントのプロパティ]ダイアログボックスを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なりますので、詳しくはアプリケーションソフトの説明書を参照してください。ここでは、Microsoft Word 97の場合を例に説明します。

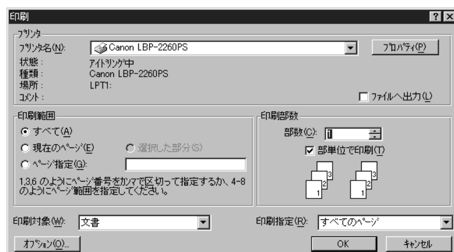
1

Microsoft Word 97の［ファイル］-［印刷...］メニューを選択し［印刷］ダイアログボックスをクリックします。



2

［プリンタ名］に［LBP-2260PS］が表示されていることを確認し［プロパティ］ボタンをクリックします。



LBP-2260PSの［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



プリンタドライバのヘルプについて

プリンタドライバの各設定項目の内容はヘルプで見ることができます。



このマークをクリックし、続けて調べたい項目をクリックすると、各項目の説明が表示されます。

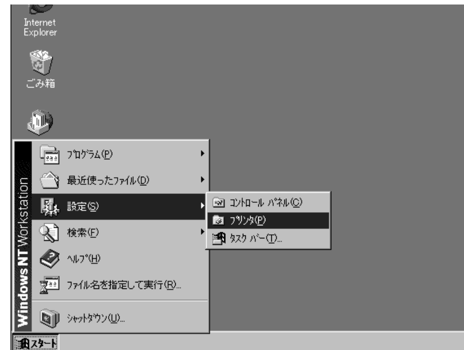
プリンタアイコンからダイアログボックスを開く方法

お使いのプリンタ名のダイアログボックスをアプリケーションソフトから開くことができない場合は、プリンタアイコンを開いてプリンタドライバを設定します。

1

［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

お使いのプリンタ名のアイコンをクリックします。



3

［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］を選択します。

［LBP-2260PS の既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- **手順1のあと、［LBP-2260PS］のアイコンを右クリックし、［ドキュメントの既定値］を選択しても［LBP-2260PS の既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを表示できます。**

プリンタドライバの主な設定項目

※グレーで示されている設定値は工場出荷時の値です。

用紙サイズ

A4　レター　リーガル　11x17　12x18　Executive　A3　B4　B5-R　A5-R　COM10　Monarch　DL　ISO-C5　ISO-B5　洋形4号　角形2号　PostScriptカスタムページサイズ

プリントする用紙のサイズを指定します。


メモ

- **Windows NTのプリンタドライバでは、上記以外の設定項目は使用できません。**

印刷の向き

縦　横　（回転）

封筒を横の向きで印刷する場合には、［横］を選択し、［回転］チェックボックスをオンにしてください。さらに、洋形4号、角形2号を横の向きで印刷する場合には、［洋形封筒印刷］を［オン］にしてください。

給紙方法

自動選択　手差しトレイ　カセット1～カセット4　2000枚ペーパーデッキ

プリントする用紙の給紙元を指定します。


メモ

- **標準装備の手差しトレイ、カセット1～2以外はオプションで、装着されていない場合には表示されません。**

両面印刷

なし　上と下を合わせる　上と上を合わせる

本プリンタにオプションの両面ユニットを装着すると、2ページ分の原稿を用紙の両面にプリントできます。ここでは、用紙のどこを綴じるかを決めます。

[なし]

片面プリントをするときは、［両面］を［なし］にします。

[上と下を合わせる]

用紙の向きが縦長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。

[上と上を合わせる]

用紙の向きが縦長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。

カラーモード

CMYK　グレースケール

グレースケールでプリントしたいときは、[グレースケール] を選択します。グレースケールを選択すると、K(黒) トナーのみが使われるため、より速くプリントできます。

カラーの表現(テキスト)

連続調　連続調(黒強調)　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム　なし

カラーの表現(グラフィックス)

連続調　連続調(黒強調)　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム　なし

カラーの表現(イメージ)

連続調　連続調(黒強調)　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム　なし

テキスト、グラフィックス、イメージのそれぞれについて、プリント時に使用するカラーの表現の調整方法を指定します。

[連続調]

画像の正確な色よりも、画像全体の色調を保つように調整します。元の画像の持つプリント範囲外のカラーも含めて、明度を維持しつつプリント可能なCMYKカラーに変換します。人間の目で認識できる範囲の色調を保つことを優先させるため、色の正確さは多少犠牲になります。[ビジネスグラフィックス] を選択した場合よりも、鮮やかさを再現できません。
写真のように階調表現の複雑な画像やスキャンした画像、市販の画像ライブラリの画像などをプリントするのに適しています。

[連続調(黒強調)]

連続調と基本的には同じですが、CMY の混合色に対して K(黒) トナーをより多く、CMY トナーをより少なく使用した色調になります。グレーの色調を重視したい画像などをプリントするのに適しています。

3

第3章　Windows NT 4.0から印刷するには

［ビジネスグラフィックス］

鮮やかな彩度の高い色を作ります。この設定を選択すると、プリントされるカラーとモニタに表示されるカラーを正確に一致させることはしませんが、鮮やかな彩度の高いカラー表現が得られます。同時に連続階調の写真画像に対しては、［連続調］と同じ処理を行います。
ビジネス文書で使われる図形やグラフ、階調表現の複雑な写真などをプリントするのに適しています。

［OHP フィルム］

OHP フィルムにプリントしたときに、モニタカラーに近い色でプリントできるように調整します。ビジネス文書で使われる図形やグラフなどを OHP フィルムにプリントするのに適しています。

［なし］

調整を行いません。



- **［カラーの表現］は RGB データに適用される項目です。RGB データ（テキスト、グラフィック、イメージ）は、プリントされる前にプリンタで出力可能な CMYK データに変換されます。**

明るさ

85% 非常に明るい　90% より明るい　95% 明るい　100% 標準　105% 暗い
110% より暗い　115% 非常に暗い

印刷される色の明るさを調整します。すべての色に同じように適用されます。

RGB ソース

EFIRGB　sRGB(PC)　Apple 標準　なし

RGB データのプリントに適用される定義ずみ RGB ソース色空間を選択します。

［EFIRGB］

本プリンタで RGB データのプリントに最適の設定です。通常はこの項目を選択してください。オペレーティングシステムに依存しない、一貫したカラー出力ができます。

［sRGB(PC)］

Windows対応モニタ用のソース色空間を指定します。Windows対応モニタを使用して作成された RGB データをプリントするときに使います。

［Apple 標準］

Mac OS 対応モニタ用のソース色空間を指定します。Mac OS 対応モニタを使用して作成された RGB データをプリントするときに使います。

［なし］

他のカラー管理システムで指定したデバイスプロファイルが存在する場合、ここでの設定によって上書きされます。他の設定でカラー管理システム用のプロファイルを使用している場合には［なし］を指定します。

CMYKシミュレーション

DIC　Euroscale　SWOP-Coated　なし

シミュレーションは、よく使われるオフセット印刷の標準インキセットの色の範囲を近似的に再現するための機能です。SWOP-Coatedは米国、Euroscaleはヨーロッパ、DICは日本のオフセット印刷用の色を再現します。

メディア

普通紙　OHPフィルム　厚紙1（105g/m^2）　厚紙2（〜135g/m^2）　光沢フィルム

プリントに使用する用紙のタイプを指定します。


お願い

- **ラベル紙にプリントする場合は、［厚紙2（〜135g/m^2）］を指定してください。**


メモ

- **用紙タイプの設定で［OHPフィルム］を指定した場合、［カラーの表現］も必ず［OHPフィルム］に設定してください。［カラーの表現］の設定値は、用紙タイプの設定を変えても自動的には切り替わりません。**

ソート

オフ　オン

複数部数のプリント時、［ソート］を選択すると、1部ずつ1ページから最終ページまでページが順番にそろうようにプリントします。［ソート］を選択しないと、各ページを部数分ずつプリントします。



- **プリンタドライバでソートを指定してプリントするときは、アプリケーションソフトのソートの指定をオフにしてください。**
- **オプションのソータが装着されている場合に、1部ずつページをそろえて、別々のソータビンに排紙するには、プリンタドライバとプリンタ機能の設定が必要です。**

プリンタドライバ	**排紙先を［ソータビン］に設定** **ソートを［オン］に設定**
プリンタ機能	**プリンタ設定メニューで［ソータモード］を［ジョブセパレート］に設定**

確認印刷

オフ　**オン**

複数部数のジョブのプリントを行うときに、あらかじめ1部だけプリントして印字結果を確認した上で指定した部数をプリントすることができます。この項目をオンしてプリントを実行した後、プリンタの操作パネルまたはWebSpoolerを使って、指定した部数をプリントします。その際、部数を変更することもできます。



- **本プリンタの操作パネルのディスプレイでは、漢字やかななどの全角文字（2バイト文字）を表示できません。**
  「確認印刷」のファイル名やユーザ名を2バイト文字で指定している場合は、操作パネルに正しく表示されません。操作パネル上でも正しく表示させるためには「確認印刷」のファイル名やユーザ名を半角文字で指定することをおすすめします。

洋形封筒印刷

オフ　**オン**

洋形4号、角形2号の封筒を横向きに印刷するときは、［印刷の向き］で［回転］を選択して、［洋形封筒印刷］を［オン］にします。



- **洋形4号、角形2号の封筒のプリントが終わったら、必ず［オフ］に戻してください。**

排紙先

排紙トレイ　サブ排紙トレイ　ソータビン
ビン 1～ビン 7

排紙先のトレイまたはビンを指定します。

[排紙トレイ]

プリンタ上部の排紙トレイにプリント面を下向きにして排紙します。プリントされたページは、最終ページが一番上になります。

[サブ排紙トレイ]

サブ排紙トレイにプリント面を上向きにして排紙します。プリントされたページは、開始ページが一番下になります。

[ソータビン] または [ビン 1] ～ [ビン 7]

[ソータビン] または [ビン 1] ～ [ビン 7] に排紙します。
[ソータビン] または [ビン1] ～ [ビン7] にプリント面を下向きに排紙され、最終ページが一番上になります。

第 4 章

Windows 2000 から印刷するには

印刷するときに必要な作業

ユーザーズガイドにしたがってプリンタの設置やネットワークプ接続、ネットワーク情報の設定が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールと設定作業を行う必要があります。
アプリケーションソフトから印刷するために必要な作業は次のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業 P.118, 122, 143

プリンタドライバとプリンタ記述ファイルをインストールする

プリンタドライバとプリンタ記述ファイルは、Windowsアプリケーションソフトから印刷するときに必ず必要なソフトウェアです。本プリンタに同梱の User Software CD-ROM からコンピュータにインストールして使用できるようにします。

印刷に必要なプリンタの設定をする

ネットワーク環境の違いによって必要なプリンタの設定、プリンタのオプションを使うための設定などを行います。

印刷に必要なソフトウェアの準備をする

フォントやカラー印刷のためのファイルなどを準備します。

印刷のたびに行う作業 P.144

印刷設定をする

プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数、印刷の品質などを設定します。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。
印刷設定は、プリンタドライバから行います。

印刷する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

必要なシステム環境

Windows2000用プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア： Microsoft Windows 2000 日本語版
コンピュータ： Microsoft Windows 2000 日本語版が動作するコンピュータ


お願い

- **プリンタドライバをインストールするにはCD-ROMドライブが必要です。**
- **Microsoft Windows 2000 英語版ではお使いになれません。**

プリンタドライバをインストールする

Windows 2000用のプリンタドライバとプリンタ記述ファイルのインストールをします。Windows 2000 の場合は、Windows 2000 に付属の PostScript ドライバを使用します。

プラグ＆プレイによる自動セットアップ

Windows 2000 には、コンピュータに新しく接続されたハードウェアを検出し、自動的にドライバをインストールするプラグ＆プレイ機能があります。本プリンタをWindows 2000 コンピュータのパラレルポートに直接接続した場合は、このプラグ＆プレイ機能を使ってプリンタドライバをインストールすることもできます。

・本プリンタを接続後、初めてWindows 2000を起動したときに、新しいハードウェアが検出されたことを知らせるメッセージが表示され、新しいハードウェア検出ウィザードが表示されます。
・ドライバを検索する場所の指定（または配布ファイルのコピー元）には次のディレクトリを指定してください。
\Prntdrvr\Win2000


お願い

● **User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によってインストール画面が自動的に表示された後、「[プリンタの追加] でプリンタドライバをインストールしてください。」とメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックし、「インストール手順」の手順 1 から操作を行ってください。**

インストール手順

1

コンピュータと本機を正しく接続し、本機の電源が入っていることとオンラインランプが点灯していることを確認します。

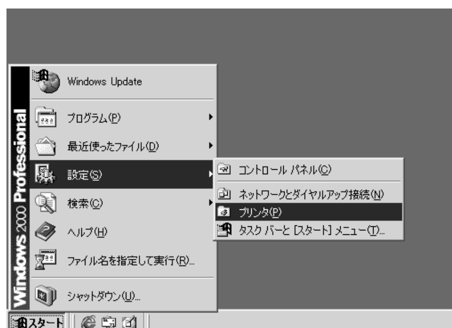

お願い

● **本機の電源が入っていないときやオフラインのときにインストールすると正常にインストールできないことがあります。**

2

［スタート］メニューから［設定］−［プリンタ］をクリックします。

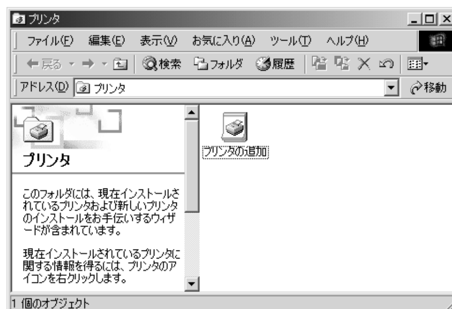
［プリンタ］ウィンドウが表示されます。



3

［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

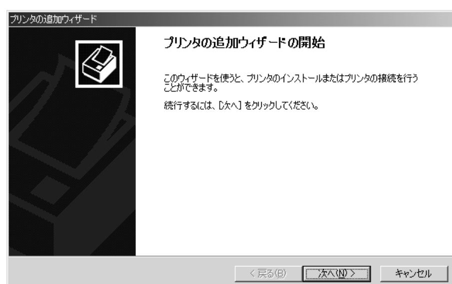
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



4

［次へ］ボタンをクリックします。

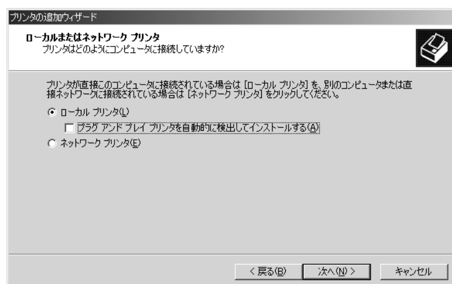
インストールの確認画面が表示されます。



5

［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

ポートの選択画面が表示されます。



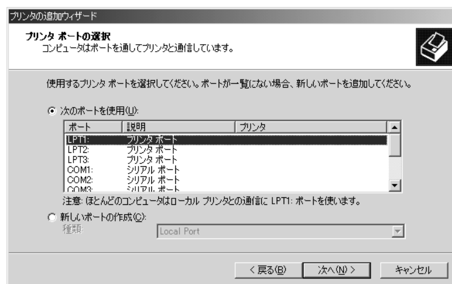


- **［プラグアンドプレイ　プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックマークは外してください。**

6

[LPT1:] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

製造元とモデルを選択する画面が表示されます。



7

CD-ROM ドライブに User Software CD-ROM を挿入し、[ディスク使用] ボタンをクリックします。

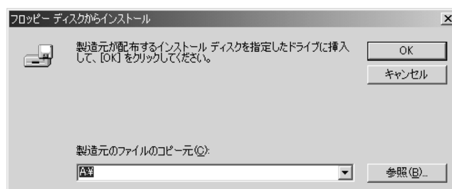
[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。



8

[参照] ボタンをクリックします。

[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。



9

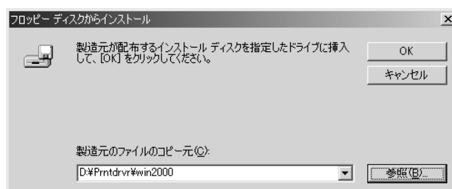
[Prntdrvr] フォルダ内の [Win2000] フォルダを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスに選択したフォルダ名が表示されます。



10

フォルダ名を確認して [OK] ボタンをクリックします。



11

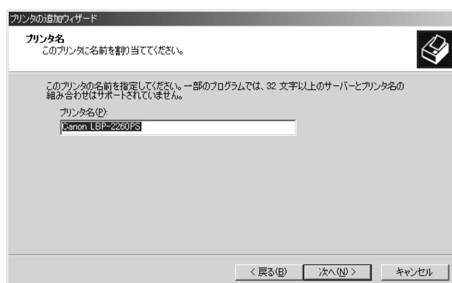
［Canon LBP-2260PS］が表示されていることを確認して［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタに名前を割り当てる画面が表示され［プリンタ名］に「Canon LBP-2260PS」が表示されます。



12

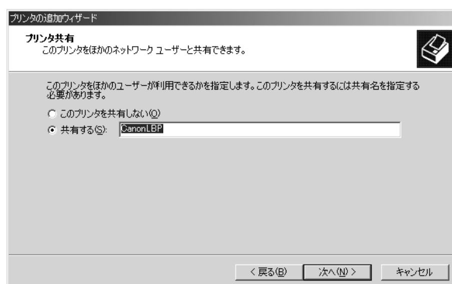
必要に応じてプリンタ名を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。



13

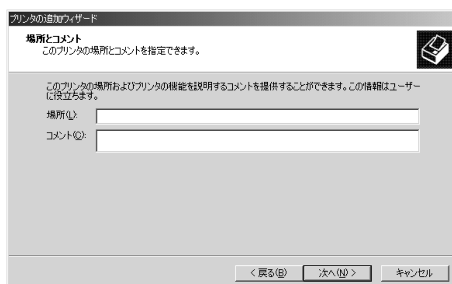
プリンタを共有する場合は［共有する］を選択し、プリンタの共有名を入力して［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタを共有しない場合は［プリンタを共有しない］を選択してください。



14

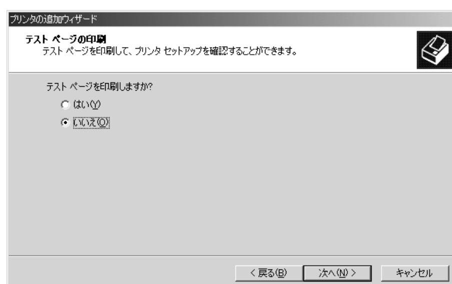
必要に応じてプリンタの設置場所とコメントを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。



15

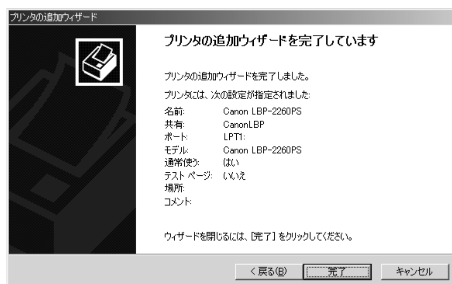
［いいえ］ボタンをクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタの追加ウィザードが終了し、確認の画面が表示されます。

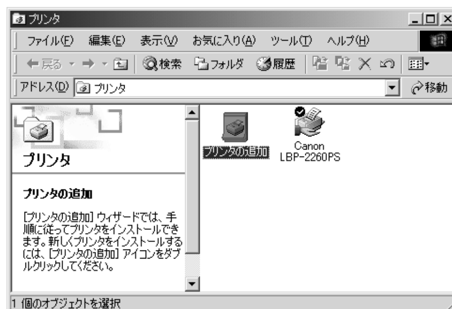


16

表示された内容を確認し、[完了]ボタンをクリックします。



インストールが完了すると、[プリンタ]フォルダに[Canon LBP-2260PS]のアイコンが表示されます。



印刷に必要な設定作業

プリンタドライバのインストールが完了したら、プリンタを使うために必要な設定作業を行います。


お願い

● ローカルシステムにプリンタを追加するには、ネットワークサーバドメインではなく、ローカルの Windows 2000 にログインする必要があります。また、この操作は、ネットワーク管理者でないとできません。

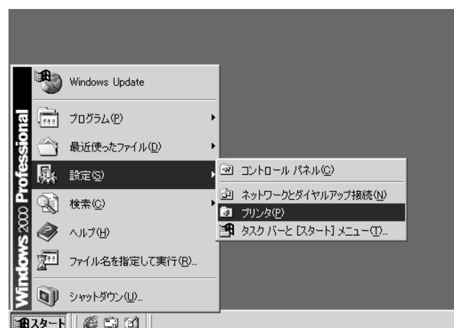
プリンタのオプション設定

プリンタにソータや両面ユニットなどのオプション製品が装着されている場合、オプション製品を使えるように設定作業を行います。

1

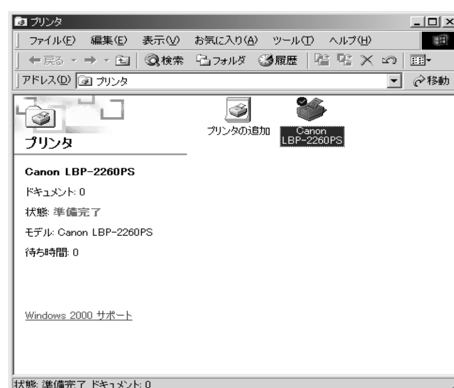
［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PS のアイコンをクリックします。



3

［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

［Canon LBP-2260PSのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



4

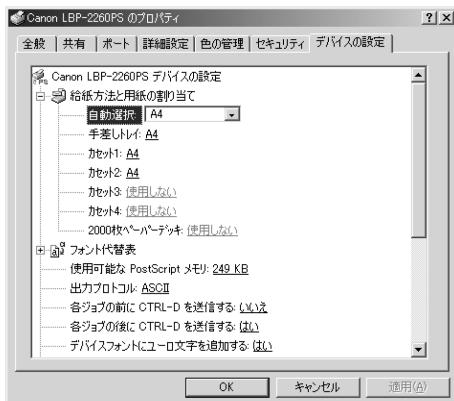
［デバイスの設定］シートを表示します。



5

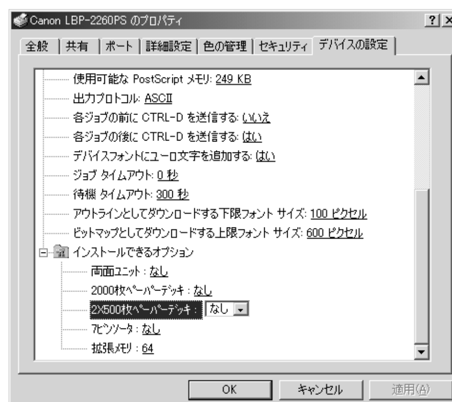
［インストールできるオプション］が表示されるまで、スクロールします。

本プリンタのオプションの一覧が表示されます。



6

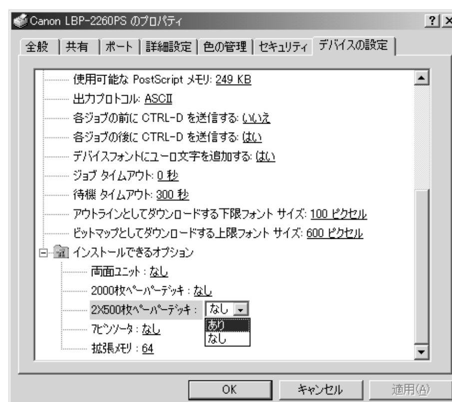
［インストールできるオプション］から、現在プリンタに装着されているオプションを選択します。



7

［あり］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

オプションの設定が変更されます。



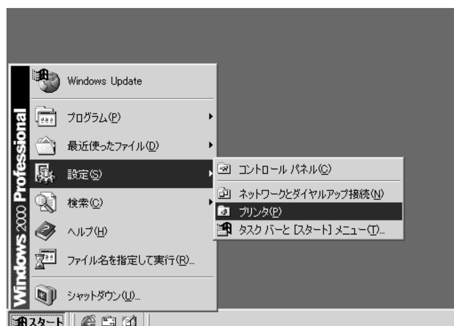
パラレルポート接続でプリントする準備

パラレルポートの設定を確認した後、実際にプリンタが正常に動作するかどうかをテストページをプリントして確認します。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

LBP-2260PSのアイコンをクリックし、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

［Canon LBP-2260PSのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



3

［ポート］シートを表示し、［印刷するポート］に表示されている名称を確認します。

［LPT1：（プリンタポート）］になっていることを確認します。



5

[全般] シートを表示し、[テストページの印刷] ボタンをクリックします。

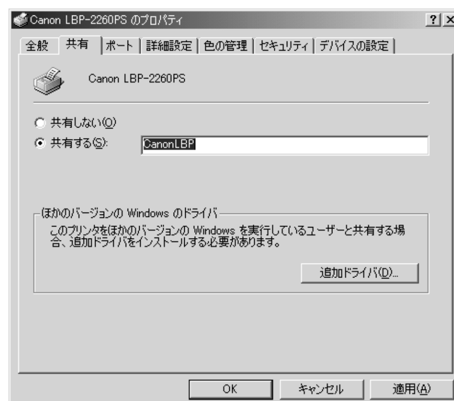
テストページのプリントが開始されます。終了すると、印字結果の確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



6

他のユーザとプリンタを共有する場合は、[共有] シートを表示し、[共有する] を選択して共有名を入力します。

プリンタドライバのインストール時にプリンタの名前を変えていなければ、共有名は [CanonLBP] になっています。



7

[OK] ボタンをクリックします。


メモ

- **他のユーザがこの共有プリンタに接続したときに、自動的にプリンタドライバのダウンロードができるようにしたいときは、[追加ドライバ] 欄でお使いのオペレーティングシステムを選択します。プリンタ共有の設定の詳細については、Windows 2000 のマニュアルをご覧ください。**

Windows ネットワークでのプリンタ設定

Windowsネットワーク環境でWindows 2000をお使いの場合、本プリンタでプリントを行うには、次のような設定が必要です。



- **Windows ネットワーク環境でプリント（TCP/IP 接続での SMB 印刷）を行うには、本プリンタでのネットワークプロトコル（TCP/IP）とネットワークサービス（SMB）の設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第2章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」「Windows ネットワークのための設定項目」**
- **TCP/IP 接続で SMB 印刷を行う場合は「Microsoft ネットワーククライアント」と「TCP/IP プロトコル」がインストールされている必要があります。**

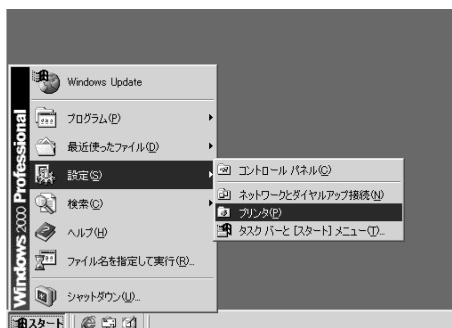
ネットワークプリンタの設定

お使いのコンピュータからネットワーク上の他のコンピュータに接続されているプリンタを使用するには、次のようなネットワークプリンタの設定が必要です。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

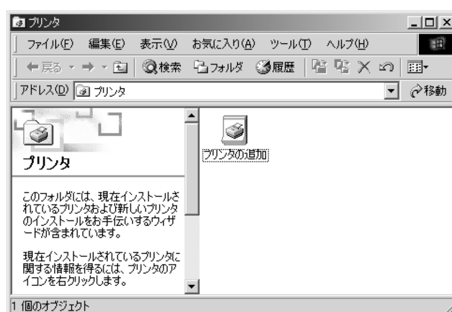
［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

［プリンタの追加］をダブルクリックします。

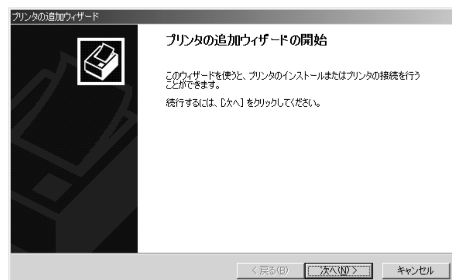
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



3

［次へ］ボタンをクリックします。

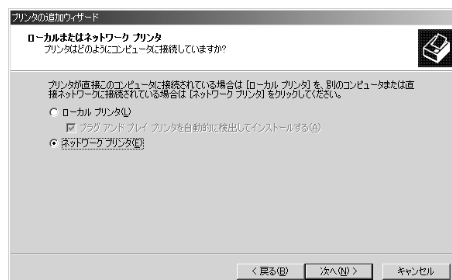
［ローカルプリンタ］または［ネットワークプリンタ］を選択する画面が表示されます。



4

［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

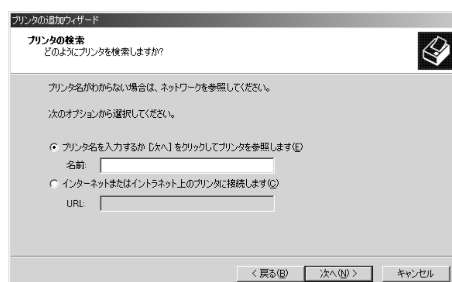
プリンタの検索画面が表示され、プリンタの検索方法を指定するようメッセージが表示されます。



5

［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタの参照画面が表示されます。



6

本プリンタの印刷キューを選択して［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタドライバのインストールを促すメッセージが表示されます。



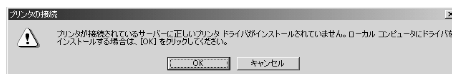


- キュー名称には次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。
  - print（印刷キュー）：受信したジョブは、いったん本プリンタのハードディスクにスプールされ、受信順にRIP処理と印刷処理が行われます。
  - hold（待機キュー）：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクにスプールされます。WebTools等でプリントを実行するまでは、RIP処理と印刷処理が行われません。
  - direct（直接接続）：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクのスプールを介さずにRIP処理と印刷処理が行われます。
- LBP-2260PS\direct は、Adobe Downloaderや Canon Font Downloader を使うときに指定してください。
- 工場出荷時の設定では、LBP-2260PS\print、LBP-2260PS\direct、LBP-2260PS\hold と表示されますが、操作パネル上で名称を変えることができます。

7

［OK］ボタンをクリックします。

製造元とモデルを選択するようメッセージが表示されます。



8

CD-ROM ドライブに User Software CD-ROM を挿入し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

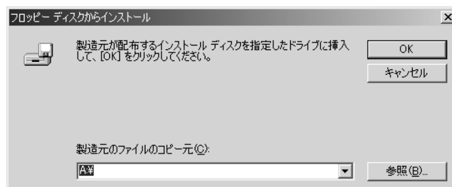
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。



9

［参照］ボタンをクリックします。

［ファイルの場所］ダイアログボックスが表示されます。



10

［Prntdrvr］フォルダ内の［Win2000］を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

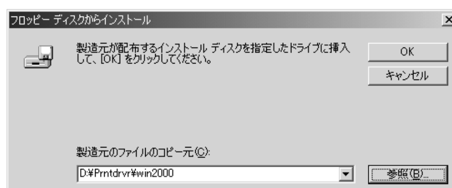
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスに選択したフォルダ名が表示されます。



11

フォルダ名を確認して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］に「Canon LBP-2260PS」が表示されます。



12

プリンタ名を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

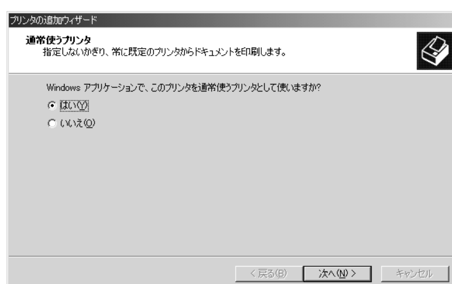
「通常使うプリンタ」にするかどうかをたずねるメッセージが表示されます。



13

［次へ］をクリックします。

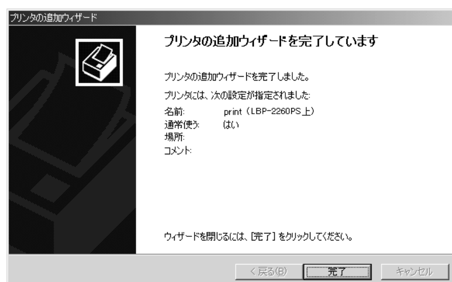
プリンタ追加ウィザードが終了し、確認画面が表示されます。



14

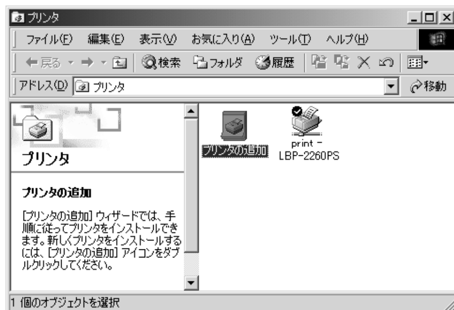
表示された内容を確認し、［完了］ボタンをクリックします。

必要なファイルのコピーが開始されます。



15

インストールが完了すると、[プリンタ] フォルダに [Canon LBP-2260PS] のアイコンが表示されます。



NetWare®ネットワークでのプリンタの設定

NetWareネットワーク環境でWindows2000をお使いの場合、本プリンタでプリントを行うには、次のような設定が必要です。



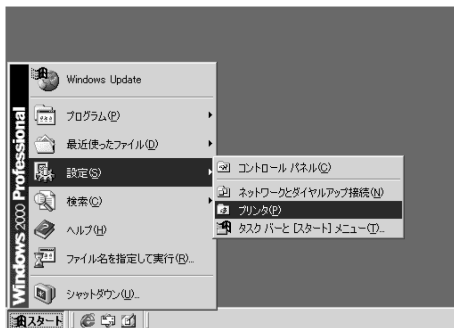
- **NetWareネットワークでのプリントを行うには、本プリンタでのNetWareのネットワークプロトコルとネットワークサービスの設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第2章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」「NetWareネットワークのための設定項目」**
- **NetWareネットワークで印刷する場合は、IPXプロトコルとNetWareクライアントをインストールする必要があります。**

ネットワークプリンタの設定

1

[スタート] メニューから [設定] − [プリンタ] をクリックします。

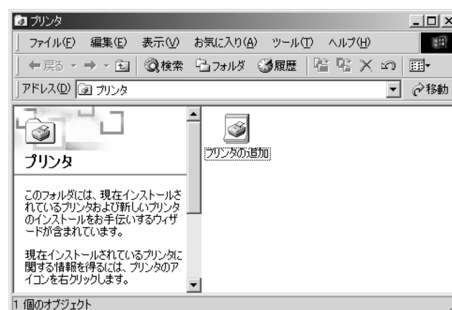
[プリンタ] フォルダが表示されます。



2

［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

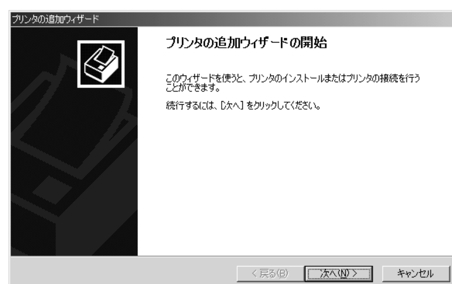
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



3

［次へ］ボタンをクリックします。

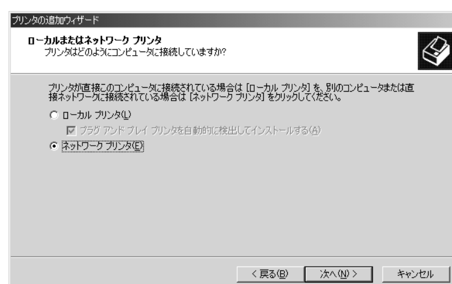
［ローカルプリンタ］または［ネットワークプリンタ］を選択する画面が表示されます。



4

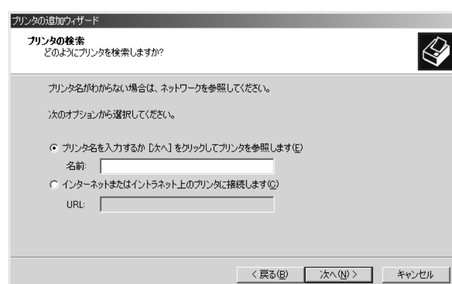
［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタの検索画面が表示されます。



5

［次へ］ボタンをクリックします。



6

接続されたプリンタを選択して［次へ］ボタンをクリックします。

［プリンタの接続］ダイアログボックスが表示されます。



7

［OK］ボタンをクリックします。

製造元とモデルを選択するようメッセージが表示されます。



8

CD-ROM ドライブに User Software CD-ROM を挿入し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

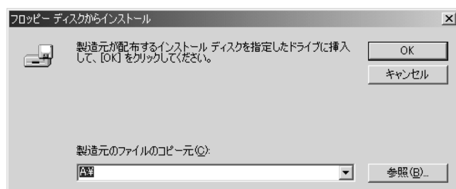
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。



9

［参照］ボタンをクリックします。

［ファイルの場所］ダイアログボックスが表示されます。



10

［Prntdrvr］フォルダ内の［Win2000］を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

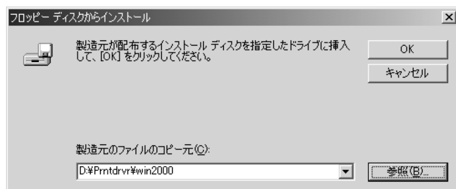
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスに選択したフォルダ名が表示されます。



11

フォルダ名を確認して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］に「Canon LBP-2260PS」が表示されます。



12

プリンタ名を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

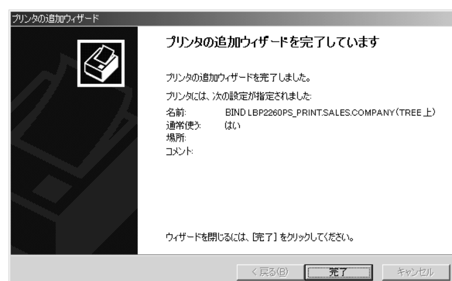
プリンタ追加ウィザードが終了し、確認画面が表示されます。



13

表示された内容を確認し、[完了] ボタンをクリックします。

必要なファイルのコピーが開始されます。



インストールが完了すると、[プリンタ] フォルダに [Canon LBP-2260PS] のアイコンが表示されます。



TCP/IP 印刷(LPD)のための設定

TCP/IP接続されたWindowsネットワーク上のコンピュータからLPDプロトコルを使って本プリンタでプリントするためのポートの設定を行います。

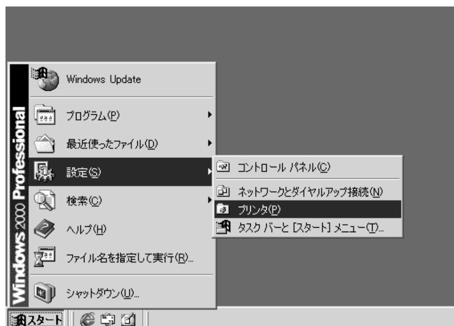


- **TCP/IP印刷を行うには、本プリンタでのネットワークプロトコルの設定が必要です。→プリンタ機能マニュアル　第3章「ネットワークプロトコルメニューの設定項目」**
- **この操作には、本プリンタに設定されているIPアドレスなどが必要です。はじめる前に、ネットワーク管理者におたずねください。**
- **お使いのWindows2000で「インターネットプロトコル（TCP/IP)」が使用可能になっている必要があります。設定については、Windows 2000のマニュアルをご覧ください。**

1

[スタート] メニューから [設定] ー [プリンタ] をクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。



2

[プリンタ追加] アイコンをダブルクリックします。

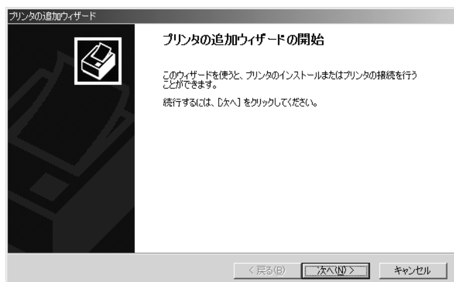
［プリンタ追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



3

[次へ] ボタンをクリックします。

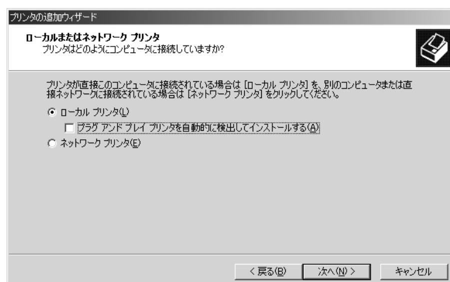
ポートを選択するようメッセージが表示されます。



4

［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

ポートの選択画面が表示されます。

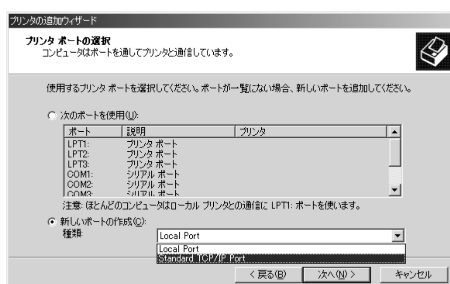




● ［プラグアンドプレイ　プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックマークは外してください。

5

［新しいポートの作成］をクリックし、リストボックスから［Standard TCP/IP Port］を選択します。



6

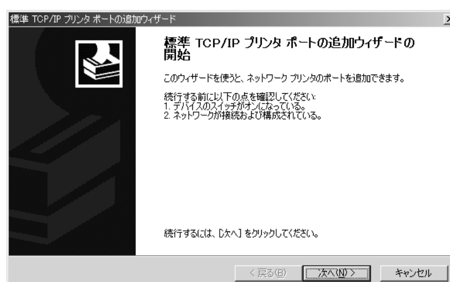
［次へ］ボタンをクリックします。

標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが開始されます。

7

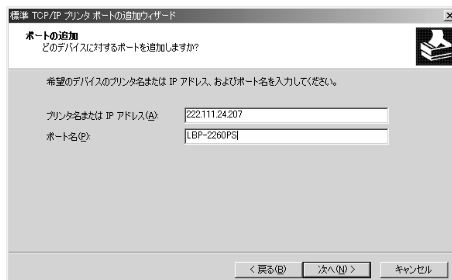
［次へ］ボタンをクリックします。

ポートの追加画面が表示されます。



8

［プリンタ名またはIPアドレス］の欄に本プリンタのIPアドレスを入力し、［ポート名］の欄に追加するプリンタポートの名前を入力します。



お使いのネットワークがネームサーバを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本プリンタのホスト名を入力します。

［ポート名］には、入力したホスト名またはIPアドレスが自動的に挿入されます。必要に応じてポート名を変更してください。

9

［次へ］ボタンをクリックします。

入力したIPアドレス、またはホスト名がチェックされ、正しくなかった場合はメッセージが表示されます。

本プリンタが確認されると、標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードが終了し、確認の画面が表示されます。

10

［完了］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］に戻り、製造元とモデルを選択画面が表示されます。



11

CD-ROMドライブにUser Software CD-ROMを挿入し、［ディスク使用］ボタンをクリックします。

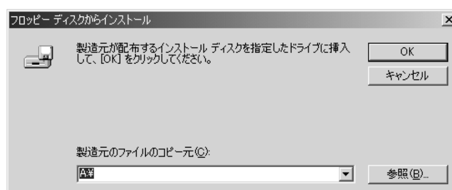
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。



12

CD-ROMドライブのドライブ名を入力し、[参照] ボタンをクリックします。

[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。



13

[Prntdrvr] フォルダ内の [Win2000] フォルダを選択して [開く] ボタンをクリックします。

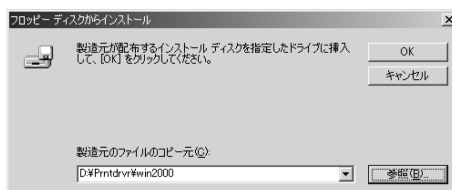
[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスに選択したフォルダ名が表示されます。



14

フォルダ名を確認して [OK] ボタンをクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスに [Canon LBP-2260PS] が表示されます。



15

[Canon LBP-2260PS] が表示されていることを確認して [次へ] ボタンをクリックします。

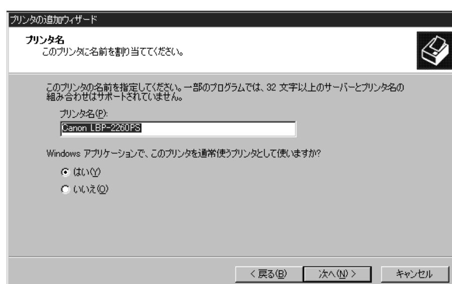
プリンタに名前を割り当てる画面が表示され [プリンタ名] に「Canon LBP-2260PS」が表示されます。



16

プリンタ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

プリンタの共有画面が表示されます。



17

プリンタを共有する場合は［共有する］を選択し、プリンタの共有名を入力して［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタを共有しない場合は［プリンタを共有しない］を選択してください。

18

必要に応じてプリンタの設置場所とコメントを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

20

［いいえ］ボタンをクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタの追加ウィザードが終了し、確認の画面が表示されます。

21

表示された内容を確認し、［完了］ボタンをクリックします。

CD-ROMから必要なファイルのコピーが開始されます。

インストールが完了すると、［プリンタ］フォルダに［Canon LBP-2260PS］のアイコンが表示されます。

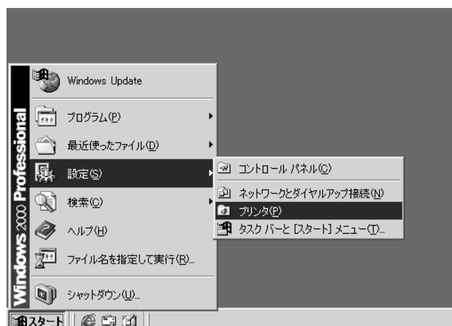
キューの変更

TCP/IP ポートを追加すると、ポートのキュー名に本プリンタの印刷キューが設定されます。他のキューを使用したい場合は、インストールしたプリンタの［プロパティ］ダイアログボックスで設定を変更します。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。



2

［Canon LBP-2260PS］のアイコンをクリックします。



3

［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

［Canon LBP-2260PSのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



4

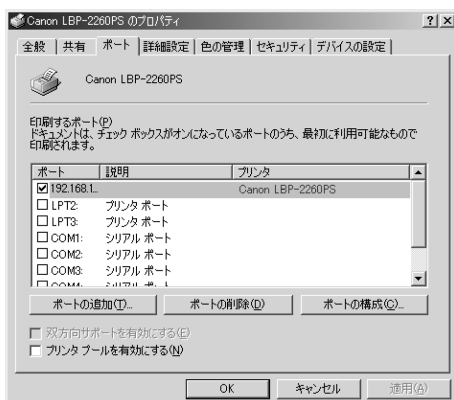
［ポート］タブをクリックします。



5

追加したTCP/IPポートを選択し、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

［標準TCP/IPポートモニタの構成］ダイアログボックスが表示されます。

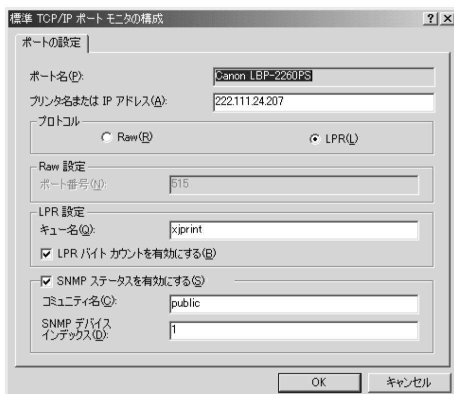


6

［LPR設定］の［キュー名］に使用したい本プリンタのキュー名を入力し、［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして［OK］ボタンをクリックします。

xjdirect（直接接続）
xjhold（待機キュー）
xjprint（印刷キュー）

［Canon LBP-2260PSのプロパティ］ダイアログボックスに戻ります。





- この3つの名称（xjdirect、xjhold、xjprint）はプリンタのキューを示しています。必ずこの名前で、かつ半角小文字でなくてはなりません。間違えないように入力してください。
- キューには次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。

  xjprint（印刷キュー）：受信したジョブは、いったん本プリンタのハードディスクにスプールされ、受信順にRIP処理と印刷処理が行われます。

  xjhold（待機キュー）：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクにスプールされます。Fiery WebTools 等でプリントを実行するまでは、RIP処理と印刷処理が行われません。

  xjdirect（直接接続）：受信したジョブは、本プリンタのハードディスクのスプールを介さずにRIP処理と印刷処理が行われます。
- Adobe Downloader や Canon Font Downloader を使うときには、必ずxjdirect を指定してください。
- TCP/IPポートの［プロトコル］の設定は、必ず［LPR］を選択してください。
- ［LPR 設定］の［LPR バイトカウントを有効にする］は、必ずチェックしてください。

7

［閉じる］ボタンをクリックします。

印刷に必要なソフトウェアの準備

欧文フォントのインストール

アプリケーションソフトでプリンタ内蔵のPostScriptフォントを使い、正しく画面上に表示するためには、プリンタ内蔵のフォントに対応するTypy1フォントまたはTrueTypeフォントをコンピュータにインストールする必要があります。同梱のUser Software CD-ROMには、プリンタ内蔵の欧文PostScript3フォントに対応した欧文PostScript Type1フォントとTrueTypeフォントが収められています。

欧文フォント

\PS3fonts\truetype\True Type フォント
\PS3fonts\type1\Type1 フォント

フォントはWindowsの［コントロールパネル］から［フォント］フォルダを開き、［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］を選択してインストールします。詳しい操作については、Windows2000のマニュアルをご覧ください。

色見本情報

Windows 2000用プリンタドライバのインストールでは、本プリンタの色見本情報はコピーされません。実際に本機で出力可能なカラーを確認するためには、User Software CD-ROMから色見本情報ファイルをコピーしてください。



- **色見本情報は、User Software CD-ROMの次のフォルダにあります。**
  \Colorref\Cmyk_ref.ps（CMYK色見本情報）
  \Colorref\Pantone.ps（PANTONE色見本情報）
- **色見本情報は、ダウンロード可能なPostScriptファイルです。WebDownloaderを使うと、アプリケーションソフトを使わずにPostScriptファイルをプリントできます。→第6章「WebDownloaderを使う」（P.182）**

CMYK色見本情報　11ページ A4/レター

本プリンタでプリントできるカラー範囲がCMYKカラーパッチでプリントできます。この色見本情報を使うと、プリントしたいカラーのCMYKのパーセント値で簡単に指定できます。

PANTONE色見本情報　19ページ A4/レター

本プリンタのCMYKカラーで表現されたPANTONEカラーをプリントできます。この色見本情報を使うと、PANTONEカラーライブラリで選択したカラーが実際にどのような色にプリントされるか予測できます。

プリンタ機能の設定と印刷のしかた

アプリケーションソフトから印刷する

プリンタドライバのインストール、その他印刷に必要な準備作業ができたら、さっそく原稿を印刷してみましょう。ここでは「Microsoft Word 2000 日本語版」を例に印刷の手順を説明します。


メモ

- **印刷の手順は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの説明書をお読みください。**

1

Microsoft Word 2000を起動し、プリントしたい文書を開きます。

［文書］ウィンドウに文書が表示されます。

2

［ファイル］メニューの［印刷 ...］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。



3

［プリンタ名］ボックスに［Canon LBP-2260PS］が表示されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

正しいプリンタ名が表示されていない場合は、一覧から Canon LBP-2260PS］を選択してください。
［Canon LBP-2260PSのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。




メモ

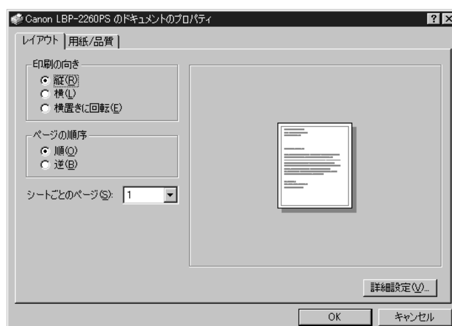
- **［Canon LBP-2260PSのプロパティ］のダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。**

4

［レイアウト］タブ、［用紙／品質］タブを切り替え、プリントの条件を設定します。
または［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。





5

スクロールして設定したい項目を選択し、項目の右に表示されたリストボックスで設定値を選択します。



6

設定を変更し、［OK］ボタンをクリックします。

［Canon LBP-2260PS のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスに戻ります。

7

［OK］ボタンをクリックします。

［Canon LBP-2260PSのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが閉じ、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

8

［OK］ボタンをクリックすると印刷が始まります。

プリンタドライバの画面を表示する

プリンタドライバで印刷の設定をするためにはプリンタドライバのダイアログボックスを開き、印刷条件を選択します。
ダイアログボックスを開くにはアプリケーションソフトから開く［Canon LBP-2260PSのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスと、プリンタアイコンから開く［Canon LBP-2260PS 印刷設定］ダイアログボックスの 2 種類があります。
アプリケーションソフトから開いた場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションで作成中の文書にのみ適用されます。また、プリンタアイコンから開いた場合では、そのコンピュータからプリントする全ての文書のデフォルトの設定となります。

アプリケーションソフトからダイアログボックスを開く方法

アプリケーションソフトから［Canon LBP-2260PSのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なりますので、詳しくはアプリケーションソフトの説明書を参照してください。ここでは、Microsoft Word 2000 の場合を例に説明します。

1

Microsoft Word 2000の［ファイル］メニューから［印刷...］をクリックし［印刷］ダイアログボックスを開きます。



2

［Canon LBP-2260PS］が選択されていることを確認し［プロパティ］ボタンをクリックします。

［Canon LBP-2260PSのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



プリンタドライバのヘルプについて
プリンタドライバの各設定項目の内容はヘルプで見ることができます。



このマークをクリックし、続けて調べたい項目をクリックすると、各項目の説明が表示されます。

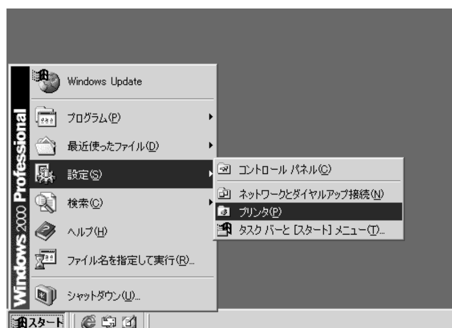
プリンタアイコンからダイアログボックスを開く方法

［Canon LBP-2260PS のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開くことができない場合は、プリンタアイコンから［Canon LBP-2260PS 印刷設定］ダイアログボックスを開いてプリンタドライバを設定します。

1

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。



2

［Canon LBP-2260PS］のアイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

［Canon LBP-2260PS印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

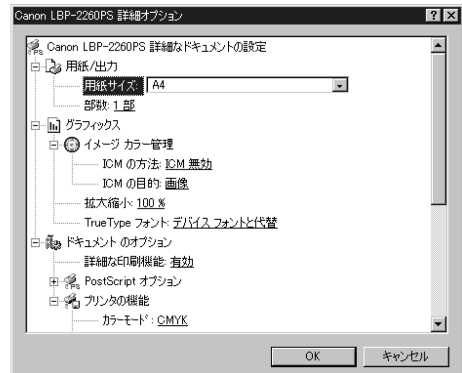


3

［詳細設定］ボタンをクリックします。



［詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。




メモ

- **手順1のあと、［Canon LBP-2260PS］のアイコンを右クリックし、［印刷設定］を選択しても［Canon LBP-2260PS 印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。**

プリンタドライバの主な設定項目

※ グレーで示されている設定値は、工場出荷時の値です。

用紙サイズ　　**<詳細オプション>**

A4　レター　リーガル　11x17　12x18　エグゼクティブ　A3　B4　B5-R　A5-R　Com-10　Monarch　DL　C5　ISOB5　洋形4号　角形2号　PostScript カスタムページサイズ

プリントする用紙のサイズを指定します。

印刷の向き　　**<レイアウト>**

縦　横　横置きに回転

封筒を横の向きで印刷する場合には、［横置きに回転］を選択してください。さらに、洋形4号、角形2号を横の向きで印刷する場合には、［詳細設定］ボタンをクリックし、［洋形封筒印刷］を［オン］にしてください。

給紙方法　　**<用紙／品質>**

自動選択　手差しトレイ　カセット1～カセット4　2000枚ペーパーデッキ

プリントする用紙の給紙元を指定します。


メモ

- **標準装備の手差しトレイ、カセット1～2以外はオプションで、装着されていない場合には表示されません。**

メディア　　**<用紙／品質>**

普通紙　OHPフィルム　厚紙1（105g/m²）　厚紙2（～135g/m²）　光沢フィルム

プリントに使用する用紙のタイプを指定します。


お願い

- **ラベル紙にプリントする場合は、［厚紙2（～135g/m²）］を指定してください。**


メモ

- **用紙タイプの設定で［OHPフィルム］を指定した場合、［カラーの表現］も必ず［OHPフィルム］に設定してください。［カラーの表現］の設定値は、用紙タイプの設定を変えても自動的には切り替わりません。**

カラーモード **<詳細オプション>**

CMYK　グレースケール

グレースケールでプリントしたいときは、［グレースケール］を選択します。グレースケールを選択すると、K（黒）トナーのみが使われるため、より速くプリントできます。

カラーの表現（テキスト） **<詳細オプション>**

連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム　なし

カラーの表現（グラフィックス） **<詳細オプション>**

連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム　なし

カラーの表現（イメージ） **<詳細オプション>**

連続調　連続調（黒強調）　ビジネスグラフィックス　OHP フィルム　なし

テキスト、グラフィックス、イメージのそれぞれについて、プリント時に使用するカラーの表現の調整方法を指定します。

［連続調］

画像の正確な色よりも、画像全体の色調を保つように調整します。元の画像の持つプリント範囲外のカラーも含めて、明度を維持しつつプリント可能なCMYKカラーに変換します。人間の目で認識できる範囲の色調を保つことを優先させるため、色の正確さは多少犠牲になります。［ビジネスグラフィックス］を選択した場合よりも、鮮やかさを再現できません。
写真のように階調表現の複雑な画像やスキャンした画像、市販の画像ライブラリの画像などをプリントするのに適しています。

［連続調（黒強調）］

連続調と基本的には同じですが、CMY の混合色に対して K（黒）トナーをより多く、CMY トナーをより少なく使用した色調になります。グレーの色調を重視したい画像などをプリントするのに適しています。

［ビジネスグラフィックス］

鮮やかな彩度の高い色を作ります。この設定を選択すると、プリントされるカラーとモニタに表示されるカラーを正確に一致させることはしませんが、鮮やかな彩度の高いカラー表現が得られます。同時に連続階調の写真画像に対しては、［連続調］と同じ処理を行います。
ビジネス文書で使われる図形やグラフ、階調表現の複雑な写真などをプリントするのに適しています。

[OHP フィルム]

OHP フィルムにプリントしたときに、モニタカラーに近い色でプリントできるように調整します。ビジネス文書で使われる図形やグラフなどをOHP フィルムにプリントするのに適しています。

[なし]

調整を行いません。


メモ

- **[カラーの表現]はRGBデータに適用される項目です。RGBデータ(テキスト、グラフィック、イメージ)は、プリントされる前にプリンタで出力可能なCMYKデータに変換されます。**

明るさ　<詳細オプション>

85% 非常に明るい　90% より明るい　95% 明るい　100% 標準　105% 暗い　110% より暗い　115% 非常に暗い

印刷される色の明るさを調整します。すべての色に同じように適用されます。

RGB ソース　<詳細オプション>

EFIRGB　sRGB(PC)　Apple 標準　なし

RGB データのプリントに適用される定義ずみ RGB ソース色空間を選択します。

[EFIRGB]

本プリンタでRGBデータのプリントに最適の設定です。通常はこの項目を選択してください。オペレーティングシステムに依存しない、一貫したカラー出力ができます。

[sRGB(PC)]

Windows対応モニタ用のソース色空間を指定します。Windows対応モニタを使用して作成されたRGBデータをプリントするときに使います。

[Apple 標準]

Mac OS 対応モニタ用のソース色空間を指定します。Mac OS 対応モニタを使用して作成されたRGBデータをプリントするときに使います。

[なし]

他のカラー管理システムで指定したデバイスプロファイルが存在する場合、ここでの設定によって上書きされます。他の設定でカラー管理システム用のプロファイルを使用している場合には[なし]を指定します。

CMYKシミュレーション　<詳細オプション>

DIC　**Euroscale**　**SWOP-Coated**　**なし**

シミュレーションは、よく使われるオフセット印刷の標準インキセットの色の範囲を近似的に再現するための機能です。SWOP-Coatedは米国、Euroscaleはヨーロッパ、DICは日本のオフセット印刷用の色を再現します。

ソート　<詳細オプション>

オフ　**オン**

複数部数のプリント時、［ソート］を選択すると、1部ずつ1ページから最終ページまでページが順番にそろうようにプリントします。［ソート］を選択しないと、各ページを部数分ずつプリントします。


メモ

- **プリンタドライバでソートを指定してプリントするときは、アプリケーションソフトのソートの指定をオフにしてください。**
- **オプションのソータが装着されている場合に、1部ずつページをそろえて、別々のソータビンに排紙するには、プリンタドライバとプリンタ機能の設定が必要です。**

プリンタドライバ	**排紙先を［ソータビン］に設定** **ソートを［オン］に設定**
プリンタ機能	**プリンタ設定メニューで［ソータモード］を［ジョブセパレート］に設定**

確認印刷　<詳細オプション>

オフ　**オン**

複数部数のジョブのプリントを行うときに、あらかじめ1部だけプリントして印字結果を確認した上で指定した部数をプリントすることができます。この項目をオンしてプリントを実行した後、プリンタの操作パネルまたはWebSpoolerを使って、指定した部数をプリントします。その際、部数を変更することもできます。


メモ

- **本プリンタの操作パネルのディスプレイでは、漢字やかななどの全角文字（2バイト文字）を表示できません。**
  「確認印刷」のファイル名やユーザ名を2バイト文字で指定している場合は、操作パネルに正しく表示されません。操作パネル上でも正しく表示させるためには「確認印刷」のファイル名やユーザ名を半角文字で指定することをおすすめします。

洋形封筒印刷　＜詳細オプション＞

オフ　オン

洋形４号、角形２号の封筒を横向きに印刷するときは、［印刷の向き］で［横置きに回転］を選択して、［洋形封筒印刷］を［オン］にします。


メモ

- **洋形４号、角形２号の封筒のプリントが終わったら、必ず［オフ］に戻してください。**

両面印刷　＜詳細オプション＞

なし　上と下を合わせる　上と上を合わせる

本プリンタにオプションの両面ユニットを装着すると、2ページ分の原稿を用紙の両面にプリントできます。ここでは、用紙のどこを綴じるかを決めます。

［なし］

片面プリントをするときは、［両面］を［なし］にします。

［上と下を合わせる］

用紙の向きが縦長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。

［上と上を合わせる］

用紙の向きが縦長の場合、両面とも同じ側が上にくるようにプリントします。用紙の向きが横長の場合、片面の上が裏面の下にくるようにプリントします。

排紙先　＜詳細オプション＞

排紙トレイ　サブ排紙トレイ　ソータビン
ビン１〜ビン７

排紙先のトレイまたはビンを指定します。

［排紙トレイ］

プリンタ上部の排紙トレイにプリント面を下向きにして排紙します。プリントされたページは、最終ページが一番上になります。

［サブ排紙トレイ］

サブ排紙トレイにプリント面を上向きにして排紙します。プリントされたページは、開始ページが一番下になります。

［ソータビン］または［ビン 1］〜［ビン 7］

［ソータビン］または［ビン 1］〜［ビン 7］に排紙します。
［ソータビン］または［ビン1］〜［ビン7］にプリント面を下向きに排紙され、最終ページが一番上になります。

4
第4章　Windows 2000から印刷するには

第 5 章

UNIX から印刷するには

UNIX ワークステーションから印刷する

UNIXワークステーションから本プリンタにデータを送ると、直接印刷することができます。プリントジョブはプリンタのプリントキューに送られ、Macintosh コンピュータやWindows対応コンピュータからFiery WebSpoolerを使って管理することができます。


メモ

- **印刷の実行には、キュー名とプリンタ名の入力が必要です。ネットワーク管理者に確認してからはじめてください。**
- **本プリンタのネットワークプロトコルの設定でTCP/IPを使用可能にしておく必要があります。設定のしかたについては、設置ガイド　第2章「ネットワーク情報を設定する」をご覧ください。**
- **UNIX の印刷コマンド、印刷設定に関しては、UNIX システムのマニュアルをご覧ください。**

プリントキューの設定

lpr プロトコルはプリンタ・スプーリング・システムです。ネットワーク上のさまざまなユーザからの印刷要求を受け付け、適切なプリント・サーバ（この場合はプリンタ）へ送り、プリントキューの状態を表示する要求を受け入れたり、プリントキューからジョブを削除する一連のプログラムです。
lpr システムは BSD 版 UNIX システム、SunOS4 および Solaris の標準インストールに含まれていますが、SGI IRIX システムではオプションです。
次に説明する例を参考にして、プリンタへ印刷できるようにネットワークをセットアップしてください。


メモ

- **次の設定例ではプリンタ名（IP ホスト名）として「LBP2260PS」、プリントキューとして「LBP2260PSq」を使っています。**
- **IRIX 5を実行しているSGIワークステーションでは、まず、IRIXインストール用 CD から lpr パッケージをインストールしてください。標準インストールには印刷サブシステムしか含まれていないので、ネットワーク機能はありません。次の項目をロードする必要があります。
eoe2.sw.bsdlpr および eoe2.man.bsdlpr**

UNIX システムにネットワークプリンタとしてプリンタを追加する

1

UNIX ホストに root ユーザとしてログインします。

2

/etc/hosts ファイルを編集して、プリンタをネットワーク・デバイスとして入れます。

プリンタの入力例

```
192.9.228.1<TAB>LBP2260PS<TAB>#comments
```

ここで＜ TAB ＞はタブキーを押すことを指しています。
IP アドレスの後に正式なホスト名を指定し、その後別名(ある場合)を続けます。


メモ

- **上記の例のとおり正確に入力してください。IP アドレスの前にスペースを入れないでください。**
- **NISを使っているサイトでは、プリンタ項目を追加した後、スーパーユーザが次のように入力して最新情報を公開します。**
  cd/var/yp
  make
- **DNS(ドメイン名システム)またはNIS+を使うサイトでは、プリンタ項目の公開方法については取扱説明書を参照するか、システム管理者に相談してください。**

3

ホスト・ファイルを保存し、終了させます。

4

ping コマンドを使って接続を確認します。

「TCP/IP ネットワーク接続の確認」（P.118）をご覧ください。

UNIX システムが SunOS4.1.x などの BSD 版を使っている場合は、次の項へ進んでください。Solaris 2.x を使っている場合は「Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムでの印刷設定」（P.117）の手順を行ってください。

Sun4.1.x などの BSD 版 UNIX システムでの印刷設定

1
プリンタへ印刷するワークステーションで、UNIX ホストに root ユーザとしてログインします。

2
プリンタの項目を /etc/printcap ファイルに作成します。

以下はプリンタの printcap 項目の例です。rm 行に入力するリモート・ホスト名は /etc/hosts ファイルに入力した名前とまったく同じでなければいけません。

```
LBP2260PSq:\
:LP:\
:rm=LBP2260PS:\
:rp=xjprint:\
:if=/var/spool/lpd/LBP2260PSq/log:\
:sd=/var/spool/lpd/LBP2260PSq:\
:mx#0:sf:sb
```

スプール・ディレクトリLBP2260PSqがここで指定され、ディレクトリそのものは手順3で作成されます。同様に、ログ・ファイルがここで指定され、手順4で作成されます。スプール・ディレクトリは書き込み保護が設定されているので（デーモン・ユーザとデーモン・グループを除く）、ユーザは修正、削除することはできません。

その他の3つのプリンタ項目をセットアップできます。rp 名が xjprint の項目、xjhold の項目および xjdirect の項目です。rp 名は指定されたプリンタへ印刷するときにジョブが送られる先のプリントキューを示します。

rp 名が xjhold のプリンタ項目は全てのジョブをプリンタの Hold キューに送ります。したがって、それらのジョブをFiery WebSpoolerを使って印刷待ちキューに移動しなければ印刷できません。

3
プリンタのスプール・ディレクトリを /var/sppol ディレクトリ内に作成します。

入力例

```
mkdir -p /var/spool/lpd/LBP2260PSq
chown daemon /var/spool/lpd/LBP2260PSq
```

4
ログ・ファイルを作成します。

入力例

```
cp /dev/null /var/spool/lpd/LBP2260PSq/log
```

5
コンピュータを再起動します。

Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムでの印刷設定

1
プリンタへ印刷するワークステーションで、UNIX ホストに root ユーザとしてログインします。

2
UNIX のプロンプトに次のように入力します。

```
lpsystem -t bsd LBP2260PS
```

これでプリンタが BSD 版のプリント・サーバであることを指定します。

3
次のように入力します。

```
lpadmin -p LBP2260PSq -s LBP2260PS !xjdirect
```

このコマンドはワークステーション上に内部待ち行列を作成し、プリンタへ指し示します。このコマンドの一般的なフォーマットは次のとおりです。

```
lpadmin -p <プリントキュー>-s<ホスト名> !xjdirect
```


メモ

- **感嘆符の後の xjdirect という名前はプリンタを構成するためのもので、プリンタが要求する内部名です。名前は必ず xjdirect でなければならず、ユーザは選択できません。ここだけに入力されます。**

ハードディスクの残り容量を超える大きなファイルを印刷する場合は、直接接続へ印刷してください。

SunOS 4または他のBSD版システムと同様に、さらに2つのプリンタ項目をセットアップできます。rp 名が xjprint の項目と xjhold の項目です。

4

次のように入力します。

```
lpadmin -p LBP2260PSq -TP5
accept LBP2260PSq
```

この2番めのコマンドは、プリンタにワークステーションからの印刷要求を受け入れるよう指示します。これで印刷できる状態になりました。

5

次のように入力します。

```
enable LBP2260PSq
```

TCP/IP ネットワーク接続の確認

TCP/IP ネットワーク上の装置が印刷ジョブをプリンタへ送る前に、プリンタに有効なIPアドレス、ゲートウェイ・アドレスおよびサブネット・マスク(該当する場合)を割り当てる必要があります。プリンタにはネットワークのセットアップでこの3つのアドレスが指定されています。

プリンタは工場出荷時に無効なIPアドレスが割り当てられています。IPアドレスは全てのTCP/IPネットワークで使われるので、プリンタをネットワーク上で使用する前に割り当てておかなければいけません。
セットアップにはサブネット・マスクとゲートウェイ・アドレスを変更するオプションもあります。

TCP/IP ネットワークではネットワーク管理者が UNIX セットアップの一部を行う必要があるので、インストール直後にネットワークを通じてドライバからテスト・ページをプリンタへ送信することができない場合があります。この場合は、次の手順を行うと、プリンタ・ドライバを使ってテスト・ページを印刷せずにプリンタとネットワークが正しく接続されているか確認できます。この手順を始める前に、プリンタの操作パネルからステータスプリントを行って、プリンタが機能しているか確認してください。

プリンタのTCP/IPセットアップが完了したら、Windows 95/98のDOSプロンプトから、またはWindows NTのコマンド・プロンプトからpingコマンドを使って、プリンタを利用できるか確認できます。

プリンタがそのアドレスに応答するかを調べるにはpingコマンドを使ってください。
次のフォーマットで入力してください。

```
ping <IPアドレス>
```

プリンタのIPアドレスはステータスプリントに表示されたものを使います。ネットワーク管理者がプリンタにホスト名を指定している場合は、次のように入力できます。

```
ping <ホスト名>
```

サーバは次のメッセージで応答します。（このメッセージは、OSによって異なります。）

```
<IPアドレス> is alive.
```

システムによってはIPアドレスからの出力を連続して表示するものがあります。この出力を停止するには［Control］+［C］キーを押してください。

印刷する

Sun4.1.x などの BSD 版 UNIX システムの場合

書式

```
lpr <-Pプリンタ名> <ファイル名>
```

例

設定したプリンタ名が「LBP2260PS」で、「Report」という名前のファイルを印刷する場合

```
lpr -PLBP2260PS Report
```

Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムの場合

書式

```
lp -d <プリンタ名> <ファイル名>
```

例

設定したプリンタ名が「LBP2260PS」で、「Report」という名前のファイルを印刷する場合

```
lp -dLBP2260PS Report
```

キュー内のジョブを一覧表示する

プリンタのキュー内のジョブを一覧表示できます。

Sun4.1.x などの BSD 版 UNIX システムの場合

書式

```
lpq <-Pキュー名>
```

例

設定したプリンタ名が「LBP2260PS」の場合

```
lpq -PLBP2260PS
```

Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムの場合

書式

```
lpstat -o<キュー名>
```

例

設定したプリンタ名が「LBP2260PS」場合

```
lpstat -oLBP2260PS
```

キューからジョブを削除する

プリンタのキュー内のジョブを削除します。



- **ルートユーザとしてログインしないと、自分のジョブ以外は削除できません。**
- **削除するジョブのジョブナンバーは、lpq または lpstat を使って確認します。**

Sun4.1.x などの BSD 版 UNIX システムの場合

書式

```
lprm <－Pプリンタ名> <ジョブナンバー>
```

例

設定したプリンタ「LBP2260PS」のスプーリングキューから、ジョブナンバー 123 のジョブを削除する場合

```
lprm -PLBP2260PS 123
```

Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムの場合

書式

```
cancel <プリンタ名> <ジョブナンバー>
```

例

設定したプリンタ「LBP2260PS」のスプーリングキューから、ジョブナンバー 123 のジョブを削除する場合

```
cancel LBP2260PS 123
```

第 6 章

Fiery WebToolsを使用してプリンタを管理する

Fiery WebTools の特長

Fiery WebToolsは、プリントジョブを管理するためソフトウェアで、本プリンタに内蔵されています。ネットワーク上のコンピュータ側から、Webブラウザを使って操作します。
Fiery WebTools には、次の 5 つの機能があります。

状況

プリント中、処理中のジョブに関する情報を表示します。
→「ジョブの処理状況を表示する」(P.167)

WebSpooler

コンピュータからプリンタに送信され、プリンタ内にスプールされたプリントジョブの処理状況を表示します。
→「WebSpooler を使う」(P.168)

WebLink

インターネットに接続し、インターネット上の他の Web ページにリンクを設定することができます。
→「WebLink のリンク先を変更する」(P.181)

WebDownloader

アプリケーションソフトを使わずに、PS ファイル、PDF ファイルを直接プリンタに送信して、プリントすることができます。
→「WebDownloader を使う」(P.182)

FontManager

本プリンタのハードディスクにダウンロードされたPostScriptフォントをコンピュータのハードディスクにバックアップします。
→「フォントをバックアップする」(P.184)



必要なシステム環境

Fiery WebToolsを使用するには、次のような環境が必要です。

Windows対応コンピュータを使用する場合

ネットワーク環境： TCP/IPが使用可能であること
本プリンタのIPアドレスまたはネームサーバ名が設定されていること
Webブラウザ： Netscape Communicator 4.7または
Microsoft Internet Explorer 5を推奨
モニタ： 解像度800×600以上で16bitカラーを表示可能であること

Macintoshコンピュータを使用する場合

ネットワーク環境： TCP/IPが使用可能であること
本プリンタのIPアドレスまたはネームサーバ名が設定されていること
Webブラウザ： Netscape Communicator 4.7を推奨
モニタ： 解像度800×600以上で16bitカラーを表示可能であること



- **Windows NT 4.0でWebDownloaderを使用する場合は、以下のサービスパックをインストールしてください。**
  Windows NT 4.0： Service Pack 5以降
- **Macintoshをお使いの場合、WebDownloaderを使用することはできません。**
- **WebSpoolerやWebLinkを使用している場合、またはWebDownloaderでファイルを送信している場合は、プリンタの操作パネルからVisualCalやカラー調整、ネットワークプロトコルの設定やネットワークサービスの設定はできません。**
- **WebDowinloaderおよびFontManagerは複数の利用者が同時に使用することはできません。**
- **上記以外のバージョンのWebブラウザでは、Fiery WebToolsが正常に動作しない可能性があります。**
- **FontManagerを利用する場合、次のバージョンのOSとWebブラウザの組み合わせ以外は、正常に動作しない可能性があります。**
  Windows98／Microsoft Internet Explorer 5
  Windows2000／Microsoft Internet Explorer 5
  Mac OS 8.6／Netscape Communicator 4.7
  Mac OS 9／Netscape Communicator 4.7



- **ネットワーク環境の設定については、プリンタ機能マニュアル　第3章「ネットワークプロトコルの設定」をご覧ください。**
- **この章では、Windows対応コンピュータでWebブラウザとしてMicrosoft Internet Explorer 5を使用しています。Macintoshコンピュータの場合も、特に指示がない限り、操作は変わりません。**
- **お使いのWebブラウザによっては、一部画面が異なる場合があります。**

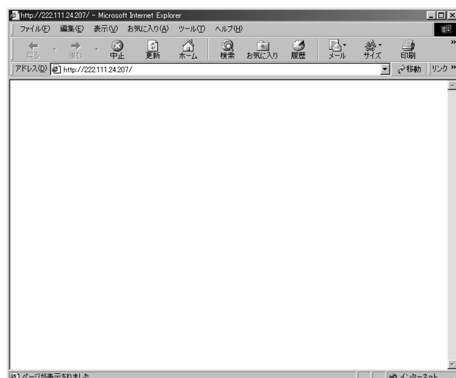
Fiery WebTools を起動する

1

Web ブラウザを立ち上げます。

2

WebブラウザのURL入力欄に本プリンタのIP アドレス、またはホスト名を入力します。





- **IP アドレス、ホスト名が不明の場合は、ネットワーク管理者におたずねください。**
- **自動IP機能によって、プリンタにIPアドレスが割り当てられている場合にはステータスプリントをプリントして、割り当てられているIP アドレスを確認してください。→プリンタ機能マニュアル　付録「プリンタ情報のリスト」**

3

必要に応じて画面左側の機能を選択します。





- **機能名の右側の ? をクリックすると、画面右側に各機能の解説が表示されます。**

ジョブの処理状況を表示する

現在プリンタ内で処理中のジョブ、またはプリント中のジョブに関する情報を表示します。利用者名、文書名を確認できます。

1

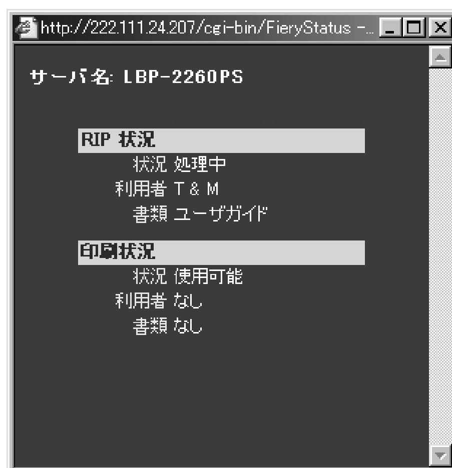
状況 をクリックします。

状況表示画面が表示されます。



2

状況表示画面を閉じるには、画面右上隅の ✕ をクリックします。




メモ

- **Webブラウザ画面を閉じても、状況表示画面をそのまま表示しておくことができます。状況表示は自動的に更新され、最新の情報に書き換えられて表示されます。**

WebSpoolerを使う

ネットワークを介して送られてきたプリントジョブは、プリンタ内にいったん蓄えられ、送られた順番にしたがってプリントされます。さらに、印刷済みのジョブは「印刷済みジョブ」として保存されます。
WebSpoolerを使うと、プリンタ内で処理中、プリント中、印刷済みを問わず、すべてのジョブの処理状況を表示することができます。また、プリンタ内のジョブの削除やコピー、再印刷など、ジョブの管理ができます。

WebSpooler画面を表示する

1

WebSpoolerをクリックします。



2

画面右上のボタンやメニューの操作を使って、一覧に表示されているジョブのコピーや移動、削除などの操作をします。



WebSpooler 画面の見かた

WebSpooler画面には、コンピュータから送られてきたプリントジョブが一覧表示されます。この画面では、ジョブの処理状況、利用者やジョブのサイズなどジョブに関する詳細を知ることができます。

WebSpooler - 192.168.1.202

ファイル　編集　ウィンドウ　管理者　ヘルプ

Fiery WebSpooler

印刷状況:　LBP-2260PS: 利用者: MAC07; 書類: D社イベント企画書3

RIP状況: 利用者: MAC07; 書類: F01現場報告書A1

書類	利用者	時間	日付	PDL	サイズ
印刷中					
D社イベント企画書3	MAC07	14:19:02	00/01/30	ps	7048141
印刷待ち					
E販促ツール計画書42	MAC07	14:22:17	00/01/30	ps	4836891
RIP中					
F01現場報告書A1	MAC07	14:24:49	00/01/30	ps	1925649
印刷					
F01報告書A2	MAC07	14:26:11	00/01/30	ps	746057
待機					
報告書フォームI	MAC07	14:26:50	00/01/30	ps	254013
ファックス用紙T	MAC07	14:27:09	00/01/30	ps	99876
印刷済み					
A02企画書00	MAC07	13:59:11	00/01/30	ps	928755
B2デザイン案01	MAC07	14:01:12	00/01/30	ps	1393590
Cpurojectプレゼン資料B案1	MAC07	14:09:19	00/01/30	ps	5518002
D社イベント会場プラン2	MAC07	14:15:35	00/01/30	ps	7393269

ハードディスク空き容量(MB): 1981

警告 : アプレット ウィンドウ

印刷中

現在プリント中のジョブが表示されます。ジョブの削除をすると、プリントを中止できます。

印刷待ち

RIP処理が終了したジョブは、先にプリントを開始したジョブのプリントが終了するまで「印刷待ち」ジョブとして表示されます。この欄に表示されたジョブに関しては、プリントの中止やジョブの移動・削除などの変更操作はできません。

RIP 中

RIP 中のジョブが表示されます。ジョブを削除すると、プリントを中止できます。


メモ

- **RIPとは、コンピュータから送信されたPostScriptデータをラスタイメージデータに変換する処理です。**

印刷（印刷キュー）

通常のプリント操作でコンピュータからプリンタに送られたジョブが最初に表示されるのが「印刷」です。プリントジョブは、まず最初に印刷キューに入り、RIP処理を経てプリントされます。ジョブの移動や削除、プリントの中止などの操作ができます。

待機中（待機キュー）

処理待ちのジョブが表示されます。待機キューのジョブは、印刷キューに移動するか、削除されるまで、待機キューに留まります。コンピュータからのプリント操作の際に、プリンタドライバで待機キューを指定してプリントを実行するか、またはを使って印刷キューのジョブを待機キューに移動したときに、ここに表示されます。待機キューのジョブをプリントするには、印刷キューに移動またはコピーします。



- **たとえば、FAX送付票や定型フォームなど、頻繁に使用する書類を待機キューに入れておき、そのジョブをコピーすると何度でも簡単にプリントできます。→「ジョブのコピーとプリント」（P.172）**

印刷済み（印刷済みキュー）

プリント済みのジョブはプリンタ内に保存され、この欄に表示されます。保存できるジョブ数は、工場出荷時の設定では10ジョブになっています。操作パネルの操作で最大99ジョブまで保存するように設定できます。印刷済みキューのジョブを再プリントするには、印刷キューに移動またはコピーします。
→プリンタ機能マニュアル　第3章「システム設定」



- **直接印刷を指定してプリントを実行したジョブの場合、保存されません。**

確認印刷

確認印刷を指定されたプリントジョブが表示されます。
複数部数のプリントを行うときに、プリンタドライバの設定で「確認印刷」を指定すると、あらかじめ1部だけプリントして印字結果を確認の上、指定部数をプリントすることができます。→プリンタ機能ガイド　第5章「確認印刷」

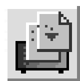
ボタンの機能

WebSpooler 画面の右上にあるボタンは、次のような機能を持っています。

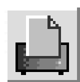




アップデート
WebSpooler 画面に表示される情報を更新します。



複製プリント
選択したジョブを複製し、印刷キューに入れます。



プリント
選択した文書をプリントします。



待機
選択した文書を待機キューに入れます。



削除／キャンセル
選択した文書を削除します。プリント中の文書を選択した場合は、プリントをキャンセルします。


メモ

- **ジョブ一覧からジョブを選択し、ボタンの代わりにメニューから該当のコマンドを選択しても同様に操作できます。**
- **ジョブ一覧から隣接した複数のジョブを選択するには、[Shift] キーを押しながら選択したいジョブをクリックします。**
  ジョブ一覧から隣接していない複数のジョブを選択するには、[control] キーを押しながら選択したいジョブをクリックします。

ジョブのコピーとプリント

待機キューまたは印刷済みキューにあるジョブを印刷キューにコピーし、プリントできます。ジョブをコピーしても、プリンタは元のファイルへの参照情報を作成するだけで、ディスクスペースを使いません。

1

待機キューまたは印刷済みキューからコピーしたいジョブを選択します。

選択したジョブが反転表示します。



2

選択したジョブを にドラッグします。または印刷キューか待機キューにドラッグします。

複数のジョブを選択したいときは［Ctrl］キーを押しながら、選択したいジョブを にドラッグします。

編集メニューの［ジョブの複製］を選択してもコピーとプリントができます。

選択したジョブが印刷キューにコピーされます。




メモ

- **Macintoshコンピュータの場合、［Option］キーを押しながらドラッグします。**
- **WebDownloaderで設定したPDFファイルのコピー枚数は、WebSpoolerでも有効です。WebDownloaderで3部に設定すると、WebSpoolerから印刷する場合も3部プリントされます。**

ジョブの移動

待機キューまたは印刷済みキューにあるジョブを印刷キューに移動できます。また、同じキュー内で移動すると、キュー内での順番を変えることができます。
たとえば、FAX 送付票や定型フォームなど、頻繁に使用する書類を待機キューに移動し、そのジョブをコピーすると何度でも簡単にプリントできます。

1

待機キューまたは印刷済みキューから移動させたいジョブを選択します。

選択したジョブが反転表示します。



2

選択したジョブを印刷キュー、または待機キューにドラッグします。

選択したジョブが印刷キューまたは待機キューに移動します。




メモ

● **確認印刷キューから待機キューへの移動はできません。**

ジョブの削除

選択したジョブを削除します。

1

削除したいジョブを選択します。

選択したジョブが反転表示します。

2

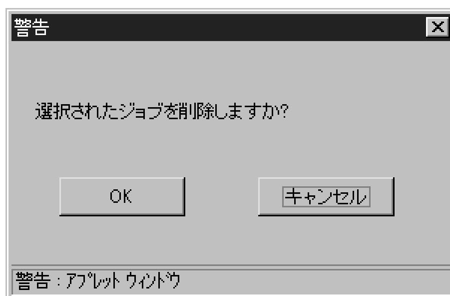
選択したジョブを にドラッグするか、または をクリックします。



編集メニューの［ジョブの削除］を選択しても削除できます。
削除を確認するメッセージが表示されます。

3

メッセージを確認して［OK］ボタンをクリックします。




メモ

- 利用者自身が送信したジョブのみ削除できます。
- プリンタ操作パネルでパスワードが設定されている場合は､利用者自身が送信したジョブでも削除できません。
- システム管理者は、［管理者］メニューでパスワードを入力すると、すべての利用者のジョブを削除できます。
- WebSpoolerの環境設定で確認メッセージを表示しないように設定している場合は、メッセージは表示されず、ただちに削除されます。

WebSpooler の環境設定

WebSpooler画面の更新、ジョブ削除の際の確認メッセージの表示に関する設定を行います。

1

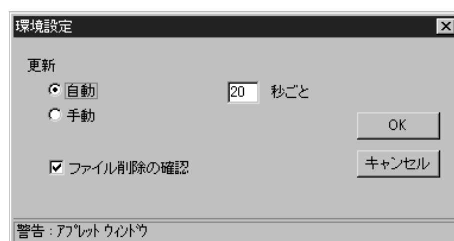
編集メニューの［環境設定］を選択します。



環境設定画面が表示されます。

2

更新方法、間隔など、必要な項目を設定します。



自動的に情報の更新を行うには［自動］を選択し、秒数を入力します。指定した秒数ごと（20～60秒）に画面が更新されます。
必要に応じてアイコンやメニューから更新操作をするには［手動］を選択します。
印刷キューからジョブを削除するときに確認のメッセージを表示するには［ファイル削除の確認］を選択します。


メモ

- **自動的に更新するように設定すると、ネットワーク上を流れる情報が増大し、ネットワークを介して行われる他の処理の障害になる恐れがあります。必要なとき、WebSpooler画面の更新ボタン、またはウインドウメニューの［更新］を選択して、更新作業を行うことをおすすめします。**
- **［ファイル削除の確認］をオフにしても、いったん WebSpooler を終了するとオンに戻ります。**

確認印刷の部数の変更

確認印刷の部数を変更することができます。

1

［確認印刷］欄の目的のジョブをダブルクリックするか、またはジョブを選択してから編集メニューの［プリント設定の書き換え］を選択します。



プリント設定の書き換え画面が表示されます。

2

変更する部数を入力し、［OK］ボタンをクリックします。



印刷するには、確認印刷のジョブを印刷キューに移動します。→「ジョブの移動」（P.131）

ジョブログの表示・プリント・保存

プリントしたすべてのジョブについて、そのログ（履歴）を表示、またはプリントすることができます。また、ジョブログはタブ区切り形式のファイルとして書き出すことができます。表計算やワープロ、データベースなどに取り込んで、課金管理情報として利用することもできます。


メモ

- **直接印刷で送信したジョブは、印刷済みキューには表示されませんが、ジョブログには表示されます。**

ジョブログの表示

ジョブログには、次のような情報が表示されます。
状況・ドキュメント名・ユーザ名・送信した日付・プリント開始時間・プリント終了時間・処理時間・ファイルサイズ、用紙サイズ・用紙の種類・ページ記述言語・カラーのページ数・原本のページ数・白黒のページ数・合計ページ数

1

ウインドウメニューから［ジョブログ表示］を選択します。



ジョブログウインドウが表示されます。

ジョブログの見かた

表示されていない部分を見たいときは、スクロールバー、スクロールボタンを使ってスクロールしてください。



状況	書類	利用者	日付	開始時間	終了時間	処理時間	サイズ	用紙サイズ	メデ
OK	ジョブログ	オペレータ	00/01/30	13:21:12	13:21:46	00:00:02	9358	A4	フツ
OK	セッテイジョウホウページ	オペレータ	00/01/30	13:22:02	13:22:46	00:00:11	14912	A4	フツ
OK	PSフォントイチラン	オペレータ	00/01/30	13:22:21	13:24:05	00:01:11	4958	A4	フツ
OK	テストページ	オペレータ	00/01/30	13:23:32	13:24:55	00:00:35	21116	A4	フツ
OK	VisualCal	オペレータ	00/01/30	13:46:21	13:47:21	00:00:14	41618	A4	フツ
OK	VisualCal	オペレータ	00/01/30	13:48:47	13:49:39	00:00:05	41618	A4	フツ
OK	VisualCal	オペレータ	00/01/30	13:50:34	13:51:26	00:00:07	24012	A4	フツ
OK	VisualCal	オペレータ	00/01/30	13:51:47	13:52:38	00:00:04	24012	A4	フツ
OK	VisualCal	オペレータ	00/01/30	13:53:18	13:54:10	00:00:04	24012	A4	フツ
OK	VisualCal	オペレータ	00/01/30	13:54:18	13:55:40	00:00:35	21058	A4	フツ
OK	VisualCal	オペレータ	00/01/30	13:55:45	13:57:06	00:00:36	21058	A4	フツ
OK	A02企画書00	MAC07	00/01/30	14:16:46	14:23:54	00:00:39	1797023	A4	フツ
OK	B2デザイン案01	MAC07	00/01/30	14:17:31	14:23:54	00:02:07	1393590	A4	フツ
キャンセル	Cpurojectプレゼン資料A案02	MAC07	00/01/30	14:19:43	14:28:37	00:02:51	1344964	A4	フツ

状況欄の見かた

OK	正常にプリントが行われたことを示します。
エラー	ジョブの処理中にポストスクリプトエラーが起きたことを示します。
キャンセル	プリントが終了する前にキャンセルされたジョブであることを示します。

ジョブログのプリント

1

ファイルメニューから［ジョブログ印刷］を選択します。

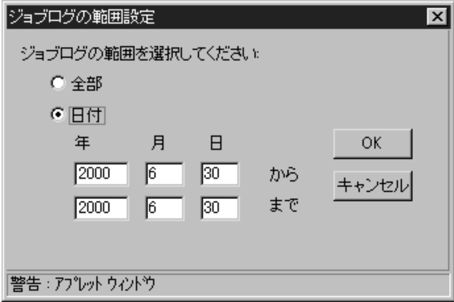
［ジョブログの範囲設定］ダイアログボックスが表示されます。



2

表示するジョブログの範囲を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

日付を指定する場合は、［日付］をオンにし、日付入力欄に開始年月日と終了年月日をそれぞれ入力します。
ジョブ履歴がプリントされます。



●ジョブログプリント例

ｼﾞｮﾌﾞﾛｸﾞ
プリンタ名: LBP-2260PS
ページ: 1

状況	ドキュメント	ユーザ	日付	開始時間	終了時間	処理時間	ファイルサイズ	用紙サイズ	用紙の種類	ページ記述言語	原本	カラー	白黒	合計
OK	ｼﾞｮﾌﾞﾛｸﾞ	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:21:12	13:21:46	00:00:02	9 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	0	1	1
OK	ｾｯﾃｲｼﾞｮｳﾎｳﾍﾟｰｼﾞ	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:22:02	13:22:46	00:00:11	15 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	0	1	1
OK	PSﾌｫﾝﾄｲﾁﾗﾝ	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:22:21	13:24:05	00:01:11	5 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	0	2	2
OK	ﾃｽﾄﾍﾟｰｼﾞ	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:23:32	13:24:55	00:00:35	21 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	VisualCal	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:46:21	13:47:21	00:00:14	41 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	VisualCal	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:48:47	13:49:39	00:00:05	41 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	VisualCal	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:50:34	13:51:26	00:00:07	23 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	VisualCal	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:51:47	13:52:38	00:00:04	23 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	VisualCal	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:53:18	13:54:10	00:00:04	23 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	VisualCal	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:54:18	13:55:40	00:00:35	21 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	VisualCal	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	13:55:45	13:57:06	00:00:36	21 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	1	0	1
OK	A02企画書00	MAC07	00/01/30	14:16:46	14:23:54	00:00:39	2 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	B2デザイン案01	MAC07	00/01/30	14:17:31	14:23:54	00:02:07	1 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	12	11	1	12
ｷｬﾝｾﾙ	Cpurojectプレゼン資料A案02	MAC07	00/01/30	14:19:43	14:28:37	00:02:51	1 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	13	12	1	13
OK	Cpurojectプレゼン資料B案1	MAC07	00/01/30	14:22:42	14:28:37	00:03:34	5 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	24	23	1	24
OK	D社イベント会場プラン2	MAC07	00/01/30	14:28:01	14:39:07	00:04:37	7 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	42	41	1	42
OK	D社イベント企画書3	MAC07	00/01/30	14:32:43	14:59:24	00:08:34	7 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	43	42	1	43
OK	E販促ツール計画書42	MAC07	00/01/30	14:41:21	14:59:24	00:02:36	5 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	23	22	1	23
OK	F01現場報告書A1	MAC07	00/01/30	14:44:02	14:59:24	00:01:33	2 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	15	14	1	15
OK	F01報告書A2	MAC07	00/01/30	14:45:40	15:01:21	00:03:13	729 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	13	12	1	13
OK	報告書フォームI	MAC07	00/01/30	15:06:00	15:08:32	00:00:42	250 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	ファックス用紙T	MAC07	00/01/30	15:06:45	15:08:32	00:00:22	98 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	E販促ツールデザイン案41	MAC07	00/01/30	15:09:31	15:15:35	00:03:02	5 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	29	28	1	29
OK	ｼﾞｮﾌﾞﾛｸﾞ	ｵﾍﾟﾚｰﾀ	00/01/30	15:16:30	15:19:47	00:00:09	11 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	1	0	1	1
ｴﾗｰ	ﾌﾒｲ	ﾌﾒｲ	00/01/30	15:33:25	15:33:35	00:00:08	160 KB	ﾌﾒｲ	ﾌﾒｲ	pdf	0	0	0	0
ｴﾗｰ	ﾌﾒｲ	ﾌﾒｲ	00/01/30	15:37:10	15:37:20	00:00:09	160 KB	ﾌﾒｲ	ﾌﾒｲ	pdf	0	0	0	0
OK	J企画会議資料00	MAC07	00/01/30	15:40:57	15:42:46	00:00:30	906 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	ﾌﾒｲ	MAC07	00/01/30	15:42:31	15:43:35	00:00:00	866 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	cnp	1	1	0	1
OK	ﾌﾒｲ	MAC07	00/01/30	15:49:46	15:51:16	00:00:00	866 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	cnp	1	3	0	3
OK	chckprt_dlg.bmp	PC01	00/01/30	16:02:11	16:05:36	00:00:05	822 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	chckprtlst.bmp	PC01	00/01/30	16:02:23	16:05:36	00:00:16	2 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	complete.bmp	PC01	00/01/30	16:02:42	16:05:36	00:00:04	143 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	deljoblog.bmp	PC01	00/01/30	16:02:49	16:05:36	00:00:04	378 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	delwarn.bmp	PC01	00/01/30	16:03:01	16:05:36	00:00:04	378 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	dwnldr.bmp	PC01	00/01/30	16:03:13	16:09:59	00:00:17	1 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	explore.bmp	PC01	00/01/30	16:03:33	16:09:59	00:00:18	2 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	filedwnld.bmp	PC01	00/01/30	16:03:53	16:09:59	00:00:14	1 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	fileopen1.bmp	PC01	00/01/30	16:04:10	16:09:59	00:00:06	767 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	fileopen2.bmp	PC01	00/01/30	16:04:25	16:09:59	00:00:05	767 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	filesave.bmp	PC01	00/01/30	16:04:38	16:09:59	00:00:11	951 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	filesave_dlg.bmp	PC01	00/01/30	16:04:53	16:09:59	00:00:11	767 KB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2
OK	guid1.bmp	PC01	00/01/30	16:05:12	16:20:58	00:00:26	2 MB	A4	ﾌﾂｳｼ	ps	2	1	1	2

ジョブログの書き出し

1

ファイルメニューから[ジョブログのエクスポート］を選択します。

［ファイルのダウンロード］ダイアログボックスが表示されます。



2

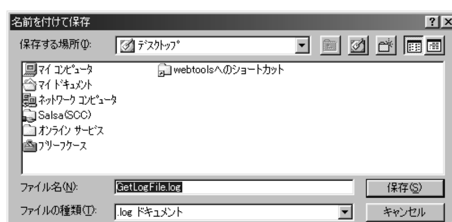
ファイルの処理方法を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



3

ファイルの保存場所を選択し、［保存］ボタンをクリックします。

ジョブログがファイルとして保存され、終了メッセージが表示されます。



4

［閉じる］ボタンをクリックします。



ジョブログの削除

1

ファイルメニューから［ジョブログの削除］を選択します。

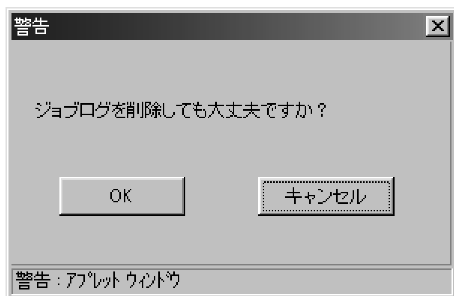
削除を確認するメッセージが表示されます。



2

メッセージを確認して［OK］ボタンをクリックします。

プリンタ内のジョブログがすべて削除されます。



WebLink のリンク先を変更する

WebLinkを使うと、WebLink をクリックするだけでキヤノンのホームページにアクセスすることができます。WebLink のリンク先は変更できます。

1

Ctrl キーを押しながら WebLink をクリックします。



2

リンクしたいWebページのURLを入力し、［OK］ボタンを押します。




メモ

- **リンク先を変更した後、WebLink をクリックすると、手順2で指定したWeb ページが表示されます。入力したリンク先は、次に変更するまで保存されます。**

WebDownloader を使う

PS ファイル、PDF ファイルを直接プリンタに送信することができます。


お願い

- **Macintosh では、WebDownloader は使用できません。Macintosh の場合は、User Software CD-ROM にある Adobe Downloader を利用してください。**
- **他の利用者が WebDownloader または FontManager を使用している場合は、［プリンタ使用中］のダイアログボックスが表示され、WebDownloader を起動することはできません。**

1

WebDownloader をクリックします。

WebDownloader ウインドウが表示されます。



2

［プリンタ接続］を選択します。

通常は［印刷キュー］のままでプリントします。必要に応じて、［直接接続］［待機キュー］を選択してください。
［直接接続］を選択した場合、送信されたファイルは、プリンタ内に保存されません。［待機キュー］を選択した場合、WebSpooler を使って待機キューから印刷キューに移動しない限り、プリントは実行されません。



6

第6章　Fiery WebToolsを使用してプリンタを管理する

3

［ソースファイル］欄にファイル名をフルパスで入力するか、または［参照］ボタンをクリックしてプリントするファイルを選択します。



4

必要な項目を設定して［ファイル送信］をクリックします。

ファイルをPDF印刷するには［PDF］をチェックして部数、開始ページ、終了ページを指定します。





- **部数を入力しない場合は、1部、開始ページを入力しない場合は1ページから、終了ページを入力しない場合は最終ページまでプリントされます。**
- **開始ページよりも小さい値の終了ページを入力すると、入力した値が無視されて全ページプリントされます。**
- **開始ページがPDFファイルの全ページ数よりも大きい値を入力した場合には何もプリントされません。**
- **WebSpoolerによる再プリントの場合にもこの設定が適用されます。**

ファイル送信が終了すると、右のような画面が表示されます。



FontManagerを使う

FontManagerは、ユーザが本プリンタのハードディスクにダウンロードしたPostScriptフォントをコンピュータにバックアップし、後でリストアすることができます。


お願い

- **FontManagerは、必ず管理者が操作してください。**
- **FontManagerの操作は、シングルユーザで行ってください。複数の利用者が同時にフォントバックアップ・リストアを行うと、フォントデータが壊れる可能性があります。可能ならば、本プリンタとバックアップ・リストアを行うコンピュータをネットワークから分離し、本プリンタと使用するコンピュータが一対一になるようにハブで接続して行ってください。**
- **フォントのバックアップ・リストアを行っている間に、他の利用者がフォントをダウンロードしたり削除したりすると、バックアップ・リストアが失敗する可能性があります。**
- **他の利用者がWebDownloaderまたはFontManagerを使用中の場合は、[プリンタ使用中]ダイアログボックスが表示され、FontManagerの操作を起動することはできません。**
- **FontManagerでバックアップできるフォントは、本プリンタのハードディスクにダウンロードされたPostScriptフォントのみです。本プリンタに標準で内蔵されているフォントをバックアップすることはできません。**
- **ハードディスク内のすべてのダウンロードフォントが、特殊な形式の1つのバックアップファイルとして保存されます。**
- **バックアップファイルのサイズは、ダウンロードされたフォントの量によって大きく変わります。バックアップを実行する前に、コンピュータのハードディスクに十分な空き容量があることを確認してください。**
- **ダウンロードされたフォントの量により、バックアップ・リストアに時間がかかる場合があります。例えば、漢字100書体(バックアップ・ファイル約600MB)では、バックアップに約2時間、リストアに約3時間、リストア後の再起動に1.5時間弱必要です。ただし、ご使用の環境により、さらに時間がかかることもあります。**
- **すべてのフォントがバックアップファイルに正しくバックアップされているか確認することもできます。→「バックアップファイルをチェックする」(P.189)**

重要事項

フォントバックアップ・リストア機能は、お客様が正規に入手したフォントを特定の1台のプリンタ上でガードする為、フォントを1台のハードディスクにバックアップすることを目的としたものであり、弊社はこの目的の遵守を要件としてフォントバックアップ・リストア機能を提供します。
万が一上記目的を逸脱した用途ならびに複数のハードディスクにバックアップを行った場合は、お客様の法的責任及び費用負担によって処理されるものとします。
又、いかなる場合であっても弊社は、お客様が本機能を使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負わないものとします。

フォントをバックアップする

1

FontManager をクリックします。

［警告］ダイアログボックスが表示されます。



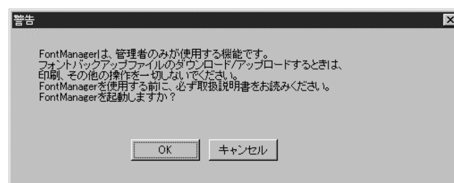


- **プリンタ操作パネルで管理者パスワードが設定されている場合、[システム管理者パスワード]ダイアログボックスが表示され、パスワードの入力が要求されます。ここで正しいパスワードを入力しない限り、FontManager は起動できません。**

2

［OK］ボタンをクリックします。

［FontManager］ウィンドウが表示されます。





- **［システム管理者パスワード］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。**

3

［フォントバックアップファイルのアップロード］をクリックします。

［ファイルのダウンロード］ダイアログボックスが表示されます。



4

［このファイルをディスクに保存する］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

［ファイルに名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。



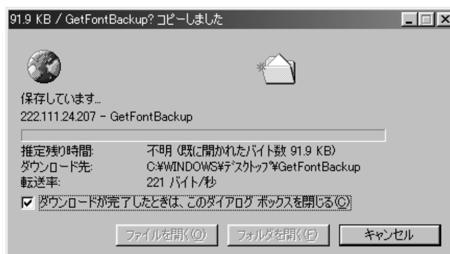
5

保存する場所を選択し、［保存］ボタンをクリックします。

ファイル名はデフォルトのファイル名（GetFontBackup）のままにしておいてください。

ファイルの保存が終了すると、［ダウンロードの完了］ダイアログボックスが表示されます。





6

［閉じる］ボタンをクリックします。

バックアップしたフォントをリストアする



お願い

- リストアは、破棄されたフォントを復旧させるための操作です。通常時には絶対に行わないでください。
- 本プリンタのバックアップファイルは、本プリンタのみにリストアできます。異なるプリンタにリストアすることはできません。
- 機種が異なる場合はもちろんシリアルナンバーが異なるプリンタにもリストアできません。
- リストアを実行すると、バックアップ以降にハードディスクにダウンロードされたフォントは消失します。
- フォントのリストアは、必ずフォントのバックアップを行ったコンピュータで、かつバックアップ時と同一のOS、同一のブラウザを使用して行ってください。異なったコンピュータを使用したり、OSやブラウザの構成を変えるとトラブルの原因になり、正常にフォントをリストアできなくなります。

1

FontManager をクリックします。

［警告］ダイアログボックスが表示されます。





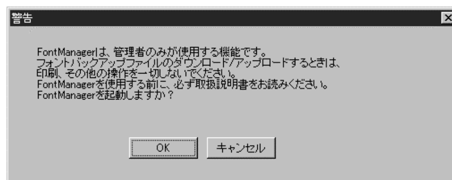
お願い

- プリンタ操作パネルで管理者パスワードが設定されている場合、[システム管理者パスワード]ダイアログボックスが表示され、パスワードの入力が要求されます。ここで正しいパスワードを入力しない限り、FontManager は起動できません。

2

［OK］ボタンをクリックします。

［FontManager］ウィンドウが表示されます。





メモ

- ［システム管理者パスワード］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。

3

［参照］ボタンをクリックします。

［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。



4

バックアップファイル（GetFontBackup）を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

5

［フォントバックアップファイルのダウンロード］をクリックします。

フォントのリストアが開始されます。
リストアに要する時間は、バックアップしたフォントの数、サイズにより異なります。
リストアが終了すると、プリンタの再起動を促すメッセージが表示されます。



6

［今、再起動］ボタンをクリックします。

本プリンタが再起動されます。





- **リストアしたフォントは、本プリンタを再起動した後に有効となります。**

バックアップファイルをチェックする

［フォントバックアップファイルのダウンロード］をクリックする前に［検証のみ］のチェックボックスをクリックしておくと、バックアップファイルと本機のハードディスク内のフォントの比較のみが実行されます。これにより、バックアップファイルに全てのフォントが正しくバックアップされたかどうかを確認することができます。


メモ

- **この操作は、本プリンタのハードディスク内のフォントには何も影響を与えません。**
- **バックアップした後、新しいフォントを本プリンタにダウンロードした場合には、チェックが OK になりません。**

第 7 章

アプリケーションソフトから印刷するには

画像処理アプリケーションソフト

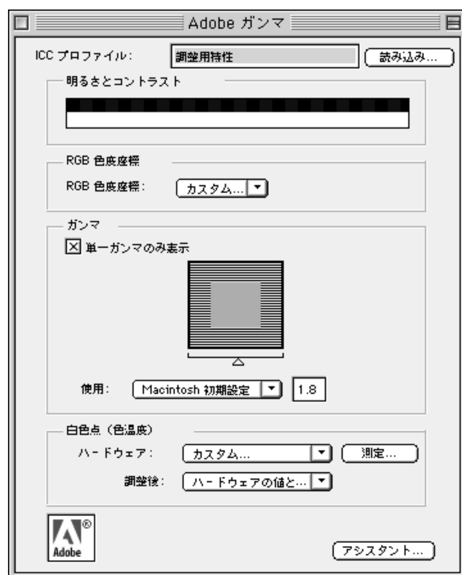
フォトレタッチソフトやペイントソフトなどの画像処理アプリケーションからプリントする場合の操作について説明します。ここでは、Photoshop 5.5J を例に説明していますが、他のバージョンでも同様です。

アプリケーションの設定

Photoshopでは、画像データをRGBとCMYKで扱うことができます。RGB画像をプリントする場合は、最初にお使いのモニタのRGB補正値を設定し、ソースの色空間を設定します。

Macintosh 版の場合

ColorSyncプロファイルなど本プリンタやお使いのモニタ用のカラー管理プログラム用ファイルがインストールされているか確認してください。インストールについては、第1章「印刷に必要なソフトウェアの準備」(P.22)をご覧ください。
次に、コントロールパネルの「Adobeガンマ」を開き、モニタのプロファイルを選択します。該当ファイルがない場合は、モニタメーカーの指定する白色点、RGB色度座標を設定します。




お願い

- **Photoshop 2.5J の場合、標準インストール状態では、RGB EPS ファイルが扱えません。「Photoshop」フォルダ内の「プラグイン」フォルダから"Don't Tag RGB PostScript®" プラグインを取り除いて、Photoshop を再起動してください。**

Windows 版の場合

ICMプロファイルなど本プリンタやお使いのモニタ用のカラー管理プログラム用ファイルがインストールされているか確認してください。インストールについては、第2章「印刷に必要なソフトウェアの準備」(P.65)をご覧ください。
次に、「Photoshop」フォルダ内の「Adobe photoshop Settings」フォルダを開き、"Photos50.ini"ファイルを開きます。そして、"DISABLERGBTAGS=1"を1行追加して保存し、Photoshopを再起動してください。




お願い

- **Photoshop 3.0Jの場合、"Photos30.ini"ファイルに追加してください。**
- **Windows 版 Photoshop の場合、この設定を行わないと、RGB EPS ファイルが扱えません。**

コントロールパネルの「Adobeガンマユーティリティ」を開き、モニタのプロファイルを選択します。該当ファイルがない場合は、モニタメーカーの指定する白色点、RGB色度座標を設定します。




メモ

- **[Adobeガンマコントロールパネル]についての詳細は、Photoshopの[PS Read me Wri]ファイルをご覧ください。**

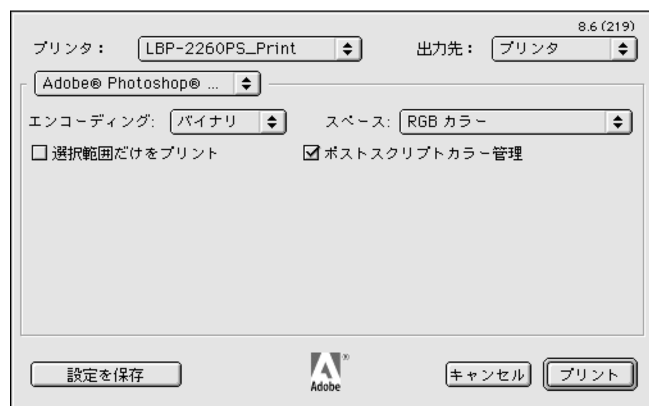
RGB画像のプリント

RGB画像の場合は、CMYKに変換されてから出力されます。どの時点で変換するかは、プリンタドライバのダイアログで指定することができます。

Macintosh版の場合

●出力形式の設定

プリントダイアログの「Adobe Photoshop 5.5J」ページには、次のオプションがあります。



エンコーディング

ASCII：　バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。出力に時間がかかります。
バイナリ：通常は、この形式で出力します。
JPEG：　この形式で出力すると出力時間が早くなります。ただし、画質に問題が出る場合があります。

スペース

RGB：　RGBデータのままプリンタへ出力され、プリンタで変換されます。
CMYK：　PhotoshopでCMYK変換されてからプリンタへ出力されます。

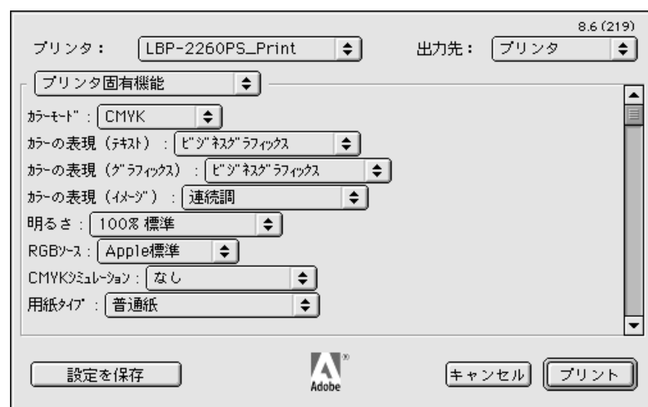
●カラーマネジメントの設定

プリントダイアログの「カラー設定」ページには、次のオプションがあります。カラーマネージメントシステムがインストールしてある場合には、カラーマネージメントシステム名とプロファイルを指定します。



●カラー出力の設定

プリントダイアログの「プリンタ固有機能」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。



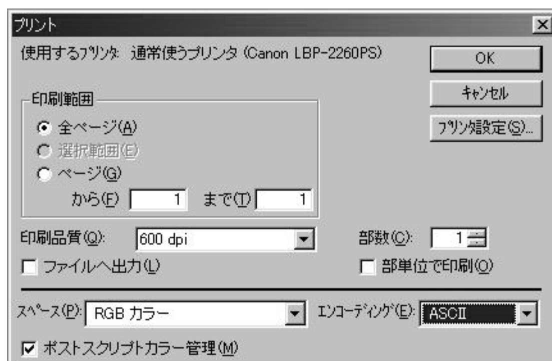

お願い

● 画像データにDICやSWOP-Coatedなどオフセット印刷用のカラーライブラリが使われている場合は、「CMYKシミュレーション」で同じカラーライブラリを選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。

Windows 版の場合

●出力形式の設定

プリントダイアログには、次のオプションがあります。



エンコーディング

ASCII： バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。出力に時間がかかります。
バイナリ：通常は、この形式で出力します。
JPEG： この形式で出力すると出力時間が早くなります。ただし、画質に問題が出る場合があります。

スペース

RGB： RGB データのままプリンタへ出力され、プリンタで変換されます。
CMYK： Photoshop で CMYK 変換されてからプリンタへ出力されます。

●カラー出力の設定

プリンタプロパティの「ColorWise」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。




お願い

● 画像データがオフセット印刷のインク用に色分解されている場合は、「シミュレーション」でインクの種類を選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。

CMYK 画像のプリント

CMYK 画像の場合は、データがそのまま出力されます。プリンタドライバのダイアログでは、分版を指定することができます。

Macintosh 版の場合

●出力形式の設定

プリントダイアログの「Adobe Photoshop 5.5J」ページには、次のオプションがあります。



エンコーディング

ASCII： バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。出力に時間がかかります。
バイナリ：通常は、この形式で出力します。
JPEG： この形式で出力すると出力時間が早くなります。ただし、画質に問題が出る場合があります。

スペース

色分解： CMYK の印刷用分版画像を出力するときに指定します。各色ごとにブラックの濃淡で出力されます。

●カラー出力の設定

プリントダイアログの「プリンタ固有機能」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。



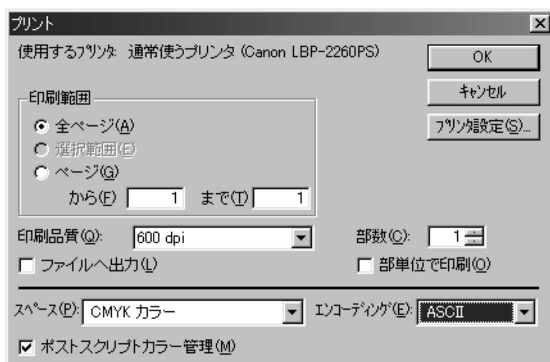

お願い

● 画像データにDICやSWOP-Coatedなどオフセット印刷用のカラーライブラリが使われている場合は、「CMYKシミュレーション」で同じカラーライブラリを選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。

Windows版の場合

●出力形式の設定

Photoshopのプリントダイアログには、次のオプションがあります。



スペース

色分解： CMYKの印刷用分版画像を出力するときに指定します。各色ごとにブラックの濃淡で出力されます。

エンコーディング

ASCII： バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。出力に時間がかかります。

バイナリ：通常は、この形式で出力します。
JPEG：　この形式で出力すると出力時間が早くなります。ただし、画質に問題が出る場合があります。

●カラー出力の設定

プリンタプロパティの「ColorWise」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。




お願い

● 画像データにDICやSWOP-Coatedなどオフセット印刷用のカラーライブラリが使われている場合は、「CMYKシミュレーション」で同じカラーライブラリを選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。

他のアプリケーションで配置するためのファイルについて

画像処理アプリケーションで他のアプリケーションのファイルへ配置するためのファイルを保存する場合、最良のプリント結果を得るために次の点に配慮することをおすすめします。ここでは、Macintosh版を例に説明していますが、Windows版や他のバージョンでも同様です。

画像の加工

画像解像度や切り抜き、回転などの画像加工は、Photoshopで作業を行っておいたほうがよいでしょう。DTPアプリケーションに配置してから、複雑な加工を行うと、処理時間やエラーの発生に影響します。

ファイル形式

ファイル形式は、「EPS形式」または「TIFF形式」で保存します。これらの形式は、ほとんどのアプリケーションでサポートしています。また、PostScriptプリンタで出力する場合、他の形式よりもエラーが発生しにくくなります。
EPS形式で保存する場合は、次のオプションがあります。



プレビュー

Macintosh：ファイルをMacintoshのみで扱う場合に選択します。
TIFF：　Windows と Macintosh で扱いたい場合に選択します。
JPEG：　この形式で出力すると出力時間が早くなります。ただし、画質に問題が出る場合があります。

エンコーディング

ASCII：　バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。ファイル容量が大きくなります。
バイナリ：通常は、この形式を選択します。
JPEG：　ファイル容量が小さくしたい場合に選択します。ただし、画質に問題が出る場合があります。一度この形式で保存すると、元の画質に回復することはできないので、注意が必要です。

ハーフトーンスクリーン情報を含む

通常はチェックしないで保存してください。

トランスファ関数を含む

通常はチェックしないで保存してください。

画像形式

オフセット印刷を目的としたデータの場合は、CMYK形式で保存することをおすすめします。オフィスアプリケーションに配置する場合には、RGB形式で保存します。
プリンタによる出力が前提の場合は、RGB形式でもCMYK形式でも問題ありませんが、RGB形式の場合は、RGBで表現できてもCMYKプリントでは再現できない色があり、モニタのイメージと出力結果が異なる場合があります。

イラストアプリケーションソフト

ドローソフトなどのイラストアプリケーションソフトからプリントする場合の操作について説明します。ここでは、Macintosh版のAdobe Illutrator 8.0JとFreeHand 8.0Jを例に説明していますが、Windows版や他のバージョンでも同様です。

アプリケーションの設定

モニタ表示色やプリンタ出力時の色を補正するため、それぞれのカラーマネジメントシステムとプロファイルを設定します。ColorSyncプロファイルなど本プリンタやお使いのモニタ用のカラー管理プログラム用ファイルがインストールされているか確認してください。インストールについては、第1章または第2章「印刷に必要なソフトウェアの準備」(P.22, 65)をご覧ください。

Illutrator 8.0J の場合

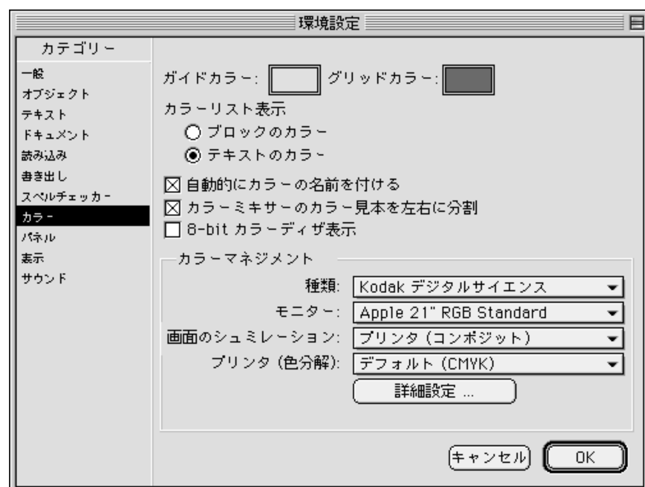
Illutratorの「カラー設定」を開き、モニタのプロファイル、本プリンタのプロファイル、使用するカラーマネジメントシステム、マッチング方法を設定します。



「埋め込まれたICCプロファイルを使用」をチェックすると、配置された画像毎にICCプロファイルが適用されて、出力されます。

FreeHand 8.0J の場合

FreeHand の「環境設定」で「カラー」を選択し、使用するカラーマネジメントシステム、モニターのプロファイル、本プリンタのプロファイルを設定します。



イラストのプリント

イラストアプリケーションでは、通常 CMYK 形式でデータを作成します。イラストを出力する場合は、CMYK データがそのまま出力され、プリンタドライバのダイアログでは、データ形式や出力の指定などが行えます。

Illustrator 8.0J の場合

●出力形式の設定

プリントダイアログの「Adobe Illustrator 8.0」ページには、次のオプションがあります。



出力

コンポジット：4色カラーで出力します。
分版：　CMYKごとの印刷用分版画像を出力するときに指定します。各色ごとにブラックの濃淡で出力されます。

ポストスクリプト

本プリンタに出力する場合は、" レベル 2" または "3" を選択します。

データ

ASCII：　バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。出力に時間がかかります。
バイナリ：通常は、この形式で出力します。

●カラー出力の設定

プリントダイアログの「プリンタ固有機能」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。





● 画像データにDICやSWOP-Coatedなどオフセット印刷用のカラーライブラリが使われている場合は、「CMYKシミュレーション」で同じカラーライブラリを選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。

FreeHand 8.0J の場合

●出力形式の設定

プリントダイアログの「FreeHand 8J」ページには、次のオプションがあります。



プリント設定

本プリンタに出力する場合は、"+Quality PS Level 2" を選択します。

PPD を使用

PPD を使用をチェックし、本プリンタの PPD ファイルを選択します。

出力

コンポジット：4 色カラーで出力します。
分版：　CMYK ごとの印刷用分版画像を出力するときに指定します。各色ごとにブラックの濃淡で出力されます。

カラーマネジメント

環境設定のカラーで設定した内容を変更できます。


メモ

● FreeHand では、"プリント設定"ダイアログの［用紙設定］タブで用紙サイズ・用紙向きを設定します。［ファイル］－［用紙設定］メニューからの設定は無効となります。

●**出力データの設定**

プリントダイアログの「プリント設定」を開き、「出力画像」ページを選択すると、次のオプションが表示されます。



画像データ

ASCII：　バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。出力に時間がかかります。

デフォルト（バイナリ）：通常は、この形式で出力します。

クロスプラットホーム：（バイナリ）　WindowsとMacintoshで扱いたい場合に選択します。

RGBをプロセスカラーに変換

チェックすると、FreeHandでCMYK変換してから、プリンタへ出力します。
チェックを外すと、RGBのままプリンタへ出力し、プリンタでCMYK変換します。

●カラー出力の設定

プリントダイアログの「プリンタ固有機能」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。





● 画像データがオフセット印刷のインク用に色分解されている場合は、「CMYKシミュレーション」でインクの種類を選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。

他のアプリケーションで配置するためのファイルについて

イラストアプリケーションで他のアプリケーションのファイルへ配置するためのファイルを保存する場合は、EPS形式で保存します。線画データは、CMYKで保存されます。画像が配置されている場合は、そのデータの画像形式やプロファイルデータがそのまま適用されます。ここでは、Macintosh版を例に説明していますが、Windows版や他のバージョンでも同様です。

Illustrator 8.0 J の場合

ファイル形式は、「Illustrator EPS」で保存します。この形式は、ほとんどのDTPアプリケーションでサポートしています。
EPS形式で保存する場合は、次のオプションがあります。



互換性

通常は8.0を選択します。下位互換性を持たせたいときは、バージョンを選択します。

プレビュー

Macintosh：ファイルをMacintoshのみで扱う場合に選択します。
IBM PC： Windows と Macintoshで扱いたい場合に選択します。
なし： ファイル容量が少なくなりますが、DTPアプリケーションの画面上でイラストの内容が確認できなくなります。

オプション

必要に応じて選択します。

FreeHand 8.0J の場合

ファイル形式は、「編集可能EPS」で保存します。この形式は、ほとんどのDTPアプリケーションでサポートしています。

DTP アプリケーションソフト

DTPアプリケーションソフトからプリントする場合の操作について説明します。ここでは、Macintosh版のAdobe PageMaker 6.5JとQuarkXPress 4.0Jを例に説明していますが、他のバージョンでも同様です。

アプリケーションの設定

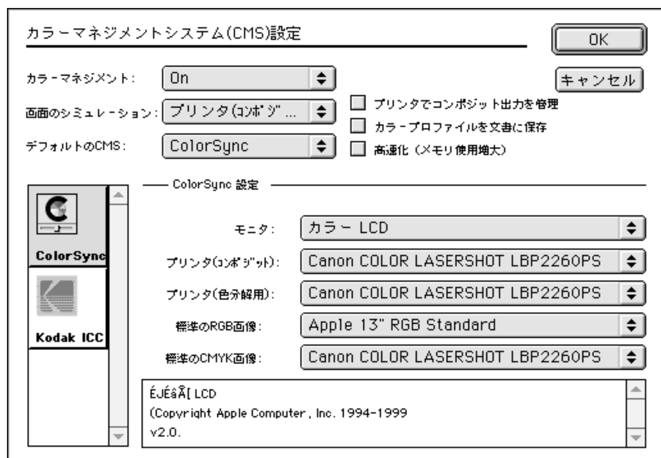
モニタ表示色やプリンタ出力時の色を補正するため、それぞれのカラーマネジメントシステムとプロファイルを設定します。ColorSyncプロファイルなど本プリンタやお使いのモニタ用のカラー管理プログラム用ファイルがインストールされているか確認してください。インストールについては、第1章または第2章「印刷に必要なソフトウェアの準備」(P.22, 65)をご覧ください。

PageMaker 6.5J の場合


お願い

● Windows版のAdobe PageMaker 6.5Jをご使用の場合は、PageMakerフォルダ内の［\Rsrc\Japanese\PPD4］フォルダに、Adobe PageMaker 6.5J専用PPDファイルをコピーしてお使いください。
専用PPDファイルは、User Software CD-ROMの次のフォルダに格納されています。
Windows 2000の場合：　\PM65\win2000
Windows 95/98の場合：　\PM65\win9x

PageMakerの「環境設定」で「CMS設定」を開き、使用するカラーマネジメントシステム、モニタのプロファイル、本プリンタのプロファイルなどを設定します。




メモ

● PageMaker 6.0Jで使用できるカラーマネジメントシステムは、「Kodak CM」のみです。
● PageMaker 6.5Jで使用できるカラーマネジメントシステムは、「Kodak CM」と「ColorSync」から選択できます。

QuarkXPress 4.0 J の場合

QuarkXPressのカラーマネジメントシステムは、EfiColor XTensionにより提供されますが、本プリンタ用のプロファイルを提供されていないため、使用できません。もし、EfiColor XTensionがインストールされている場合は、QuarkXPressフォルダのXTensionフォルダから EfiColor XTension を外し、QuarkXPress を再起動してください。


お願い

● Mac OS版の QuarkXPress 4.0 Jをご使用の場合は、QuarkXPress 4.0 J専用 PPD ファイルを次のフォルダにコピーしてお使いください。
システムフォルダ：機能拡張フォルダ：プリンタ記述ファイルフォルダ
専用PPD ファイルは、User Software CD-ROM の次のフォルダに格納されています。
QuarkXPress 4.0

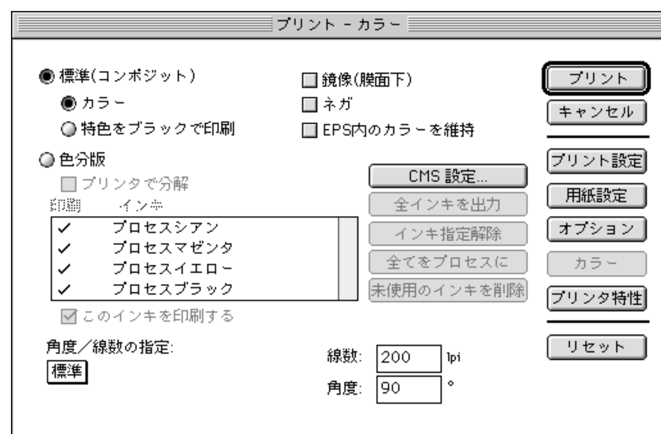
DTP データのプリント

DTP アプリケーションソフトでは、通常 CMYK 形式のデータを配置し、CMYK 形式で出力します。JPEG や GIF、TIFF など RGB 形式の画像データを配置した場合は、そのファイルの補正情報やプロファイルが適用されます。また、カラーマネージメントシステムがインストールされている場合には、そのプロファイルが適用されます。

PageMaker 6.5 J の場合

●出力形式の設定

プリントダイアログの「カラー」ページには、次のオプションがあります。



出力

標準：　4 色カラーで出力します。

色分版：　CMYK ごとの印刷用分版画像を出力するときは、出力する版を指定します。各色ごとにブラックの濃淡で出力されます。

角度 / 線数の設定

線数：　出力の線数（解像度）を指定します。

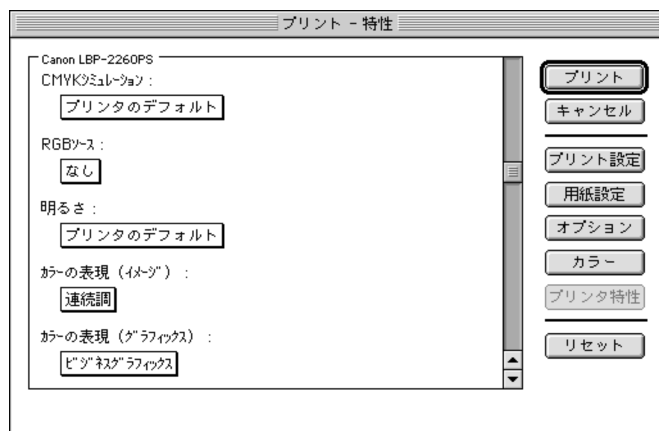
角度：　網点の角度を設定します。

CMS 設定

環境設定のカラーで設定した内容を変更できます。

●プリンタオプションの設定

プリントダイアログの「プリンタ特性」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。




お願い

● **画像データがオフセット印刷のインク用に色分解されている場合は、「CMYKシミュレーション」でインクの種類を選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。**

QuarkXPress 4.0J の場合

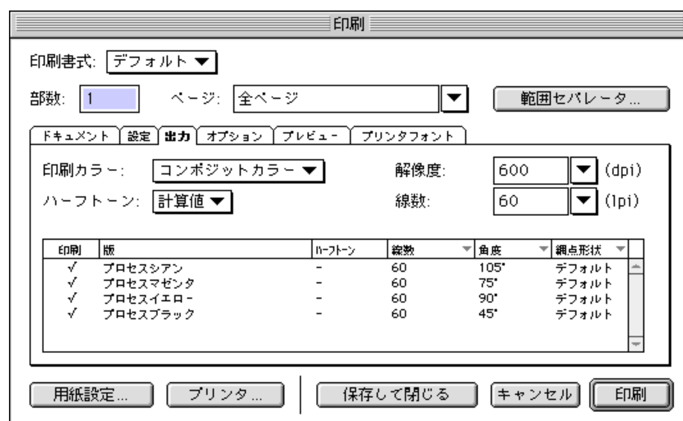
●出力形式の設定

プリントダイアログには、次のオプションがあります。



プリンタ記述

本プリンタに出力する場合は、"カラー一般"を選択します。



データ形式

ASCII： バイナリやJPEGでエラーが発生する場合に選択します。出力に時間がかかります。

バイナリ：通常は、この形式で出力します。

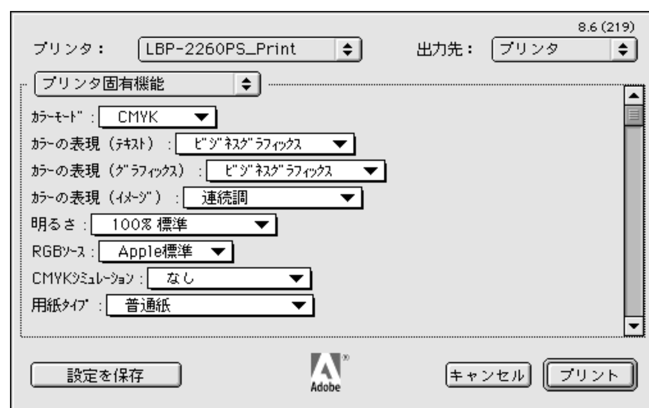
JPEG： この形式で出力すると出力時間が早くなります。ただし、画質に問題が出る場合があります。

スクリーン線数

出力の線数（解像度）を指定します。

●カラー出力の設定

プリントダイアログの「プリンタ固有機能」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。




お願い

● 画像データがオフセット印刷のインク用に色分解されている場合は、「CMYKシミュレーション」でインクの種類を選択してください。それ以外の場合は、「なし」を選択してください。

オフィスアプリケーションソフト

ワープロや表計算、プレゼンテーションなど、QuickDraw（MacOS）および GDI (Windows)アプリケーションソフトからプリントする場合の操作について説明します。ここでは、Microsoft Office98 を例に説明していますが、他のバージョンや他のアプリケーションソフトでも同様です。

アプリケーションの設定

オフィスアプリケーションソフトでは、システムにインストールされたカラーマネージメントシステムが適用されます。ColorSync プロファイルなど本プリンタやお使いのモニタ用のカラー管理プログラム用ファイルがインストールされているか確認してください。インストールについては、第1章または第2章「印刷に必要なソフトウェアの準備」(P.22, 65）をご覧ください。


お願い

● Windows 版 Office97 をお使いの場合は、「Windows」フォルダの「System」フォルダ内の「Color」フォルダ内に本プリンタ用の ICM プロファイルがインストールされていないことを確認してください。インストールされている場合は、そのファイルを外してください。本プリンタ用のICMプロファイルがインストールされていると、JPEG や BMP、TIFF 画像が正しくプリントされません。

データの作成

オフィスアプリケーションソフトでデータを作成する場合、最良のプリント結果を得るために次の点に注意してください。

配置する画像データについて

オフィスアプリケーションソフトに配置する画像データは、EPS形式のデータのファイルを使用することをおすすめします。EPS形式の場合は、EPS ファイルの高解像度データでプリントできます。アプリケーションによっては、TIFF や PICT形式のファイルを使用すると、問題が出る場合があります。


メモ

● 線画と連続階調の画像データが混在しているデータで、思ったようなプリント結果が得られないときは、画像データを CMYK に変換してから配置し直してプリントしてください。改善される場合があります。

データのプリント

オフィスアプリケーションソフトでは、通常RGB形式でデータを作成します。データをプリントするときは、CMYKに変換されて出力されます。

Macintoshの場合

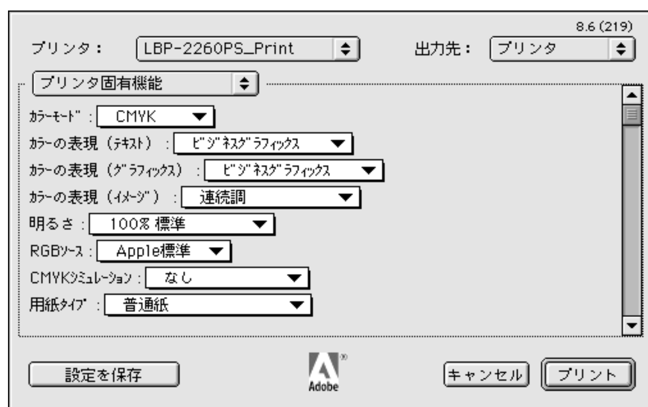
●カラーマネジメントの設定

プリントダイアログの「カラー設定」ページには、次のオプションがあります。カラーマネージメントシステムがインストールしてある場合には、カラーマネージメントシステム名とプロファイルを指定します。



●カラー出力の設定

プリントダイアログの「プリンタ固有機能」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。



Windows 版の場合

●カラー出力の設定

プリンタプロパティの「ColorWise」ページには、次のオプションがあります。必要に応じて選択してください。



付録

CD-ROM に付属のフォントについて

本製品に付属の User Software CD-ROM には、LBP-2260PSII 上でご使用いただけるフォントと、これらのフォントをプリンタにダウンロードするためのソフトウェア「Canon Font Downloader」を用意しています。キヤノンの提供する多彩なフォントをプレゼンテーション資料、手紙などにお役立てください。

使用方法


お願い

- **CD-ROM に付属のフォント、Canon Font Downloader をご使用の前に、使用許諾契約書（→ P.3）を十分にお読みください。なお、CD-ROM に付属のフォント、Canon Font Downloaderをご使用になられた場合は、お客様が使用許諾契約書にご同意いただいたものとさせていただきます。**

CD-ROM に付属のフォントと Canon Font Downloader（\CDF\Downldr.exe）の使用方法については、CD-ROM の CDF フォルダ内「Readme.txt」ファイル（Macintosh をお使いの場合は「お読みください」ファイル）を参照してください。
なお、「Readme.txt」ファイルまたは「お読みください」ファイルの参照方法は、CD-ROM に添付されている小冊子に記載されています。

フォント見本

平成明朝体™ W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体™ W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体™ W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体™ W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体™ W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体™ W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体™ W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体™ W9	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント

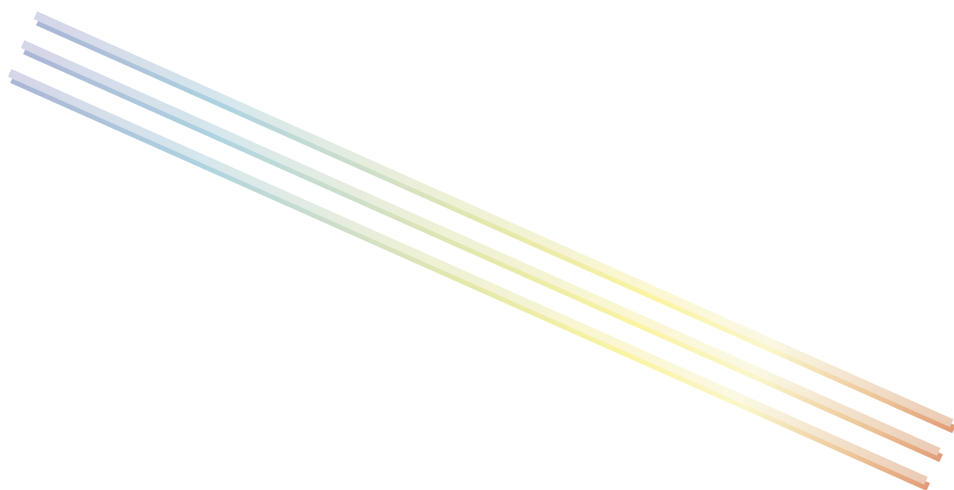
付録

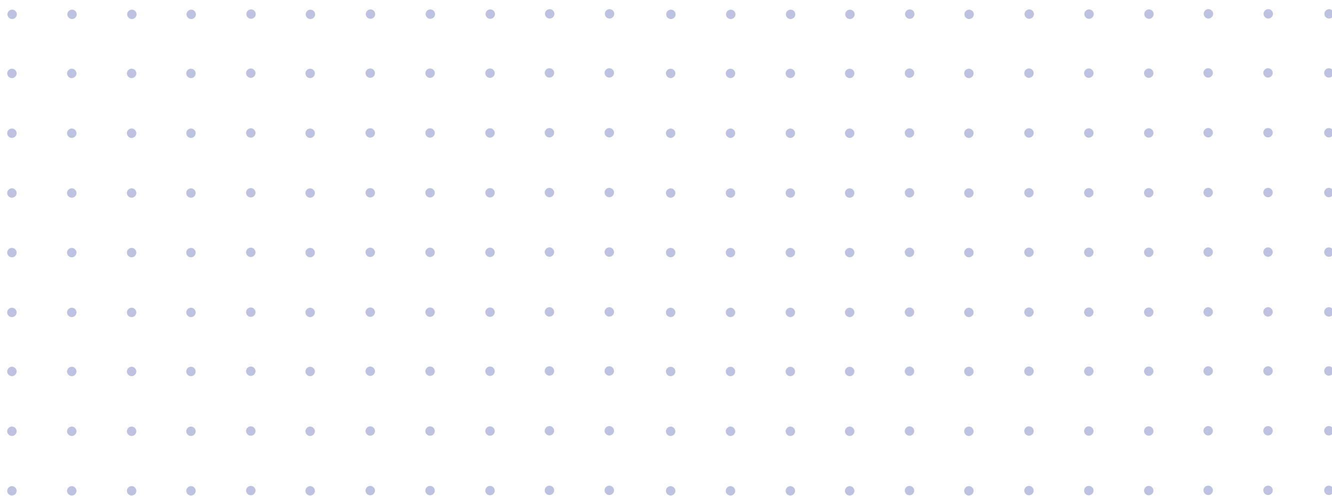


- コンピュータ上で表示されるフォント名には、上記フォント名の前にSCまたはSCPが付きます。
- この平成明朝体、平成角ゴシック体は、（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

付録

索引







この印刷物はエコマーク認定の再生紙を使用しています。